Ⅲ. 医療経営統計

1．医療経営統計

項目名		月平均		
		2011年	2012年	2013年
日数	日数（入院）	30.4	30.5	30.4
	日数（外来）	23.6	23.7	23.8
入院一般	実働病床数	351	351	330
	入院数	632	632	633
	法人内	16.8	15.5	14.8
	法人外	31.2	24.5	25.8
	退院数	623	631	620
	入院在院患者	8,162	7,928	7,702
	入院延患者数	8,785	8,559	8,322
	病棟一日当患者数	288.9	280.7	273.7
	平均在院日数（公式）	13.9	13.4	13.2
	占床率	82.3	80.0	83.2
	入院件数	870	866	857
	入院日数	8,641	8,433	8,172
	入院点数（千点）	41,930	43,158	43,507
	件当日	9.9	9.7	9.5
	入院　日当点	4,853	5,120	5,323
	入院　件当点	48,250	49,870	50,735
入院回リハ	実働病床数	50.0	50.0	50.0
	入院数	12.4	9.9	11.4
	退院数	22.5	20.1	22.3
	入院在院患者	1,346	1,339	1,424
	入院延患者数	1,368	1,359	1,447
	病棟一日当患者数	45.0	44.6	47.6
	平均在院日数（公式）	58.3	60.3	58.2
	占床率	90.0	89.2	95.1
	入院件数	66.3	62.3	68.7
	入院日数	1,501	1,473	1,600
	入院点数（千点）	4,955	5,112	5,690
	件当日	22.7	23.7	23.3
	入院　日当点	3,304	3,467	3,553
	入院　件当点	75,068	82,177	82,874
入院緩和ケア	実働病床数			24
	入院数			13
	退院数			15
	入院在院患者			314
	入院延患者数			329
	病棟一日当患者数			10.6
	平均在院日数（公式）			29.3
	占床率			44.2
	入院件数			24.0
	入院日数			303
	入院点数（千点）			1,509
	件当日			12.6
	入院　日当点			4,981
	入院　件当点			62,890
外来	外来延患者数	26,120	22,969	24,488
	外来一日当患者数	1,109	977	1,033
	初診回数	3,338	2,890	2,678
	外来件数	15,991	15,580	15,287
	外来日数	23,357	22,235	21,765
	外来点数（千点）	23,487	21,943	21,099
	件当日	1.5	1.4	1.4
	外来　日当点	1,006	987	969
	外来　件当点	1,469	1,408	1,380
	外来組合員利用率	90.1%	90.1%	91.2%
紹介新患	紹介受入患者数	432	454	470
	紹介先数	400	400	360
	救急搬入患者数	340	298	278
	新患数	932	876	827
	初診数	3,338	2,890	2,678
	紹介率％	21.2	23.5	25.0
	逆紹介率％	12.0	14.1	13.2
	紹介率計％	33.2	37.6	38.2

項目名		月平均		
		2011年	2012年	2013年
在宅	往診件数	81.7	75.8	78.3
	往診　延回数	114	110	121
	訪問看護件数	9.8	12.2	11.3
	訪問看護　延回数	12.3	15.2	14.3
健診	健康づくり健診	43.7	45.6	42.8
	特定健診	266	278	279
	国保　人間ドック	190	202	192
	その他　人間ドック	108	78	68
	事業所　　健診	1,148	1,235	1,279
	被爆者　　健診	9.2	9.0	9.9
	職員　　健診	155	130	127
	オプション健診のみ	309	328	305
	実施件数合計	2,229	2,306	2,544
	胃ガン　検診	684	741	725
	大腸ガン　検診	1,190	1,309	1,309
	子宮ガン　検診	339	369	349
	乳ガン　検診	258	343	326
	エコー　検診	285	310	315
	骨粗鬆症　検診	47.3	52.2	50.7
	前立腺　検診	77.7	80.1	79.2
	乳幼児　検診	207	192	185
	健診・胸部ＸＰ	1,984	1,985	1,994
	健診・上部消化管	672	742	708
	健診・腹エコー	285	293	303
相談	ＭＳＷ相談のべ件数	1,002	1,153	1,051
	ＭＳＷ相談実件数	565	589	599
職員	職員数（常勤）	570	579	596
	職員数（非常勤）	184	204	209
	医師数（常勤）	65.1	67.8	73.3
	医師数（非常勤）	29.5	29.5	25.4
	一人当り月収（千円）	992	881	1,020
	医師一人当り月収	7,920	7,104	8,317
検査	尿一般件数	4,577	4,505	4,137
	総検体数	12,247	11,958	11,655
	心電図（ＥＣＧ）	1,153	1,081	1,049
	ホルター心電計	63.3	61.3	61.5
	エコー（腹部）	370	386	378
	エコー（乳房）	205	215	215
	エコー（甲状腺）	24.4	22.6	21.6
	心エコー（ＵＣＧ）	295	232	250
	頸動脈エコー	113	101	110
	マンモグラフィー	101	114	138
	眼底カメラ	57.8	55.5	42.1
	トレッドミル	28.1	26.6	26.2
	細菌・培養件数	1,813	1,570	1,360
	細菌・総件数	3,191	2,821	2,665
	病理・細胞診件数	621	578	581
	病理・組織件数	521	478	452
放射線	単純撮影（胸部）	1,733	1,728	1,537
	造影（上部消化管）	15.3	15.5	15.9
	造影（下部消化管）	22.4	17.6	18.4
	ＣＴ　件数	1,317	1,238	1,212
	ＣＴ（頭部）	292	294	273
	ＣＴ（胸部）	441		
	ＣＴ（腹部）	505		
	ＣＴ（胸腹部）造影なし		612	561
	ＣＴ（胸腹部）造影あり		257	276
	ＭＲＩ	369	452	512
内視鏡	ファイバー（胃）（ＧＩＦ）	546	543	540
	ファイバー（大腸）（ＣＦ）	171	171	184
	ファイバー（肺）（ＢＦ）	11.2	9.6	10.5
	血管造影（腹部・他）	12.3	18.0	20.1
	血管造影（心臓）	27.0	25.8	24.1

項目名		月平均		
		2011年	2012年	2013年
薬剤	処方箋枚数（入）	3,799	4,016	4,100
	調剤剤数（入）	9,978	10,408	10,572
	処方箋枚数（外）	16,578	15,995	4,154
	調剤剤数（外）	44,674	14,131	963
	院外処方箋枚数	13,636	14,183	15,131
	院外発行率％	82.3	88.7	96.4
	薬剤管理指導（350×）	992	1,200	1,234
食養	患者給食数	22,838	22,823	23,102
	特別食	11,001	12,278	10,907
	食生活相談（入院）	434	445	413
	食生活相談（外来）	307	324	340
リハビリ	ＰＴ（入院）	3,330	3,793	4,472
	ＯＴ（入院）	1,636	1,500	1,447
	ＳＴ（入院）	378	412	436
	ＰＴ（外来）	142	163	188
	ＯＴ（外来）	63.1	25.9	44.2
	ＳＴ（外来）	42.9	16.7	21.5
透析	透析　　実数	59.8	63.3	65.8
	透析　　延べ数	664	710	743
手術	手術室　手術件数	157	170	181
	全身麻酔　管理	103	104	119
	外科	51.3	52.6	56.1
	整形外科	62.3	60.6	67.7
	産婦人科	25.0	25.5	25.5
	眼科	6.1	17.9	19.5
	泌尿器科	11.4	12.6	12.0
	耳鼻科	0.0		
	皮膚科（外来）	25.7	27.6	25.4
	皮膚科（ケミカルピーリング）	10.5	9.4	14.8
分娩	分娩数	46.8	44.5	44.8
化療	外来化療　実人数		25.8	31.3
	延べ回数		40.2	41.0
死亡	死亡患者数（院内）	26.4	22.6	24.1
	死亡患者数（外来）	4.2	3.8	3.8
	死亡患者数（在宅）	3.8	3.7	4.2
	剖検数（外来死亡含む）	1.3	1.2	0.9

項目名		月平均		
		2011年	2012年	2013年
患者100人当たり各種検査実施件数	尿一般件数	126	135	126
	総検体数	338	357	355
	心電図（ＥＣＧ）	31.8	32.2	32.0
	ホルター心電計	1.7	1.8	1.9
	エコー（腹部）	10.2	11.5	11.5
	エコー（乳房）	5.6	11.5	6.6
	エコー（甲状腺）	0.7	11.5	0.7
	心エコー（ＵＣＧ）	8.1	11.5	7.6
	トレッドミル	0.8	11.5	0.8
	細菌・培養件数	50.0	11.5	41.4
	細菌・総件数	88.0	11.5	81.2
	病理・細胞診件数	17.1	11.5	17.7
	病理・組織件数	14.4	11.5	11.9
	単純撮影（胸部）	47.8	11.5	46.9
	造影（上部消化管）	0.4	11.5	0.5
	造影（下部消化管）	0.6	11.5	0.6
	ＣＴ　件数	36.3	11.5	36.9
	ＣＴ（頭部）	8.1	11.5	8.3
	ＣＴ（胸部）	12.2	11.5	17.1
	ＣＴ（腹部）	13.9	11.5	8.4
	ＭＲＩ	10.2	11.5	15.6
	ファイバー（胃）（ＧＩＦ）	15.1	11.5	16.5
	ファイバー（大腸）（ＣＦ）	4.7	11.5	5.6
	ファイバー（肺）（ＢＦ）	0.3	11.5	0.3
	血管造影（腹部・他）	0.3	11.5	0.6
	血管造影（心臓）	0.7	11.5	0.7

2．医療の質の改善

（1）医療の質改善の指標　領域一覧（2013年版）

領域番号	領域名称	S	P	O
0	基礎情報（共通分母）			
1-1	医療機能・教育研修・パートナーシップと患者満足	7	13	5
1-2	安全管理・感染制御	2	10	4
2-1	入院医療の状況・標準的・効率的医療、治療の成功	3	10	8
2-2	入院患者の看護ケア・栄養管理	1	4	3
2-3	ICUの状況	2	1	2
2-4	回復期リハビリテーション病棟の状況	1	1	2
2-5	総合内科の状況・緩和ケア病棟の状況	0	1	1
3-1	外来医療の状況	5	4	3
3-2	救急医療の状況	5	7	3
3-3	在宅医療の状況	2	0	2
4-1	地域連携の状況	1	2	0
4-2	療養支援・相談機能	2	4	2
5	医療記録の適切性	0	7	0
6	保健予防･健康増進	5	13	16
7-1	呼吸器内科	2	5	3
7-2	呼吸器外科・乳腺外科・消化器外科	0	7	7
7-3	消化器内科	2	9	8
7-4	整形外科	1	1	2
7-5	産婦人科	2	5	3
7-6	小児科	3	3	4
7-7	循環器内科	0	5	1
7-8	泌尿器科・透析	2	5	2
7-9	糖尿病内科	3	4	3
7-10	皮膚科	0	3	2
7-11	耳鼻科	0	2	0
7-12	眼科	1	2	0
7-13	精神科・緩和ケア	3	4	0
7-14	がん化学療法	0	2	1
7-15	被爆医療	1	1	0
8-1	臨床検査の機能	2	4	1
8-2	画像診断の機能	2	2	1
8-3	薬剤管理の機能	6	7	4
8-4	リハビリテーションの機能	3	6	1
8-5	栄養管理の機能	3	3	3
8-6	医療機器管理	2	0	1
9-1	診療報酬管理・医療整備	0	2	0
9-2	医療情報と情報システムの管理	2	5	0
9-3	経営管理・労務管理･環境管理	7	8	5

2013年１～12月測定値（2014/5/07）

（2）基礎情報

共通分母	2010年	2011年	2012年	2013年
病床数	401	401	401	401
一般病床数（回復期リハ以外）	351	351	351	351
回リハ病床数	50	50	50	50
ＩＣＵ（再掲）	-	4	4	4
小児科病床（再掲）	12	12	12	12
緩和ケア病棟（再掲）	-	-	-	24
外来実患者数	54,273	55,544	54,833	53,364
外来のべ患者数	318,658	318,836	296,471	293,853
初診患者数	40,108	40,054	34,681	32,131
新規登録患者数	11,073	11,184	10,450	9,920
期始在院患者数	308	305	297	3,526
新入院患者数	7,317	7,776	7,694	7,740
一般病床数新入院患者数	6,215	7,746	7,574	7,590
回リハ病床新入院患者数	162	145	120	137
緩和ケア病床入院患者数	-	-	-	13
退院患者数	7,302	7,790	7,714	7,725
一般病床退院患者数	7,038	7,520	7,479	7,442
回リハ病床退院数	264	270	235	268
緩和ケア病床退院数	-	-	-	15
65歳以上退院患者数	3,637	4,199	4,282	4,329
外来診療日数	282	285	294	285
入院診療日数	365	365	366	365
在院患者延数（全病棟）	121,301	121,839	111,207	110,613
在院患者延数（一般病棟）	104,404	105,422	95,135	100,004
在院患者延数（回リハ病棟）	16,897	16,417	16,072	17,361
在院患者延数（緩和ケア病棟）	-	-	-	329
退院患者の総在院日数	120,034	120,034	118,928	119,512
一般病床退院患者の総在院日数	105,969	104,137	99,311	97,750
回リハ病床退院患者の総在院日数	18,404	19,563	19,617	20,974
緩和ケア病床退院患者の総在院日数	-	-	-	515
産科小児科除く退院患者数	-	6,625	6,610	6,613
産科小児科除く退院患者在院日数	-	113,948	109,601	109,969
分娩数	564	541	531	537
職員数	554	577	573	603
常勤換算非常勤職員数	175	191	196	228
医師数	60	67	68	68
常勤換算非常勤医師数	29	30	30	24

（3）医療指標　2013 年　測定値

■1－1■　医療機能・教育研修・パートナーシップと患者満足

No.	指標項目名	項目詳細	2010年	2011年	2012年	2013年
1-1-S1	職員数	常勤換算/床	1.83人	1.83人	1.92人	2.07人
1-1-S2	医師数	常勤医師数/床	0.15人	0.16人	0.17人	0.19人
1-1-S3	認定指導医数（人）	認定臨床研修指導医数	39人	43人	38人	44人
1-1-S4	初期研修医一人あたり指導医数	初期研修医一人あたり指導医数	3.9人	4.8人	5.4人	5.5人
		初期研修医数	10人	9人	7人	8人
1-1-S5	認定専門医数（人）	専門医数	32人	40人	30人	42人
		基本学会専門医数（10領域）			25人	26人
		Subspeciality専門医数（7領域）			14人	12人
1-1-S6	看護師数	看護師数/床	0.54人	0.56人	0.79人	0.79人
1-1-S7	専門看護師・認定看護師の数（人）	専門看護師	0人	0人	0人	0人
		認定看護師	3人	5人	7人	8人

No.	指標項目名	項目詳細	2010年	2011年	2012年	2013年
1-1-P1	診療指針と説明同意書の数	診療指針の数	49	46	130	222
		説明同意書の数	42	64	54	82
1-1-P2	採用薬品数、新規採用検討数	採用薬品数	1159品目	1376品目	1384品目	1401品目
		新規採用数	40品目	29品目	36品目	62品目
1-1-P3	研修の達成度	初期研修医の2年修了率	100%	100%	100%	100%
		平均経験症例数	173例	174例	154例	155例
1-1-P4	剖検とＣＰＣ	死亡退院に対する剖検実施率	4.1%	4.1%	4.4%	2.8%
		ＣＰＣ実施率	33%	56%	29%	63%
1-1-P5	他施設からの参加者数	他施設からの教育研修企画への参加者数			20人	50人
1-1-P6	全職種症例検討会	開催回数	2回	2回	2回	2回
		全職種症例検討会参加人数			77人	57人
1-1-P7	医事法等に関する職員教育実施数	開催数	12回	1回	38回	19回
1-1-P8	学会への参加と発表	学会参加者率	13%	16%	18%	17%
		医師参加者率	75%	83%	76%	79%
		看護師参加者率	4%	4%	8%	5%
		医療技術系職員参加者率	9%	15%	16%	13%
		事務職員等参加者率	3%	9%	5%	7%
		発表数	31	12	28	38
1-1-P9	カンファレンス実施	外来患者数	1335人	257人	159人	54人
		入院患者数	3539人	7560人	5186人	5845人
1-1-P10	管理医師による死亡カルテ点検数	管理医師点検率	3.7%	38.0%	38.4%	46.2%
		要検討率	0.0%	2.0%	1.6%	0.0%
1-1-P11	患者図書室	利用者数	740人	422人	351人	431人
1-1-P12	カルテ開示数	実施数	14	11	16	12
1-1-P13	マイかるて	登録人数		44人	120人	233人
		アクセス回数		411回	252回	589回

No.	項目詳細	指標項目名	2010年	2011年	2012年	2013年
1-1-O1	患者満足度（外来患者）	回収率	35.4%	39.1%	23.8%	34.7%
		まあ満足以上の割合	94.4%	93.7%	92.4%	90.3%
1-1-O2	患者満足度（退院患者）	回収率	14.9%	39.4%	10.9%	4.3%
		まあ満足以上の割合	86.4%	93.2%	92.9%	96.2%
1-1-O3	紹介状投書	感謝の割合	13.4%	12.1%	15.4%	15.4%
		要望の割合	49.3%	45.4%	43.1%	45.9%
1-1-O4	クレーム数	入院患者	7	4	10	69
		外来患者	30	28	46	40
1-1-O5	医療の達成度に関する職員の満足度	回答率	71.1%	64.0%	59.4%	75.5%
		③目標達成率	77.5%	81.6%	85.2%	80.6%
		④勧める率	69.0%	77.9%	73.2%	66.8%
		⑤働いてよかった率	85.6%	86.3%	84.6%	83.1%

■1－2■　安全管理・感染制御

No.	指標項目名	項目詳細	2010年	2011年	2012年	2013年
1-2-S1	リスクマネージャーの活動	1部門あたりリスクマネージャー数	1.5人	1.6人	1.6人	1.3人
1-2-S2	感染制御専門資格（ICD、ICN）	ICD	3人	4人	5人	4人
		ICN	1人	1人	1人	1人

No.	指標項目名	項目詳細	2010年	2011年	2012年	2013年
1-2-P1	ひやり・事故報告数（件）	職員一人あたり報告数	0.60	0.59	0.61	1.76
		医師提出率	2.2%	1.8%	2.2%	3.0%
		看護師提出率	64%	64%	63%	64%
1-2-P2	個人情報に関する不適合報告	個人情報不適合報告数	21	1	39	19
1-2-P3	転倒転落アセスメント実施率 転倒転落予防計画立案率	転倒・転落対策必要率	47.2%	68.3%	57.4%	49.3%
		1人あたり立案数		1.3	1.7	1.9
1-2-P4	抑制率（抑制人日/のべ入院患者数）	抑制割合	18.3%	17.4%	17.4%	16.9%
		抑制患者一人あたり抑制日数		13.1日	10.2日	10.2日
1-2-P5	医療従事者の針刺し事故率	事故率	0.17‰	0.19‰	0.12‰	0.15‰
1-2-P6	職業感染予防策	医師、看護師、検査技師のHBV抗体保有率	48.0%	76.9%	68.1%	74.0%
1-2-P7	CV挿入部位割合	鎖骨下刺入割合	6.2%	7.1%	3.1%	8.8%
		内頸刺入割合	27.4%	32.2%	43.3%	51.4%
		鼠径刺入割合	66.4%	60.6%	53.6%	37.5%
1-2-P8	中心静脈使用率	中心静脈使用患者の割合	12.8%	5.7%	8.5%	4.5%
		中心静脈使用率	11.7%	10.0%	7.3%	5.4%
		患者1人あたり使用日数	15.0日		12.6日	11.8日
1-2-P9	尿道カテーテル留置率	尿道カテーテル留置割合（人）	21.0%	25.4%	25.0%	30.1%
		尿道カテーテル留置率	17.9%			11.4%
		患者1人あたり使用日数	14.0日			5.6日
1-2-P10	人工呼吸器使用率	人工呼吸器使用患者割合	1.5%	2.0%	2.4%	1.3%
		人工呼吸器使用率	2.4%			
		患者1人あたり使用日数	28.1日			

No.	項目詳細	指標項目名	2010年	2011年	2012年	2013年
1-2-O1	ひやり・医療事故報告	患者1000人あたり報告数	33.65	33.60	36.53	32.93
1-2-O2	重篤な医療事故	発生率（入院外来1000人対）	0.09‰	0.02‰	0.16‰	0.05‰
1-2-O3	医療紛争の発生（入院患者）	入院患者1000人に対する発生率	0.13‰	0.00‰	0.65‰	0.26‰
1-2-O4	医療紛争発生頻度（入院外患者）	入院外患者1000人に対する発生率	0.02‰	0.00‰	0.00‰	0.06‰
1-2-O8	転倒・転落	「治療を必要とする」以上の割合	0.27‰	0.13‰	0.13‰	0.42‰
		骨折またはレベル4以上の転倒転落発生割合	0.02‰	0.03‰	0.10‰	0.08‰
1-2-O1	中心静脈確保時の合併症	気胸発生率	0.0%	3.6%	6.7%	7.1%
		動脈誤穿刺率	0.0%	0.5%	0.2%	0.3%
1-4-O2	入院患者の特定菌感染	MRSA感染率‰	5.01‰	1.33‰	0.60‰	0.77‰
1-4-O3	耐性率	MRSA	71.0%	60.0%	52.1%	47.0%
		VRE	0.0%	0.0%	17.7%	2.7%
		MDRP	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%
		PRSP	44.0%	42.0%	40.4%	44.4%
		耐性大腸菌	0.7%	0.4%	0.0%	16.8%
		耐性肺炎桿菌		0.6%	3.2%	2.2%
1-4-O4	医療器具関連感染	膀胱留置カテーテル関連感染発生率	1.7%	2.8%	3.1%	5.5%
		中心静脈カテーテル関連感染発生割合	9.22%	4.76%	3.38‰	2.85‰

■2－1■　入院医療の状況・標準的・効率的医療・治療の成

No.	指標項目名	項目詳細	2010年	2011年	2012年	2013年
2-1-S1	入院患者の疾患構成	新生物	17.9%	18.3%	16.9%	18.4%
		消化器	15.6%	16.0%	16.7%	16.8%
		呼吸器	12.8%	12.4%	12.6%	10.6%
		循環器	11.6%	11.3%	11.1%	10.5%
		妊娠分娩	11.6%	11.1%	10.4%	10.4%
		損傷中毒	7.2%	7.7%	7.1%	6.6%
2-1-S2	入院患者の年齢	退院患者の平均年齢	57.3歳	57.8歳	59.6歳	59.9歳
		65歳以上退院患者率	51.3%	52.3%	55.5%	56.0%
2-1-S3	ＤＰＣ適用率・出現分類率 ※10例以上	DPC適用率	97.1%	91.4%	99.2%	98.8%
		DPC分類数1例以上出現率	30.8%	26.4%	31.9%	27.2%
		DPC出現分類数1例/月以上率	6.4%	5.9%	5.7%	4.7%

No.	指標項目名	項目詳細	2010年	2011年	2012年	2013年
2-1-P1	クリティカルパスの導入数・適用率（地域連携パス含む）	適応率	41.8%	49.7%	45.8%	49.6%
		クリパス数	80	108	146	148
2-1-P2	自己輸血実施率	自己輸血実施率	42.1%	39.0%	64.2%	74.4%
2-1-P3	適正輸血の実施	FFP比			0.29	0.18
		アルブミン比			0.41	0.64
2-1-P4	血液製剤廃棄率	濃厚赤血球	17.9%	12.5%	10.7%	5.9%
		濃厚血小板			0.0%	0.0%
		新鮮凍結血漿			11.5%	5.0%
2-1-P5	輸血副作用	発生率	3.4%	3.0%	0.7%	1.0%
2-1-P6	麻酔管理	麻酔管理率	76.0%	74.5%	79.3%	76.7%
2-1-P7	全麻件数、全麻+硬膜外麻酔率	全麻+硬麻率	65.0%	25.3%	27.6%	23.3%
2-1-P8	術中病理迅速診断率（悪性腫瘍手術）	迅速病理標本提出率	50.3%	46.8%	50.2%	49.6%
2-1-P9	術後感染予防抗生剤の使用	手術直前1時間以内抗生剤投与割合	94.7%	96.3%	99.2%	99.6%
		術日終了割合			0%	0%
		3日以内終了割合				
		第1,2世代抗生剤使用率				
2-1-P10	術日または翌日の輸血実施	MAP6単位以上の輸血を要した患者の割合	0.5%	0.5%	1.2%	1.6%

No.	項目詳細	指標項目名	2010年	2011年	2012年	2013年
2-1-O1	一般病床退院患者の在院日数	平均値	15.7日	13.9日	13.3日	13.1日
	一般病床退院患者の在院日数	中央値	9.0日	8.0日	8.0日	8.0日
2-1-O2	入院精死亡率	入院精死亡率	3.6%	3.8%	3.2%	3.5%
		入院24時間以内死亡数	29	18	28	21
2-1-O3	48時間以内再入院率	全再入院率	0.6%	0.6%	0.7%	1.0%
		予期せぬ再入院率	0.0%	0.2%	0.1%	0.2%
2-1-O4	6週間以内の再入院率	全再入院率	12.5%	14.4%	14.1%	20.1%
		予期せぬ再入院率（同一傷病）	0.2%	0.5%	0.5%	0.8%
		予期せぬ再入院率（合併症・偶発症）	0.2%	0.3%	0.7%	0.6%
2-1-O5	予定手術後の緊急再手術率	術後48時間	0.0%	0.1%	0.3%	0.3%
		術後30日以内	0.1%	0.9%	1.0%	1.2%
2-1-O6	開腹手術における異物残存	異物残存率	0.60%	0.00%	0.52%	0.46%
2-1-O7	術後感染症（結腸、胃）	胃切術後感染率	15.8%	16.0%	6.1%	9.5%
		大腸術後感染率	0.0%	7.0%	14.1%	10.7%
		直腸術後感染率	3.8%	16.0%	23.5%	10.0%
2-1-O8	整形外科手術後の局所感染率	股関節手術後感染	0.0%	1.3%	1.38%	0.00%
		膝関節手術後感染	0.0%	0.6%	1.49%	0.00%

■2－2■　入院患者の看護ケア・栄養管理

No.	指標項目名	項目詳細	2010年	2011年	2012年	2013年
2-2-S1	NST資格者数	NST専門栄養士	1人	2人	2人	1人
		NST専門薬剤師	1人	1人	1人	1人
		NST医師数	6人	7人	4人	6人

No.	指標項目名	項目詳細	2010年	2011年	2012年	2013年
2-2-P1	入院中の低栄養患者の状況	15日以上在院患者における入院中最低Alb値2.8未満率	41.8%	33.0%	27.6%	21.4%
2-2-P2	絶食患者の栄養管理	経鼻栄養導入率				5.8%
		経鼻栄養導入数			9	73
2-2-P3	褥瘡予防	有リスク者割合	15.1%	2.4%	2.1%	1.3%
		褥瘡計画作成率	16.8%	33.7%	42.5%	76.2%
2-2-P4	褥瘡有病率	褥瘡有病率			2.5%	1.9%

No.	項目詳細	指標項目名	2010年	2011年	2012年	2013年
2-2-O1	入院中の低栄養の改善の結果	入院中最低血清Alb値2.8g/dL未満から退院時3.0以上に改善した患者の割合	34.0%	35.6%	38.1%	42.3%
		退院時までに入院時血清Alb値の20%以上低下した患者の割合	17.4%	19.1%	18.2%	11.6%
2-2-O2	新規褥創発生	褥創発生患者の割合	1.3%	1.6%	1.3%	1.7%
		褥瘡発生率（対千人日）	0.75‰	0.96‰	0.77‰	1.03‰
2-2-O3	褥創治癒率	褥創回診終了率	30%	24%	19%	42%

■2－3■　ICUの状況

No.	指標項目名	項目詳細	2010年	2011年	2012年	2013年
2-3-S1	ICU入室時重症度 重症以上の割合	ICU入室時重症度中等症以上の割合			26.5%	73.0%
2-3-S2	入室経路（救急車、外来、病棟）	救急車			37.5%	50.7%
		転室			23.0%	3.0%
		外来			39.6%	46.3%

No.	指標項目名	項目詳細	2010年	2011年	2012年	2013年
2-3-P1	ICU入室2日目までのメディカルスタッフの介入	薬剤師の関わり			16%	62%
		リハビリ療法士の関わり			16%	57%
		栄養士の関わり			14%	28%
		MEのかかわり			13%	47%

No.	項目詳細	指標項目名	2010年	2011年	2012年	2013年
2-3-O1	ICU在室日数	ICU在室日数の平均			5.0日	6.9日
2-3-O2	ICU転帰	死亡退院率			12.4%	4.5%
		転院率			3.7%	3.9%

■2－4■　回復期リハビリ病棟の状況

No.	指標項目名	項目詳細	2010年	2011年	2012年	2013年
2-4-S1	入院時日常生活機能の平均・重症者の割合・				8.2	12.9
		重症者割合		25%	26%	22%

No.	指標項目名	項目詳細	2010年	2011年	2012年	2013年
2-4-P1	回復期リハビリテーション病棟のリハビリ実施の状況	脳リハ患者1人あたり実施日数	48.0日	56.2日	66.6日	61.2日
		脳リハ患者1人あたり実施単位	4.4単位	5.5単位	6.0単位	6.0単位
		運リハ患者1人あたり実施日数	45.5日	47.5日	59.2日	50.5日
		運リハ患者1人あたり実施単位	3.6単位	4.6単位	5.2単位	5.2単位

No.	項目詳細	指標項目名	2010年	2011年	2012年	2013年
2-4-O1	在宅復帰率	病棟退院検患者の在宅復帰率	92.7%	84.8%	83.5%	78.7%
2-4-O2	回復期リハビリテーション病棟退院患者の在院日数	総在院日数の平均	76.6日	72.5日	83.5日	78.3日
		病棟滞在日数の平均	64.5日	54.6日	60.7日	55.5日

■3－1■　外来医療の状況

No.	指標項目名	項目詳細	2010年	2011年	2012年	2013年
3-1-S1	外来実患者数	外来実患者数	54273人	55544人	54833人	53364人
3-1-S2	外来患者受診状況	年間平均受診回数	5.9回	5.7回	5.4回	5.5回
3-1-S3	外来主病名の状況	主病名あり患者の割合	25.6%	39.6%	27.2%	35.3%
		循環器	35.3%	31.2%	20.2%	19.4%
		代謝疾患	31.5%	28.1%	18.9%	17.6%
		新生物	18.4%	18.0%	13.1%	14.2%
3-1-S4	外来開始病名の状況	1人あたり開始病名(疑除く)数	1.4	2.1	2.2	2.2
		呼吸器	11.1%	51.3%	23.8%	21.5%
		皮膚	13.2%	22.4%	10.8%	11.5%
		消化器	19.5%	17.8%	9.2%	9.8%
3-1-S5	外来疾患別平均年齢	実患者	46.3歳	46.6歳	47.4歳	48.5歳
		男	45.5歳	46.0歳	46.3歳	48.0歳
		女	47.0歳	47.1歳	48.5歳	48.9歳

No.	指標項目名	項目詳細	2010年	2011年	2012年	2013年
3-1-P1	血圧140/90mg以下コントロール割合	血圧140/90mg以下割合	75%			69%
3-1-P2	心不全での左心機能評価	左心機能評価割合	61.3	41.3		77.0%
3-1-P3	市中肺炎の初期診療	尿中肺炎球菌抗原実施率	87.5%	78.0%		
		入院時血液培養2セット実施率		36.0%		52.7%
		重症度記載率	75.0%	100.0%	100.0%	78.5%
		初回抗緑膿菌広域抗生剤投与患者割合	87.5%			
		初日抗生剤投与割合				
3-1-P4	職業歴記載割合（15歳以上）	新規患者記載率		14.5%	25.6%	24.2%
		外来患者記載率		34.6%	43.1%	50.2%

No.	項目詳細	指標項目名	2010年	2011年	2012年	2013年
3-1-O1	新患者数	新規登録患者数	11073人	11184人	10450人	11356人
3-1-O2	薬剤副作用による入院率	副作用発生割合	0.05‰	0.04‰	0.03‰	0.03%
		入院患者に占める割合	0.4%	0.3%	0.2%	0.2%
3-1-O3	外来処置後の合併症による入院率	外来処置後合併症発生割合	0.02%	0.00%	0.00%	0.00%
		入院患者に占める割合	0.01%	0.0%	0.0%	0.0%

■3－2■　救急医療の状況

No.	指標項目名	項目詳細	2010年	2011年	2012年	2013年
3-2-S1	救急患者数	時間外患者数（救急車、小児救急を除く）	9573人	9042人	9087人	8547人
3-2-S2	救急受け入れ要請数	救急受け入れ要請数	5763人	6713人	6799人	6422人
3-2-S3	救急搬入入院	救急搬入入院数	910人	1153人	1121人	1071人
		救急搬入入院割合	26.0%	28.2%	31.4%	32.1%
3-2-S4	来院時心肺停止患者数	来院時心肺停止患者数	24人	51人	50人	42人
3-2-S5	認定資格	医師			9人	9人
		看護師			35人	16人

No.	指標項目名	項目詳細	2010年	2011年	2012年	2013年
3-2-P1	受付時間外急患のトリアージ	トリアージ率			80.4%	84.4%
		アンダートリアージ率			2.4%	2.4%
		オーバートリアージ率			22.6%	25.9%
3-2-P2	救急車受け入れ	救急搬入患者数	3495人	4083人	3569人	3335人
		救急患者受入率	60.6%	60.8%	52.5%	51.9%
3-2-P3	救急搬入患者の入院にかかった時間	6時間以内に入院した患者の割合			90.1%	17.9%
3-2-P4	脳血管障害患者の頭部CT撮影までの時間	来院から撮影まで（分）	46.0分	31.0分	31.0分	29.0分
3-2-P5	緊急手術までに要した時間の平均	緊急手術までに要した時間の平均		162.0分	231.0分	
3-2-P6	緊急内視鏡処置までに要した時間の平均	緊急内視鏡処置までに要した時間の平均				
3-2-P7	救急搬入患者のCT撮影したうち有所見の割合	救急搬入患者のCT撮影したうち有所見の割合			49.4%	44.5%

No.	項目詳細	指標項目名	2010年	2011年	2012年	2013年
3-2-O1	救急受入患者の救命率	救急搬入入院患者救命率	96.3%	88.1%	90.3%	91.3%
3-2-O2	心拍再開した患者の割合、生存退院割合	心拍再開した患者の割合	13%	27%	36%	14%
		生存退院割合	33%	21%	17%	33%
3-2-O3	救急搬入後帰宅した患者の転帰	2週間以内に再搬入または受診し入院した患者割合			2.0%	2.7%

■3－3■　在宅医療の状況

No.	指標項目名	項目詳細	2010年	2011年	2012年	2013年
3-3-S1	在宅管理患者数	年間管理患者実人数の平均	114人	98人	76人	89人
3-3-S2	新規在宅患者数	新規在宅管理患者数	66人	73人	77人	76人

No.	項目詳細	指標項目名	2010年	2011年	2012年	2013年
3-3-O1	在宅患者死亡数	在宅死亡割合	48%	55%	59%	67%
		入院死亡割合	48%	38%	37%	32%
		他施設死亡割合	4%	6%	0%	1%
3-3-O2	在宅看とりを希望した患者のみとり	在宅みとり率	75%	96%	91%	98%

■4－1■　地域連携の状況

No.	指標項目名	項目詳細	2010年	2011年	2012年	2013年
4-1-S3	連携医療機関の状況	医療機関数	579	560	548	549
		登録医数	44	72	80	81

No.	指標項目名	項目詳細	2010年	2011年	2012年	2013年
4-1-P1	地域連携クリティカルパスの運用	受入数	75例	68例	57例	59例
4-1-P2	患者紹介率	紹介+逆紹介の割合	30.6%	35.1%	38.2%	38.0%
		内科専門外来紹介者の割合			3.0%	3.1%
		小児科紹介割合			2.9%	2.3%
		外科紹介割合			2.9%	1.9%
		産婦人科紹介割合			2.0%	1.5%
		泌尿器科紹介割合			2.2%	1.9%
		整形外科紹介割合			2.6%	2.1%
		皮膚科紹介割合			1.9%	1.4%
		耳鼻咽喉科紹介割合			1.3%	0.9%
		眼科紹介割合			1.9%	1.4%
		精神科紹介割合			1.7%	1.2%

■4－2■　療養支援・相談機能

No.	指標項目名	項目詳細	2010年	2011年	2012年	2013年
4-2-S1	社会福祉士の数	人数	7.0人	9.5人	10.0人	8.7人
4-2-S2	精神保健福祉士の数	人数	1.0人	0.6人	1.0人	1.0人

No.	指標項目名	項目詳細	2010年	2011年	2012年	2013年
4-2-P1	療養支援会議	実施記録のある患者数	195人	201人	199人	293人
4-2-P2	相談件数 ワーカー1人あたり相談件数	1人あたり相談件数	1334	1346	1267	1323
4-2-P3	相談実人数 相談者当たり回数	相談者あたり回数	1.7回	1.8回	2.0回	1.8回
		相談実人数	5989人	6804人	7133人	7190人
4-2-P4	受療支援	無保険受付数	24	188	121	37
		うち外国国籍患者			54	15
		相談数	20	45	19	23
		社会資源活用手続き件数				1622

No.	項目詳細	指標項目名	2010年	2011年	2012年	2013年
4-2-O1	退院支援による療養継続	目標期間以内に再入院した患者の割合	62%			98%
4-2-O2	相談・支援による社会資源活用率	社会資源活用手続き件数			1552	1622

■5■　医療記録の適切性

No.	指標項目名	項目詳細	2010年	2011年	2012年	2013年

No.	指標項目名	項目詳細	2010年	2011年	2012年	2013年
5-1-P1	『退院時要約』記載率	退院後7日以内記載率			86.7%	84.4%
		退院後14日以内記載率	73.7%	69.9%	98.5%	100.0%
5-1-P2	看護計画の立案数・率	患者あたり計画数		4.9		38.6
		患者あたり身体的問題抽出数				25.5
		患者あたり心理的問題抽出数				2.1
		患者あたり社会的問題抽出数				0.8
5-1-P3	総合アセスメントの実施	48時間以内実施率				55%
		65歳以上へのCGA実施割合				
5-1-P4	看護サマリーの作成率	看護サマリ退院後48時間以内作成率	6.2%	12.4%	44.0%	54.4%
5-1-P5	看護記録監査80%以上の医療記録	合格基準90点以上の記録割合			58%	39%
5-1-P6	カウンターサインの実施	24時間以内実施割合			26.5%	75.8%
5-1-P7	医師記録記載率（10段階評価）	身体的・心理的・生活上の問題			7.9	8.5
		家族歴・既往歴			0	8.8
		初期の教育計画立案			4.4	8.3
		説明後の患者の受け止め			0	4.2

■6■　保健予防・健康増進

No.	指標項目名	項目詳細	2010年	2011年	2012年	2013年
6-1-O1	健康診断	受診総数	27039人	26786人	27675人	27645人
6-1-S2	禁煙外来受診数	禁煙外来受診者数	56人	61人	53人	59人

No.	指標項目名	項目詳細	2010年	2011年	2012年	2013年
6-1-P1	健診要精査率	総合DE率	37.3%	35.5%	37.5%	48.9%
6-1-P2	大腸癌健診	便潜血陽性（D判定）率	4.1%	4.2%	4.5%	4.7%
		精査率	24.4%	4.6%	19.4%	28.3%
6-1-P3	胃がん検診	有所見者（C判定以上）率	31.1%	27.9%	29.2%	28.3%
		精査数	37.4%	27.5%	29.6%	27.6%
6-1-P4	肺がん検診（CT含む）	要精査（C判定以上）率	2.9%	2.1%	2.0%	1.4%
		精査数	18.3%	18.3%	36.7%	34.6%
6-1-P5	早期乳癌発見率	要精査（C判定以上）率	9.6%	8.8%	10.3%	8.6%
6-1-P6	子宮がん検診	子宮頸がん要精査率	1.9%	1.6%	2.0%	2.1%
		子宮体がん要精査率	0.9%	0.4%	0.3%	0.5%
6-1-O7	禁煙外来	終了率	36%	43%	21%	59%
		再喫煙率			9%	3%
		中断率			17%	34%

No.	項目詳細	指標項目名	2010年	2011年	2012年	2013年
6-1-O1	要精査者フォロー	DE受診率	61.8%	71.5%	81.4%	18.0%
6-1-O2	早期大腸癌発見率	0期、Ⅰ期大腸癌発見率	0.09%	0.03%	0.06%	0.05%
		Ⅱ期以上大腸癌発見率		0.03%	0.04%	0.10%
6-1-O3	早期胃癌発見率	Ⅰ期胃癌発見率	0.11%	0.07%	0.05%	0.03%
		Ⅱ期以上胃癌発見率			0.02%	0.02%
6-1-O4	肺癌発見率（早期、進行）	肺癌発見率	0.00%	0.04%	0.02%	0.02%
6-1-O5	早期乳癌発見率	乳がん発見数率	0.23%	0.26%	0.26%	0.39%
6-1-O6	子宮がん発見率	子宮頸がん発見率	0.98%	0.09%	0.00%	0.00%
		子宮体がん発見率	0.04%	0.04%	0.04%	0.04%
6-1-O7	禁煙成功率	1年後の禁煙継続者率	41%	31%	46%	38%

■7－1■　呼吸器内科

No.	指標項目名	項目詳細	2010年	2011年	2012年	2013年
7-1-S1	アスベスト・塵肺相談件数	塵肺相談者数	42人	34人	24人	27人
7-1-S2	認定・専門	認定資格			7人	7人

No.	指標項目名	項目詳細	2010年	2011年	2012年	2013年
7-1-P1	気管支内視鏡生検による悪性診断率	悪性腫瘍診断率	34.2%	65.0%	55.6%	42.0%
7-1-P2	HOT実施者数	HOT年間実人数	277	171	169	168
7-1-P4	呼吸内科受診者の職歴、喫煙歴聴取・記載	職歴（暴露歴）記載率	74%	35%	48%	66%
		喫煙歴（本数×年数）記載率	73%	31%	38%	66%

No.	項目詳細	指標項目名	2010年	2011年	2012年	2013年
7-1-O1	気管支鏡検査の合併症発生率	検査中・当日の合併症発生率	5.2%	6.0%	2.2%	2.5%
7-1-O2	COPDで2回/年以上入院率	2回以上入院した割合	3.6%	1.3%	1.1%	1.7%
7-1-O3	塵肺・アスベスト救済法申請支援の結果	塵肺申請数	55	22	4	27

■7－2■　消化器外科・呼吸器外科・乳腺外科

No.	指標項目名	項目詳細	2010年	2011年	2012年	2013年

No.	指標項目名	項目詳細	2010年	2011年	2012年	2013年
7-2-P1	腹部外科手術難度別割合	（学会）高難度手術率	10.2%	9.4%	7.0%	8.6%
		（学会）中難度手術率	22.3%	30.1%	28.1%	27.9%
		（学会）低難度手術率	67.4%	60.5%	64.9%	63.5%
7-2-P2	腹部外科領域の内視鏡下手術	全腹腔鏡下手術数	163	154	238	237
		うち腹腔鏡下胆のう摘出術数	93	98	126	108
		うち開腹移行率	4.3%	3.1%	5.6%	1.9%
7-2-P3	急性胆嚢炎の96時間以内手術実施割合	発症96時間以内手術割合	9%	29%	5%	10%
7-2-P4	胸部外科手術実施	胸部外科領域手術件数	28	30	30	33
		E難度手術率	46%	53%	3%	0%
		D難度手術率			43%	82%
7-2-P5	乳がん手術	乳房温存手術割合	13%	57%	57%	43%
7-2-P6	手術目的での他院からの紹介患者数	手術目的紹介患者数	55	50	114	106
7-2-P7	手術時間が延長した患者の割合	予定時間より延長した割合	1%	2%	4%	44%
		標準時間（外保連）より延長した割合			12%	30%

No.	項目詳細	指標項目名	2010年	2011年	2012年	2013年
7-2-O1	外科手術後在院日数	平均	13.1日	12.0日	11.6日	11.9日
		中央値	7.0日	7.0日	8.0日	7.0日
7-2-O2	胃がん手術後生存率	StageⅡ5年生存率	75.5%		73.7%	
		StageⅢ5年生存率	60.7%			
7-2-O3	大腸がん手術後生存率	StageⅡ5年生存率	84.3%		90.2%	
		StageⅢ5年生存率	66.9%			
7-2-O4	肺がん手術後生存率	肺がん手術5年生存率				
7-2-O5	乳がん手術後生存率	乳がん術後10年生存率				
7-2-O6	手術後の合併症（感染症除く）	合併症発生率	6.6%	6.1%		5.2%
2-1-O8（再掲）	術後感染症（結腸、胃）	胃切術後感染率	15.8%	16.0%	10.5%	9.5%
		大腸術後感染率	0.0%	7.0%	11.5%	10.7%
		直腸術後感染率	3.8%	16.0%	18.2%	10.0%
7-2-O7	外科手術後の死亡退院患者の割合	外科手術後30日以内死亡退院率	1.1%	1.0%	0.2%	0.5%

■7－3■　消化器内科

No.	指標項目名	項目詳細	2010年	2011年	2012年	2013年
7-3-S1	内視鏡技師数	内視鏡技師数	7人	7人	12人	11人
7-3-S2	炎症性大腸疾患診断数	潰瘍性大腸炎、クローン病		94	50	26人

No.	指標項目名	項目詳細	2010年	2011年	2012年	2013年
7-3-P1	消化管内視鏡検査件数（件）	上部消化管内視鏡検査数	5994	5850	5561	5789
		下部消化管内視鏡検査数	1992	2247	2280	2394
7-3-P2	緊急消化管内視鏡検査	緊急消化管内視鏡検査	448	403	133	942
		うち止血術実施割合	12%	10%	37%	8%
7-3-P3	内視鏡的粘膜切除件数	食道			6	0
		胃			34	31
		大腸EMR	391	343	427	396
7-3-P4	EST（内視鏡的括約筋切開術）	EST実施件数	36	36	47	46
7-3-P5	膵胆管への造影検査および処置（EST以外）	実施件数（ENBD,ERBD,ERCP）	91	131	126	32
7-3-P6	肝癌がんに対する肝動脈塞栓術件数	TACE実施件数	41	62	66	49
7-3-P7	緊急腹部血管造影	実施件数		1		3
7-3-P8	C型肝炎に対するIFN療法	新規IFN開始	30	25	12	18
7-3-P9	PEG造設件数	PEG増設	78	69	69	52

No.	項目詳細	指標項目名	2010年	2011年	2012年	2013年
7-3-O1	消化管内視鏡検査の合併症	発生率	0.0%	0.0%		0.0%
7-3-O2	内視鏡的粘膜切除の合併症率	発生率	4.4%	2.5%		0.5%
7-3-O3	ERCP関連合併症	発生率	1.6%	1.8%		0.6%
7-3-O4	ＴＡＣＥ実施患者の状況	平均実施回数				
7-3-O6	IFN療法によるHCV消失割合	1型高ウィルス量（難治性）患者のSVR		48%		
		難治性以外のSVR		78%		
7-3-O7	C型肝炎患者のうち肝細胞がん発生割合	肝細胞がん発生年率				
7-3-O8	胃瘻造設患者の状況	6月後生存率	86%		75%	76%
		1年生存率	79%		73%	73%
		早期合併症発生率	2%	3%	10%	8%
		在宅復帰率	46%	38%	54%	57%
		離脱率	0%	0%	0%	0%

■7－4■　整形外科

No.	指標項目名	項目詳細	2010年	2011年	2012年	2013年
7-4-S1	整形外科手術における後期高齢者の割合	75歳以上の手術率	32.3%	18.9%	30.3%	29.5%

No.	指標項目名	項目詳細	2010年	2011年	2012年	2013年
7-4-P1	難度の高い手術	D3・E難度（旧分類）手術数	213	222	272	287
		関節手術数	73	214	246	291
		脊椎手術数	2	4	26	33

No.	項目詳細	指標項目名	2010年	2011年	2012年	2013年
7-4-O1	高齢者大腿骨頸部骨折手術後の再歩行獲得率	75歳以上で病前歩行患者の再歩行獲得率	50%	64%	61%	55%
7-4-O2	整形外科手術後の局所感染率	股関節手術後感染	0.0%	1.3%	1.4%	0.0%
2-1-O9（再掲）		膝関節手術後感染	0.0%	0.6%	1.5%	0.0%

■7－5■　産婦人科

No.	指標項目名	項目詳細	2010年	2011年	2012年	2013年
7-5-S1	助産師の数	助産師数	23.0人	21.7人	21.8人	22.5人
7-5-S2	妊婦の年齢構成	35歳以上初産の割合				12%
		19歳以下の割合			1%	1%

No.	指標項目名	項目詳細	2010年	2011年	2012年	2013年
7-5-P1	合併症妊娠への対応	合併妊娠症例	63	110	119	78
		肥満（BMI30以上）	5	10	5	11
		精神疾患	12	16	27	20
		甲状腺	10	7	12	6
		筋腫合併妊娠	10	25	34	30
		糖尿病合併合併妊娠		2	0	2
7-5-P2	妊娠合併症への対応	妊娠高血圧症		38	29	28
		妊娠糖尿病		13	11	19
7-5-P3	母体体重管理	管理基準内割合（分娩前理想体重+8Kg以内）		58%	79%	59%
7-5-P4	家族立会いによる分娩	立会い（経腟）率	90%	94%	92%	98%
		立会い（帝王切開）率	85%	91%	89%	95%
7-5-P5	婦人科領域における腹腔鏡下手術	腹腔鏡下手術数	2	6	7	7
		婦人科領域手術件数	345	279	299	197

No.	項目詳細	指標項目名	2010年	2011年	2012年	2013年
7-5-O1	早期早産	35週未満出生児の割合	0.4%	0.6%	0.4%	0.2%
7-5-O2	低体重出生児	2500g未満低体重児率	7.1%	10.0%	11.0%	5.9%
7-5-O3	帝王切開術率	帝王切開率	21.3%	25.3%	24.2%	20.3%

■7－6■　小児科

No.	指標項目名	項目詳細	2010年	2011年	2012年	2013年
7-6-S1	小児科病床あたり保育士数	保育士数	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人
7-6-S2	外来患者の気管支喘息、アレルギー性疾患比率	小児受診実患者数			6116	2601
		喘息患者割合	12.6%	11.5%		39.9%
		アレルギー性疾患割合	28.2%	19.7%	45.3%	35.6%
7-6-S3	小児救急患者数	20-8小児夜間救急患者数	1431	1308	1172	1134

No.	指標項目名	項目詳細	2010年	2011年	2012年	2013年
7-6-P1	小児外来年間平均受診回数	小児年間受診回数	3.6回	3.7回	3.5回	2.1回
7-6-P2	アレルギー性疾患のうちアレルギー外来通院率	アレルギー外来通院率	20%	12%	10%	12%
		アレルギー性疾患患者数	1962	2262	2768	2601
7-6-P3	小児救急からの入院数	入院数	38	48	38	26
		入院割合			3%	2%

No.	項目詳細	指標項目名	2010年	2011年	2012年	2013年
7-6-O1	川崎病１ヶ月後の冠動脈瘤出現率	1ヶ月後冠動脈瘤出現率	0%	0%	0%	0%
		川崎病発症数	15	13	8	12
7-6-O2	アレルギー外来通院中患者の状況	アレルギー外来通院患者の年間受診回数	4.1回	6.4回		9.2回
		うち2回以上入院患者割合	2%	2%	0%	1%
7-6-O3	食物アレルギー初診乳児の治療状況	食物アレルギー初診乳児の数	78			48
		3歳までの食事制限解除率	26%			19%
7-6-O4	喘息患者のコントロール	1年のうち2回以上入院患者割合	0.9%	1.4%	0.2%	0.2%

■7－7■　循環器内科

No.	指標項目名	項目詳細	2010年	2011年	2012年	2013年

No.	指標項目名	項目詳細	2010年	2011年	2012年	2013年
7-7-P1	心エコー検査	実施件数	2488	2592	2784	2964
7-7-P2	心臓カテーテル検査	実施件数	215	233	229	240
7-7-P3	緊急心臓カテーテル	実施件数（再掲）	1	1	0	0
7-7-P4	心臓カテーテルインターベンション	実施件数	76	54	48	30
7-7-P5	下肢に対する経皮的血管形成術	実施件数	32	38	5	5

No.	項目詳細	指標項目名	2010年	2011年	2012年	2013年
7-7-O1	ＰＣＩ　1年後の再狭窄率	同部位へのＰＣＩ実施または心筋梗塞発症者の割合	11.4%		2.3%	0.0%

■7－8■　泌尿器科・透析

No.	指標項目名	項目詳細	2010年	2011年	2012年	2013年
7-8-S1	透析療法士の数	透析療法士数	1人	1人	0人	0人
7-8-S2	外来維持透析件数新規透析導入件数	外来維持透析患者数（実数）				67人
		新規導入件数	26人	30人	0人	20人

No.	指標項目名	項目詳細	2010年	2011年	2012年	2013年
7-8-P1	泌尿器科領域の内視鏡下手術	経尿道手術数	54	57	36	12
7-8-P2	腎、尿路、膀胱の体外衝撃波砕石	ESWL（例数）	94例	82例	126例	101例
7-8-P3	特殊透析実施患者数	CAR（T腹水濃縮再静注法）	41			0
		血球成分除去療法（L-CAP）	5			0
		エンドトキシン吸着（PMX-DHT）	25			16
7-8-P4	維持透析患者のHbコントロール	Hb10-12.9mg/dLの患者割合	54%	71%		78%
7-8-P5	維持透析中患者の電解質コントロール	Ca・P積<55患者割合				72%
		P≦6.5mg/dLの患者割合	91%	73%		83%

No.	項目詳細	指標項目名	2010年	2011年	2012年	2013年
7-8-O1	泌尿器領域の内視鏡下手術後の合併症発生率	合併症発生率			0%	0%
7-8-O2	緊急透析（PMX-DHT）実施による救命率	救命率	55%			

■7－9■　糖尿病内科

No.	指標項目名	項目詳細	2010年	2011年	2012年	2013年
7-9-S1	糖尿病療養士の数（人）	糖尿病療養指導士数	13人	10人	9人	9人
7-9-S2	糖尿病患者100人あたりの療養指導士数（人）	糖尿病患者100人あたり療養指導士数	0.46人	0.45人	0.54人	0.52人
7-9-S3	フットケア資格	有資格者数	3人	3人	4人	5人

No.	指標項目名	項目詳細	2010年	2011年	2012年	2013年
7-9-P1	外来２型糖尿病患者のＢＭＩ	BMI25以上割合	40.2%	40.6%		38.0%
7-9-P2	インスリン処方患者	インスリン処方割合	48%	26%	38%	37%
7-9-P3	インスリン使用者中SMBG実施割合	SMBG実施者割合	58%			59%
7-9-P4	専門外来紹介患者の状況	DM専門外来への紹介患者数	8	16	66	105
		6ヶ月以内逆紹介割合	4%	40%	17%	12%

No.	項目詳細	指標項目名	2010年	2011年	2012年	2013年
7-9-O1	血糖コントロール入院の状況	入院時HbA1c（NGSP）8.4以上で退院6月後7.4%未満患者割合	51%	46%	36%	50%
7-9-O2	外来２型糖尿病患者の血糖コントロール	7.4%(NGSP)未満⇒2013より70.%未満	68.6%	60.1%	61.3%	61.3%
		6.9%(NGSP)未満⇒2013より6.0%未満	45.1%	37.7%	38.1%	38.1%
		平均HbA1c（NGSP）	7.08	7.28	7.38	7.16
7-9-O3	合併症の発生	糖尿病性壊疽による下肢切断	1	0	2	7
		糖尿病腎症による透析導入	14	10	8	8

■7－10・11・12■　皮膚科・耳鼻咽喉科・眼科

No.	指標項目名	項目詳細	2010年	2011年	2012年	2013年
7-12-S1	視能訓練士の数	視能訓練士数	1.3人	2.2人	3.0人	2.3人

No.	指標項目名	項目詳細	2010年	2011年	2012年	2013年
7-10-P1	皮膚潰瘍患者数	対象病名登録患者数	436	422		95
7-10-P2	皮膚がん診断数	皮膚がん診断数	28	33	41	34
7-10-P3	皮下腫瘍切除数	皮下皮膚腫瘍切除数	245	287	259	242
7-11-P1	ＳＡＳ検査入院件数	SAS入院件数	80	86	0	50
7-11-P2	ＣＰＡＰ実施数	CPAP実人数	279	275	297	168
		新規開始患者数			48	34
7-12-P1	眼科レーザー治療数	眼科レーザー治療数	137	57	37	42
7-12-P2	白内障手術	件数			215	229

No.	項目詳細	指標項目名	2010年	2011年	2012年	2013年
7-10-O1	皮膚潰瘍治癒率	皮膚潰瘍治癒率	24%	28%		12%
7-10-O2	皮下切除後の合併症率	合併症発生率	0.4%	0.3%		0.4%

■7－13・14・15■　精神科・緩和ケア内科・がん化学療法・被爆者医療

No.	指標項目名	項目詳細	2010年	2011年	2012年	2013年
7-13-S1	精神科新規患者数	精神科新規患者数	296人	388人		330人
	通院実患者中割合（うち紹介）	通院実患者数			1253人	1349人
		他院紹介患者数	96人		125人	143人
7-13-S2	精神科インテーク数	精神科インテーク数	277人	200人	399人	386人
7-13-S3	認知症ケア（学会認定）	認知症ケア認定	1人	1人	2人	1人
7-13-S1	被爆者登録総数	全登録数	598人	583人	270人	419人

No.	指標項目名	項目詳細	2010年	2011年	2012年	2013年
7-13-P1	精神科デイケア実施数	精神科デイケア実施回数	145	143	147	144
		参加人数	9.8	9.1	1333	33
7-13-P2	入院精神科療法コンサルト数	入院精神療法実施数	17	126	113	143
		精神科対診数	64	53	0	18
7-13-P3	緩和ケア回診数	緩和ケア回診数	68	33	47	93
		緩和ケアカンファレンス数		134	34	354
7-13-P4	デスカンファ開催数	デスカンファレンス開催数	6	2	0	72
7-15-P1	登録されているプロトコール数	プロトコール数	60	68	75	75
7-15-P2	がん化学療法（注）実施者	実人数	115人	125人	138人	148人
7-14-P1	健康管理数（被爆者健診受診数）・率	被爆者健診数	140人	110人	108人	119人

No.	項目詳細	指標項目名	2010年	2011年	2012年	2013年

■8－1■　臨床検査の機能

No.	指標項目名	項目詳細	2010年	2011年	2012年	2013年
8-1-S1	臨床検査技師の数	臨床検査技師数	34.0人	29.5人	32.4人	32.8人
8-1-S2	専門・認定検査技師の数	資格数	5	5	7	9
		有資格者数	13人	12人	12人	11人

No.	指標項目名	項目詳細	2010年	2011年	2012年	2013年
8-1-P1	チーム会議への参加	参加技師数				
8-1-P2	採血後の異常発現	異常発現率				
8-1-P3	異常発現率0.1%未満の検査項目	検査項目数				
8-1-P4	血液培養検査の適正化	2セット提出率	82.8%	91.3%	97.2%	91.8%
		表皮ブドウ球菌コンタミネーション率	5.4%	5.2%	2.7%	3.4%

No.	項目詳細	指標項目名	2010年	2011年	2012年	2013年
8-1-O1	異常値発見・報告数（プレアボイド）	異常値発見	925	3310		3542
		メール配信	203	298		176

■8－2■　画像診断の機能

No.	指標項目名	項目詳細	2010年	2011年	2012年	2013年
8-2-S1	診療放射線技師の数	技師数		21人	20人	20人
8-2-S2	専門・認定放射線技師の数	資格数		4	6	7
		有資格者数		7人	11人	9人

No.	指標項目名	項目詳細	2010年	2011年	2012年	2013年
8-2-P1	有所見者フォロー率	フォロー率	1.1%	0.6%		
8-2-P2	造影剤による副作用発現率	副作用発現率	1.0%	1.2%		0.4%
		漏出件率	0.2%	1.2%		0.2%

No.	項目詳細	指標項目名	2010年	2011年	2012年	2013年
8-2-O1	異常形発見・報告数（プレアボイド）	異常値発見				
		メール配信	105			

■8－3■　薬剤管理の機能

No.	指標項目名	項目詳細	2010年	2011年	2012年	2013年
8-3-S1	外来調剤	院内枚数/日			59.6	23.2
		院内剤数/枚			2.8	2.8
8-3-S2	入院調剤	入院枚数/日			132.0	2.8
		入院剤数/枚			2.6	2.8
8-3-S3	薬剤師数	薬剤師数	24.5人	23.3人	25.5人	24.5人
8-3-S5	認定薬剤師数	資格数	6	6	6	8
		有資格者数	12人	14人	15人	7人
8-3-S6	実務実習指導薬剤師数	実務実習指導薬剤師数				2人

No.	指標項目名	項目詳細	2010年	2011年	2012年	2013年
8-3-P1	誤投薬	誤投薬件数	86	75	119	0
		発生率（入院・外来）	0.10%	0.09%	0.17%	0.00%
8-3-P2	注射セット件数、入院無菌調剤	セット件数(Rp)/月	14168	14168	14168	13196
		無菌調剤率	4.77%	3.75%	1.85%	1.85%
		セット率（Rp）	80.8%	80.5%	80.7%	79.0%
8-3-P3	化学療法調剤件数	入院・外来合計/月	71.0	79.9	79.3	71.3
8-3-P4	薬剤師による入院患者への服薬指導実施率	指導率	67.1%	67.1%	70.9%	68.2%
		1人当たり指導回数	2.0回	2.0回	2.0回	1.9回
		退院時薬剤管理指導率	49.7%	54.0%	58.7%	55.0%
8-3-P5	抗菌薬適正使用介入症例数	抗菌薬適正使用介入症例数	55	74	77	123
8-3-P6	持参薬管理の評価は（検討中）	対応割合			72.0%	72.9%
8-3-P7	薬物中毒対応	薬物中毒対応割合			7.4%	64.2%

No.	項目詳細	指標項目名	2010年	2011年	2012年	2013年
8-3-O1	プレアボイド報告数	報告件数	51	43	24	0
		病薬件数	3	0	3	0
8-3-O2	医薬品等安全性情報報告数	厚労省	49	43	39	31
		全日本	49	43	39	31
8-3-O3	医薬品副作用被害救済制度利用	申請	5	3	2	7
		認定	3	5	2	2
1-2-O4	薬の誤投与	処方薬誤投与率	0.01%	0.00%	0.14%	0.12%
		薬の誤注入率	0.71%	0.22%	0.17%	0.19%

■8－4■　リハビリテーションの機能

No.	指標項目名	項目詳細	2010年	2011年	2012年	2013年
8-4-S1	作業療法士の数	OT数	11.0人	12.0人	10.6人	10.7人
8-4-S2	理学療法士の数	PT数	20.0人	22.0人	24.0人	27.5人
8-4-S3	言語聴覚士の数	ST数	6.0人	5.0人	5.0人	5.5人

No.	指標項目名	項目詳細	2010年	2011年	2012年	2013年
8-4-P1	一般病棟（D5以外）リハ介入率	介入率	31.9%	41.7%	45.2%	49.5%
8-4-P2	患者1人当り単位数	（座小・Ｄ５・６日以下入院患者を除くリハ実施者）１人あたりの総単位数	25.0	25.8	26.6	28.6
8-4-P3	上記入院患者の入院から開始までの日数	開始日数の平均	8.3日	8.8日	6.3日	5.9日
		3日以内開始割合		34.0%	42.6%	50.0%
		7日以内開始割合		70.3%	77.6%	80.2%
8-4-P4	上記患者の訓練日数（入院期間にしめる割合）	1人あたり日数	14.7日	15.3日	15.1日	15.8日
8-4-P5	上記患者の１日あたりの単位数	1人1日あたり単位数	1.7単位	1.7単位	1.8単位	1.8単位
8-4-P6		療法士1人あたり実施単位数/稼動日	13.0単位	13.9単位	15.3単位	15.3単位

No.	項目詳細	指標項目名	2010年	2011年	2012年	2013年
8-4-O1	上記患者の在院日数	在院日数の平均	32.7日	31.6日	29.4日	27.9日

■8－5■　栄養管理の機能

No.	指標項目名	項目詳細	2010年	2011年	2012年	2013年
8-5-S1	加算食提供	加算食割合	46.7%	48.9%	45.9%	47.5%
8-5-S2	管理栄養士の数	管理栄養士	13人	15人	11人	13人
8-5-S3	専門・認定栄養士の数	専門栄養士	2人	2人	2人	2人
2-2-S1（再掲）	NST資格者数	NST専門栄養士	1人	2人	2人	1人
		NST専門薬剤師	1人	1人	1人	1人
		NST医師数	6人	7人	4人	6人

No.	指標項目名	項目詳細	2010年	2011年	2012年	2013年
8-5-P1	選択メニュー実施率	実施率	15.8%	14.6%	14.7%	30.7%
8-5-P2	栄養摂取方法の状況	経口摂取患者割合				92.3%
		経腸栄養患者割合				3.9%
		静脈栄養患者割合				3.8%
8-5-P3	食事相談	入院患者における実施割合	92.4%	94.6%		94.3%

No.	項目詳細	指標項目名	2010年	2011年	2012年	2013年
8-5-O1	喫食率	5割以下率	9.2%	7.0%	6.5%	7.1%
		完食率	26.5%	23.9%	18.4%	18.4%
8-5-O2	食事満足度率	満足率	71%	80%		72%

■8－6■　医療機器管理

No.	指標項目名	項目詳細	2010年	2011年	2012年	2013年
8-6-S1	臨床工学技士の数	技師数	9人	10人	9人	9人
8-6-S2	専門・認定工学技士	資格数			3	3
		有資格者数			5人	5人

No.	指標項目名	項目詳細	2010年	2011年	2012年	2013年

No.	項目詳細	指標項目名	2010年	2011年	2012年	2013年
8-6-O1	輸液ポンプによる事故防止	輸液ポンプによる輸液量まちがい報告数	9	9	5	17
		ポンプ不具合による事故（機器管理）	0	0	0	0
		設定間違いによる事故（教育）	17	12		17

■9－1・2・3■　診療報酬管理・医療整備、医療情報と情報システムの管理・経営管理・労務管理・環境管理

No.	指標項目名	項目詳細	2010年	2011年	2012年	2013年
9-2-S1	診療情報管理認定資格	診療情報管理士数	9人	8人	9人	7人
9-2-S2	医療情報システム認定資格	医療情報技師数	3人	3人	3人	3人
		初級シスアド（ITパスポート）	2人	1人	1人	1人
9-3-S1	病床利用の機能	病床利用率	79.9%	77.8%	81.1%	80.3%
9-3-S2	病床回転率	一般病床回転率	2.13	2.41	2.45	2.31
		回リハ病床回転率	0.54	0.53	0.52	0.51
		緩和ケア病棟回転率				1.45
9-3-S3	医療提供の人的体制	患者100人規模あたり職員数	103.2	113.3	114.6	128.6
9-3-S4	外来医療の患者1人1日あたり収益	外来日当円	9831円	10110円	9180円	9696円
9-3-S5	入院医療の患者1人1日あたり収益	一般病床日当円	46170円	48910円	51270円	53358円
		回復期リハビリ病床日当円	31137円	33750円	34080円	35528円
9-3-S6	DPC別、6桁傷病別、手術別）収益（円）	別表（頻出50）			別掲	別掲
9-3-S7	医療機能構造	外来/入院比	3.44	3.52	3.43	3.40

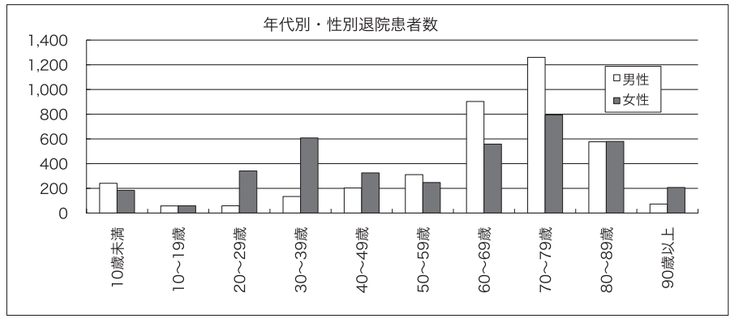
No.	指標項目名	項目詳細	2010年	2011年	2012年	2013年
9-1-P1	診療報酬返戻・減点率（件、点）	外来査定率（件）	1.6%	2.3%	1.8%	2.0%
		入院査定率（件）	2.6%	1.9%	2.3%	3.4%
9-1-P2	傷病名10以上レセプト割合				26.9%	26.0%
9-2-P1	ICD10詳細不明コード率	詳細不明コード使用率	10.0%	14.1%	5.2%	4.9%
9-2-P2	重大なシステムトラブル	サーバー障害発生数	8	7	5	4
		ネットワーク障害発生数	5	7	2	4
9-2-P3	情報システムから直接算出できるCI項目数	システム算出PO項目数	252	271	297	391
		算出率	63%	67%	93%	89%
9-2-P4	診療データ提供	調査・検索数	112	110	121	129
9-2-P5	データ処理	対応数	201	273	164	210
9-3-P1	付加価値労働分配率	付加価値労働分配率	88.1%	87.9%	98.7%	98.8%
9-3-P2	付加価値労働生産性	労働生産性(千円)	652千円	640千円	578千円	598千円
9-3-P3	職員１人あたり給与費	職員１人あたり年間給与費（千円）	572千円	563千円	568千円	591千円
9-3-P4	有休取得の状況	単年度取得率	38.8%	32.8%	44.0%	34.4%
9-3-P5	時間外労働の状況	月超勤180単位以上職員数	14.0人	14.8人	9.2人	13.1人
9-3-P6	在庫管理	薬品在庫率	53.2%	54.3%	54.7%	57.2%
		医療材料在庫率	38.1%	34.8%	21.2%	17.9%
9-3-P7	期限切れ薬品の管理	廃棄率	0.15%	0.10%	0.13%	0.13%
9-3-P8	エネルギー削減の状況	床面積1㎡あたりCO2排出量	110t/㎡	115t/㎡	117t/㎡	118t/㎡

No.	項目詳細	指標項目名	2010年	2011年	2012年	2013年
9-3-O1	職員ひとりあたり収益/月	医師（千円）	8374千円	7829千円	7757千円	7621千円
		全職員(千円)	1023千円	982千円	924千円	931千円
9-3-O2	医業収益率	医業収益対医業利益率	1.1%	1.7%	1.0%	0.4%
9-3-O3	職員健診の状況	総合判定DE率	35%	33%	34%	28%
		二次精査受診率DE	29%	34%	79%	82%
9-3-O4	労災事故の状況	事故報告数	24	24	16	28
9-3-O5	離職率	医師	5.5%	2.9%	8.8%	11.3%
		看護師	11.1%	11.3%	9.6%	6.1%
		医療技術系職員	8.3%	8.5%	7.0%	3.3%
		事務職員	7.7%	15.2%	10.0%	7.6%
		新入職員			0.0%	5.7%

3．退院患者統計

（1）年代別・性別患者数

性／別	2011年 男性	2011年 女性	2012年 男性	2012年 女性	2013年 男性	2013年 女性
10歳未満	274	257	307	171	241	184
10～19歳	72	56	72	56	58	59
20～29歳	66	324	62	336	59	341
30～39歳	144	694	130	634	134	608
40～49歳	236	312	226	275	203	325
50～59歳	352	220	316	199	311	247
60～69歳	961	562	945	540	903	558
70～79歳	1,110	747	1,166	737	1,260	794
80～89歳	526	584	580	630	577	580
90歳以上	76	211	99	231	73	207
合計	3,817	3,967	3,903	3,809	3,819	3,903



（2）診療科別患者数および構成比率、平均年齢、在院日数の平均

診療科	2011年 退院患者数	2011年 構成比率	2012年 退院患者数	2012年 構成比率	2013年 退院患者数	2013年 構成比率
内科	3709	47.6%	3734	48.4%	3690	47.8%
小児科	537	6.9%	491	6.4%	446	5.8%
外科	1181	15.2%	1132	14.7%	1088	14.1%
産科	639	8.2%	620	8.0%	616	8.0%
婦人科	403	5.2%	371	4.8%	412	5.3%
泌尿器科	298	3.8%	265	3.4%	325	4.2%
整形外科	669	8.6%	634	8.2%	643	8.3%
皮膚科	16	0.2%	26	0.3%	21	0.3%
耳鼻咽喉科	1	**	37	0.5%	19	0.2%
眼科	62	0.8%	170	2.2%	184	2.4%
緩和ケア*					15	0.2%
回復期リハ	264	3.4%	232	3.0%	263	3.4%
療養病棟	6	**				
合計	7,785	100%	7,712	100%	7,722	100%

*2013年12月より　　**0.1%未満

診療科	平均年齢（歳） 2011年	2012年	2013年	在院日数の平均（日） 2011年	2012年	2013年
内科	69.5	70.2	70.1	16.4	15.4	14.6
小児科	2.4	2.3	2.6	6.1	5.7	5.7
外科	63.0	64.2	64.0	12.3	12.4	14.0
産科	31.7	31.8	31.7	10.5	10.5	10.7
婦人科	37.1	36.9	37.7	6.4	7.0	6.7
泌尿器科	64.8	65.6	66.8	6.8	5.8	4.3
整形外科	61.7	62.7	62.4	21.5	22.2	21.5
皮膚科	62.0	62.7	54.6	4.7	7.5	7.7
耳鼻咽喉科	50	52.8	56.4	2	2.0	2.0
眼科	73.9	74.0	74.6	3.1	3.3	3.3
緩和ケア			76.5			34.3
回復期リハ	73.8	74.1	73.5	70.7	82.8	75.6
療養病棟	61.3			148.5		
合計	58.4	59.6	59.9	15.9	15.4	15.2

（3）疾病分類（中間分類）別患者数

大分類名	中間分類ICD	中間分類名称	2011年	2012年	2013年
感染・寄生虫	A00-A09	腸管感染症	102	75	101
	A15-A19	結核	6	12	8
	A30-A49	その他の細菌性疾患	67	60	58
	A50-A64	主として性的伝播様式をとる感染症	3	5	4
	A70-A74	クラミジアによるその他の疾患	0	2	2
	A80-A89	中枢神経系のウイルス感染症	8	4	2
	B00-B09	皮膚および粘膜病変をとするウイルス感染症	15	11	12
	B15-B19	ウイルス肝炎	28	18	23
	B25-B34	その他のウイルス疾患	14	4	14
	B35-B49	真菌症	13	15	19
	B50-B64	原虫疾患	0	1	5
	B65-B83	ぜん〈蠕〉虫症	2	4	0
	B85-B89	シラミ症，ダニ症およびその他の動物寄生症	0	1	0
	B90-B94	感染症および寄生虫症の続発・後遺症	0	0	3
	小計		258	212	251
新生物	C00-C14	口唇，口腔および咽頭	5	1	5
	C15-C26	消化器	737	718	665
	C30-C39	呼吸器および胸腔内臓器	189	165	184
	C40-C41	骨および関節軟骨	0	0	1
	C43-C44	皮膚	0	3	1
	C45-C49	中皮および軟部組織	3	4	13
	C50	乳房	56	68	67
	C51-C58	女性生殖器	7	6	15
	C60-C63	男性生殖器	125	103	161
	C64-C68	尿路	45	39	24
	C69-C72	眼，脳および中枢神経系のその他の部位	0	0	1
	C73-C75	甲状腺およびその他の内分泌腺	3	3	0
	C76-C80	部位不明確，続発部位および部位不明の悪性新生物	63	46	61
	C81-C96	原発と記載されたまたは推定されたリンパ組織，造血組織および関連組織の悪性新生物	19	10	28
	D00-D09	上皮内癌	11	7	46
	D10-D36	良性新生物	136	128	128
	D37-D48	性状不詳または不明の新生物	22	6	24
	小計		1421	1307	1424
血液・免疫	D50-D53	栄養性貧血	33	27	12
	D55-D59	溶血性貧血	2	0	0
	D60-D64	無形成性貧血およびその他の貧血	6	13	7
	D63*	他に分類される慢性疾患における貧血	4	2	0
	D65-D69	凝固障害，紫斑病およびその他の出血性病変	20	25	25
	D70-D77	血液および造血器のその他の疾患	12	6	3
	D80-D89	免疫機構の障害	1	1	1
	小計		78	74	48
内分泌・代謝	E00-E07	甲状腺障害	7	4	6
	E10-E14	糖尿病	110	113	96
	E15-E16	その他のグルコース調節および膵内分泌障害	3	4	1
	E20-E35	その他の内分泌腺障害	9	6	8
	E40-E46	栄養失調（症）	3	2	3
	E50-E64	その他の栄養欠乏症	1	1	2
	E65-E68	肥満（症）およびその他の過栄養〈過剰摂食〉	1	0	0
	E70-E90	代謝障害	53	53	41
	小計		187	183	157

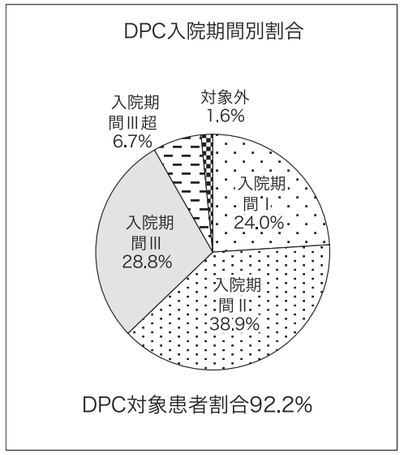
大分類名	中間分類ICD	中間分類名称	2011年	2012年	2013年
精神	F00-F09	症状性を含む器質性精神障害	5	3	1
	F10-F19	精神作用物質使用による精神および行動の障害	1	3	5
	F20-F29	統合失調症，統合失調症型障害および妄想性障害	1	2	0
	F30-F39	気分（感情）障害	4	1	2
	F40-F48	神経症性障害，ストレス関連障害および身体表現性障害	9	7	3
	F50-F59	生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	5	1	1
	F60-F69	成人の人格および行動の障害	0	0	1
	F80-F89	心理的発達の障害	0	1	0
	小計		25	18	13
神経	G00-G09	中枢神経系の炎症性疾患	8	4	10
	G10-G13	主に中枢神経系を障害する系統萎縮症	3	5	3
	G20-G26	錐体外路障害および異常運動	14	18	15
	G30-G32	神経系のその他の変性疾患	7	8	10
	G40-G47	挿間性および発作性障害	89	85	100
	G50-G59	神経，神経根および神経そう〈叢〉の障害	13	16	11
	G60-G64	多発（性）ニューロパチ（シ）ーおよびその他の末梢神経系の障害	1	2	2
	G70-G73	神経筋接合部および筋の障害	2	1	5
	G73*	他の分類される疾患における神経筋接合部および筋の障害	0	1	0
	G80-G83	脳性麻痺およびその他の麻痺性症候群	6	7	6
	G90-G99	神経系のその他の障害	6	13	11
	小計		149	160	173
眼	H00-H06	眼瞼，涙器および眼窩の障害	0	1	0
	H10-H13	結膜の障害	0	0	1
	H25-H28	水晶体の障害	62	168	184
	小計		62	169	185
耳	H65-H75	中耳および乳様突起の疾患	3	4	5
	H80-H83	内耳疾患	35	34	34
	H80-H95	耳のその他の障害	3	1	3
	小計		41	39	42
循環器	I00-I02	急性リウマチ熱	1	1	0
	I05-I09	慢性リウマチ性心疾患	0	0	0
	I10-I15	高血圧性疾患	6	4	6
	I20-I25	虚血性心疾患	214	189	208
	I26-I28	肺性心疾患および肺循環疾患	6	7	7
	I30-I52	その他の型の心疾患	276	249	208
	I43*	他に分類される疾患における心筋症	1	0	0
	I60-I69	脳血管疾患	320	323	314
	I70-I79	動脈，細動脈および毛細血管の疾患	31	52	39
	I80-I89	静脈，リンパ管およびﾘﾝﾊﾟ節の疾患，他に分類されないもの	25	26	29
	I95-I99	循環器系のその他および詳細不明の障害	5	3	1
	I98*	他に分類される疾患における循環器系のその他の障害	0	2	0
	小計		885	856	812
呼吸器	J00-J06	急性上気道感染症	47	50	32
	J10-J18	インフルエンザおよび肺炎	362	343	290
	J17*	他に分類される疾患における肺炎	0	0	0
	J20-J22	その他の急性下気道感染症	39	82	62
	J30-J39	上気道のその他の疾患	4	7	6
	J40-J47	慢性下気道疾患	190	159	144
	J60-J70	外的因子による肺疾患	198	177	174
	J80-J84	主として間質を障害するその他の呼吸器疾患	53	50	40
	J85-J86	下気道の化膿性およびえ（壊）死性病態	18	21	13
	J90-J94	胸膜のその他の疾患	36	49	41
	J95-J99	呼吸器系のその他の疾患	20	35	15
	小計		967	973	817

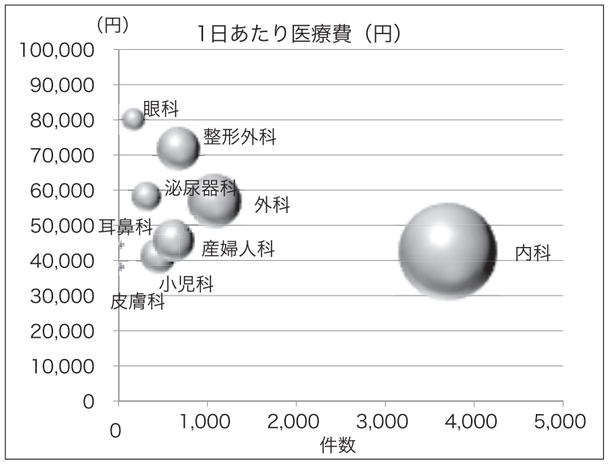
大分類名	中間分類ICD	中間分類名称	2011年	2012年	2013年
消化器	K00-K14	口腔，唾液腺および顎の疾患	3	3	1
	K20-K31	食道，胃および十二指腸の疾患	84	88	85
	K35-K38	虫垂の疾患	82	67	71
	K40-K46	ヘルニア	118	134	143
	K50-K52	非感染性腸炎および非感染性大腸炎	13	8	12
	K55-K63	腸のその他の疾患	491	523	525
	K65-K67	腹膜の疾患	12	11	14
	K70-K77	肝疾患	91	73	75
	K80-K87	胆のう（嚢），胆管および膵の障害	283	299	289
	K90-K93	消化器系のその他の疾患	79	85	84
	小計		1256	1291	1299
皮膚	L00-L08	皮膚および皮下組織の感染症	37	39	44
	L10-L14	水疱症	0	0	4
	L20-L30	皮膚炎および湿疹	4	3	5
	L40-L45	丘疹落せつ〈屑〉〈りんせつ〈鱗屑〉〉性障害	0	0	1
	L50-L54	じんま〈蕁麻〉疹および紅斑	7	10	17
	L60-L75	皮膚付属器の障害	3	4	4
	L80-L99	皮膚および皮下組織のその他の障害	14	24	14
	小計		65	80	89
筋・骨格	M00-M03	感染性関節障害	5	16	9
	M05-M14	炎症性多発性関節障害	18	23	21
	M15-M19	関節症	182	197	252
	M20-M25	その他の関節障害	3	3	3
	M30-M36	全身性結合組織障害	32	25	23
	M40-M43	変形性脊柱障害	0	1	0
	M45-M49	脊椎障害	63	51	49
	M50-M54	その他の脊柱障害	26	23	35
	M60-M63	筋障害	19	20	32
	M65-M68	滑膜および腱の障害	3	1	3
	M70-M79	その他の軟部組織障害	7	7	2
	M80-M85	骨の密度および構造の障害	9	14	7
	M86-M90	その他の骨障害	23	9	19
	M91-M94	軟骨障害	2	1	1
	M95-M99	筋骨格系および結合組織のその他の障害	0	0	1
	小計		392	391	457
尿路生殖器	N00-N08	糸球体疾患	8	10	7
	N10-N16	腎尿細管間質性疾患	26	53	84
	N17-N19	腎不全	63	96	70
	N20-N23	尿路結石症	77	72	87
	N25-N29	腎および尿管のその他の障害	0	1	3
	N30-N39	尿路系のその他の疾患	93	104	103
	N40-N51	男性生殖器の疾患	54	46	36
	N60-N64	乳房の障害	0	0	6
	N70-N77	女性骨盤臓器の炎症疾患	13	24	19
	N80-N98	女性生殖器の非炎症性障害	53	60	78
	N99	腎尿路生殖器系のその他の障害	0	0	2
	小計		387	466	495
妊娠・分娩	O00-O08	流産に終わった妊娠	171	149	137
	O10-O16	妊娠，分娩および産じょく〈褥〉における浮腫，たんぱく〈蛋白〉尿および高血圧性障害	27	24	18
	O20-O29	主として妊娠に関するその他の母体障害	44	35	38
	O30-O48	胎児および羊膜腔に関連する母体ケアならびに予想される分娩の諸問題	253	207	235
	O60-O75	分娩の合併症	234	321	265
	O80-O84	分娩	130	67	103
	O85-O92	主として産じょく（褥）に関連する合併症	2	2	3
	O94-O99	その他の産科的病態，ほかに分類されないもの	2	1	2
	小計		863	806	801

大分類名	中間分類ICD	中間分類名称	2011年	2012年	2013年
周産期	P00-P04	母体側要因ならびに妊娠および分娩の合併症により影響を受けた胎児および新生児	1	0	2
	P05-P08	妊娠期間および胎児養育に関連する障害	23	24	32
	P10-P15	出産外傷	0	1	0
	P20-P29	周産期に特異的な呼吸障害および心血管障害	33	24	24
	P35-P39	周産期に特異的な感染症	3	1	0
	P50-P61	胎児および新生児の出血性障害および血液障害	51	57	56
	P70-P74	胎児および新生児に特異的な一過性の内分泌障害および代謝障害	15	6	7
	P75-P78	胎児および新生児の消化器系障害	0	1	0
	P80-P83	胎児および新生児の外皮および体温調節に関連する病態	1	0	0
	P90-P96	周産期に発生したその他の障害	2	2	0
	小計		129	116	121
先天奇形染色体	Q00-Q07	神経系の先天奇形	0	1	0
	Q20-Q28	循環器系の先天奇形	2	3	2
	Q38-Q45	消化器系のその他の先天奇形	1		3
	Q50-Q56	性器の先天奇形	1	1	3
	Q60-Q64	尿路系の先天奇形	2	5	6
	Q65-Q79	筋骨格系の先天奇形および変形	0	2	3
	Q80-Q89	その他の先天奇形	0	0	1
	Q90-Q99	染色体異常，他に分類されないもの	0	0	0
	小計		6	12	18
症状・異常検査	R00-R09	循環器系および呼吸器系に関する症状および徴候	4	4	3
	R50-R69	全身症状および徴候	20	6	8
	小計		24	10	11
損傷・中毒	S00-S09	頭部損傷	12	11	7
	S10-S19	頸部損傷	12	4	6
	S20-S29	胸部〈郭〉損傷	9	19	14
	S30-S39	腹部，下背部，腰椎および骨盤部の損傷	41	26	28
	S40-S49	肩および上腕の損傷	65	62	63
	S50-S59	肘および前腕の損傷	55	37	48
	S60-S69	手首および手の損傷	11	10	6
	S70-S79	股関節部および大腿の損傷	167	143	115
	S80-S89	膝および下腿の損傷	60	66	67
	S90-S99	足首および足の損傷	15	8	11
	T00-T07	多部位の損傷	4	5	6
	T08-T14	部位不明の体幹もしくは（四）肢の損傷または部位不明の損傷	1	0	2
	T15-T19	自然開口部からの異物侵入の作用	2	3	4
	T20-T32	熱傷および腐食	0	0	0
	T36-T50	薬物，薬剤および生物学的製剤による中毒	20	20	20
	T51-T65	薬用を主としない物質の毒作用	2		3
	T66-T78	外因のその他および詳細不明の作用	20	23	27
	T80-T88	外科的および内科的ケアの合併症，他に分類されないもの	95	107	74
	T90-T98	損傷，中毒およびその他の外因による影響の続発・後遺症	4	7	8
	小計		595	551	509

（4）ＤＰＣ対象患者の診療科別・入院期間別退院割合、１日あたり医療費

診療科	件数	期間Ⅰの退院割合(%)	期間Ⅱの退院割合(%)	期間Ⅲの退院割合(%)	期間Ⅲ超退院割合(%)	1日あたり医療費(円)
内科	3,711	25.8	35.3	29.1	8.0	42,317
小児科	445	31.0	52.6	14.8	0.9	40,805
外科	1,089	11.8	44.0	34.3	8.7	56,637
産婦人科	636	23.1	34.3	36.0	6.1	45,344
泌尿器科	325	42.5	36.3	20.6	0.3	57,725
整形外科	690	16.5	41.0	33.0	6.4	71,690
皮膚科	21	19.0	57.1	23.8	0.0	37,725
耳鼻科	19	0.0	100.0	0.0	0.0	44,228
眼科	184	45.7	54.3	0.0	0.0	79,690
計	7,120	24.0	38.9	28.8	6.7	50,206





（5）ＤＰＣ６桁別件数上位 50 傷病名

順位	DPC6桁	DPC6桁傷病名称	件数	構成比（%）	累積（%）
1	060100	小腸大腸の良性疾患（良性腫瘍を含む。）	385	5.4	5.4
2	040080	肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎	332	4.7	10.1
3	010060	脳梗塞	214	3.0	13.1
4	050050	狭心症、慢性虚血性心疾患	194	2.7	15.8
5	040040	肺の悪性腫瘍	194	2.7	18.5
6	060020	胃の悪性腫瘍	188	2.6	21.2
7	020110	白内障、水晶体の疾患	184	2.6	23.7
8	060035	大腸（上行結腸からＳ状結腸）の悪性腫瘍	180	2.5	26.3
9	07040x	股関節骨頭壊死、股関節症（変形性を含む。）	178	2.5	28.8
10	040081	誤嚥性肺炎	162	2.3	31.0
11	110080	前立腺の悪性腫瘍	161	2.3	33.3
12	110310	腎臓または尿路の感染症	145	2.0	35.3
13	060040	直腸肛門（直腸・Ｓ状結腸から肛門）の悪性腫瘍	127	1.8	37.1
14	060160	鼠径ヘルニア	124	1.7	38.9
15	140010	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害	118	1.7	40.5
16	050130	心不全	116	1.6	42.2
17	060335	胆嚢水腫、胆嚢炎等	107	1.5	43.7
18	11012x	上部尿路疾患	106	1.5	45.1
19	120260	分娩の異常	103	1.4	46.6
20	060210	ヘルニアの記載のない腸閉塞	101	1.4	48.0
21	060050	肝・肝内胆管の悪性腫瘍（続発性を含む。）	97	1.4	49.4
22	120140	流産	91	1.3	50.7
23	070230	膝関節症（変形性を含む。）	87	1.2	51.9
24	060340	胆管（肝内外）結石、胆管炎	86	1.2	53.1
25	160800	股関節大腿近位骨折	84	1.2	54.3
26	040100	喘息	82	1.2	55.4
27	150010	ウイルス性腸炎	77	1.1	56.5
28	120170	早産、切迫早産	74	1.0	57.5
29	060150	虫垂炎	71	1.0	58.5
30	090010	乳房の悪性腫瘍	70	1.0	59.5
31	120180	胎児及び胎児付属物の異常	69	1.0	60.5
32	100070	２型糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く。）	68	1.0	61.4
33	060330	胆嚢疾患（胆嚢結石など）	67	0.9	62.4
34	180040	手術・処置等の合併症	63	0.9	63.3
35	120060	子宮の良性腫瘍	56	0.8	64.1
36	12002x	子宮頸・体部の悪性腫瘍	54	0.8	64.8
37	060102	穿孔または膿瘍を伴わない憩室性疾患	53	0.7	65.6
38	110280	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全	52	0.7	66.3
39	060130	食道、胃、十二指腸、他腸の炎症（その他良性疾患）	52	0.7	67.0
40	030250	睡眠時無呼吸	52	0.7	67.7
41	060140	胃十二指腸潰瘍、胃憩室症、幽門狭窄（穿孔を伴わないもの）	51	0.7	68.5
42	040120	慢性閉塞性肺疾患	51	0.7	69.2
43	06007x	膵臓、脾臓の腫瘍	50	0.7	69.9
44	040110	間質性肺炎	48	0.7	70.6
45	060300	肝硬変（胆汁性肝硬変を含む。）	43	0.6	71.2
46	180010	敗血症	43	0.6	71.8
47	120070	卵巣の良性腫瘍	43	0.6	72.4
48	080011	急性膿皮症	40	0.6	72.9
49	060060	胆嚢、肝外胆管の悪性腫瘍	39	0.5	73.5
50	060350	急性膵炎	36	0.5	74.0
件数上位50傷病の合計			5268	74.0	
全DPC対象件数			7120	100.0	

（6）退院患者の主な手術（診療科別、手術室で実施した区分番号Ｋ○○に該当する行為）

※ 2013 年 1 月～ 12 月退院患者が入院期間中に施行された輸血を除く手術、産婦人科は分娩室での手技を含む

《外　　科》

診療報酬区分番号	行為名称	2011年	2012年	2013年
K005$	皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部）	2	0	1
K0301	四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術　肩、上腕、前腕、大腿、下腿、躯幹	1	0	2
K0311	四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術　肩、上腕、前腕、大腿、下腿、躯幹	1	0	0
K0503	腐骨摘出術　鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	1	0	0
K4611	甲状腺部分切除術、甲状腺腫摘出術　片葉のみの場合	2	1	0
K4631	甲状腺悪性腫瘍手術　切除	1	2	0
K4632	甲状腺悪性腫瘍手術　全摘及び亜全摘	2	2	0
K4741	乳腺腫瘍摘出術　長径５センチメートル未満	2	2	4
K4742	乳腺腫瘍摘出術　長径５センチメートル以上	2	1	3
K4761	乳腺悪性腫瘍手術　単純乳房切除術（乳腺全摘術）	2	0	0
K4762	乳腺悪性腫瘍手術　乳房部分切除術（腋窩部郭清を伴わないもの）	15	22	15
K4763	乳腺悪性腫瘍手術　乳房切除術（腋窩部郭清を伴わないもの）	11	15	15
K4764	乳腺悪性腫瘍手術　乳房部分切除術（腋窩部郭清を伴うもの（内視鏡下によるものを含む。）））	4	3	0
K4765	乳腺悪性腫瘍手術　乳房切除術（腋窩鎖骨下部郭清を伴うもの）・胸筋切除を併施しないもの	2	4	7
K4766	乳腺悪性腫瘍手術　乳房切除術（腋窩鎖骨下部郭清を伴うもの）・胸筋切除を併施するもの	1	1	0
K4842	胸壁悪性腫瘍摘出術　その他のもの	0	0	1
K488-3	胸腔鏡下試験開胸術	0	0	1
K488-4	胸腔鏡下試験切除術	0	0	5
K494	胸腔内（胸膜内）血腫除去術	1	1	0
K496-2	胸腔鏡下醸膿胸膜又は胸膜胼胝切除術	1	2	1
K496-4	胸腔鏡下膿胸腔掻爬術	0	1	0
K4982	胸郭形成手術（膿胸手術の場合）　胸膜胼胝切除を併施するもの	1	0	0
K502	縦隔腫瘍、胸腺摘出術	1	0	1
K5111	肺切除術　楔状部分切除	1	0	0
K5112	肺切除術　区域切除（１肺葉に満たないもの）	1	0	0
K5113	肺切除術　肺葉切除	1	1	0
K513	胸腔鏡下肺切除術	10	0	0
K5131	胸腔鏡下肺切除術　肺嚢胞手術（楔状部分切除によるもの）	0	7	8
K5132	胸腔鏡下肺切除術　その他のもの	0	0	2
K513-2	胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術	1	0	0
K513-3	胸腔鏡下良性胸壁腫瘍手術	1	0	0
K513-4	胸腔鏡下肺縫縮術	9	5	4
K5141	肺悪性腫瘍手術　肺葉切除又はこれに満たないもの	12	3	
K5141	肺悪性腫瘍手術　部分切除	0	0	1
K5142	肺悪性腫瘍手術　１側肺全摘又は１肺葉を超えるもの	1	0	0
K514-21	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術　リンパ節郭清を伴わないもの	4	1	0
K514-21	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術　部分切除	0	3	4
K514-22	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術　リンパ節郭清を伴うもの	2	1	0
K514-23	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術　肺葉切除又は１肺葉を超えるもの	0	1	0
K5143	肺悪性腫瘍手術　肺葉切除又は１肺葉を超えるもの	0	5	5
K5291	食道悪性腫瘍手術（消化管再建手術を併施するもの）　頸部、胸部、腹部の操作によるもの（胸腔鏡下によるもの）	2	0	0
K5291	食道悪性腫瘍手術（消化管再建手術併施）（頸部、胸部、腹部の操作）	0	1	0

診療報酬区分番号	行為名称	2011年	2012年	2013年
K5292	食道悪性腫瘍手術（消化管再建手術を併施するもの）　胸部、腹部の操作によるもの	0	1	0
K5321	食道・胃静脈瘤手術　血行遮断術を主とするもの	0	0	1
K5371	食道裂孔ヘルニア手術　経胸又は経腹	0	1	0
K5372	食道裂孔ヘルニア手術　経胸及び経腹	0	0	2
K6071	血管結紮術　開胸又は開腹を伴うもの	0	1	0
K607-2	血管吻合術（簡単なもの）	0	0	1
K620	下大静脈フィルター留置術	1	1	0
K6261	リンパ節摘出術　長径３センチメートル未満	3	2	4
K6262	リンパ節摘出術　長径３センチメートル以上	0	0	1
K6277	リンパ節群郭清術　後腹膜	1	1	1
K630	腹壁膿瘍切開術	1	1	2
K6321	腹壁腫瘍摘出術（形成手術を必要としない場合）	1	1	0
K6331	ヘルニア手術　腹壁瘢痕ヘルニア	8	14	9
K6333	ヘルニア手術　臍ヘルニア	4	3	5
K6335	ヘルニア手術　鼠径ヘルニア	103	131	136
K6336	ヘルニア手術　大腿ヘルニア	5	7	7
K6338	ヘルニア手術　骨盤部ヘルニア（閉鎖孔ヘルニア、坐骨ヘルニア、会陰ヘルニア）	1	2	1
K634	腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術（両側）	0	0	2
K636	試験開腹術	1	5	7
K636-3	腹腔鏡下試験開腹術	0	2	1
K636-4	腹腔鏡下試験切除術	0	1	1
K6371	限局性腹腔膿瘍手術　横隔膜下膿瘍	0	0	1
K6374	限局性腹腔膿瘍手術　その他のもの	1	0	1
K639	急性汎発性腹膜炎手術	9	8	11
K639-3	腹腔鏡下汎発性腹膜炎手術	0	0	5
K6401	腸間膜損傷手術　縫合、修復のみのもの	0	1	0
K6402	腸間膜損傷手術　腸管切除を伴うもの	0	0	1
K641	大網切除術	0	0	1
K643	後腹膜悪性腫瘍手術	1	0	0
K645	骨盤内臓全摘術	0	1	0
K647	胃縫合術（大網充填術又は被覆術を含む。）	0	1	3
K647-2	腹腔鏡下胃、十二指腸潰瘍穿孔縫合術	1	2	1
K654-2	胃局所切除術	0	0	2
K654-3	腹腔鏡下胃局所切除術	0	0	1
K6551	胃切除術　単純切除術	1	5	3
K6552	胃切除術　悪性腫瘍手術	21	16	22
K655-22	腹腔鏡下胃切除術　悪性腫瘍手術	4	3	3
K655-42	噴門側胃切除術　悪性腫瘍切除術	1	1	2
K6571	胃全摘術　単純全摘術	0	0	1
K6572	胃全摘術　悪性腫瘍手術	10	12	17
K657-22	腹腔鏡下胃全摘術　悪性腫瘍手術	0	0	1
K662	胃腸吻合術（ブラウン吻合を含む。）	4	9	12
K663	十二指腸空腸吻合術	0	0	1
K667	幽門形成術	0	0	2
K669	胆管切開術	1	0	0
K6711	胆管切開結石摘出術（チューブ挿入を含む。）　胆嚢摘出を含むもの	3	0	2

診療報酬区分番号	行為名称	2011年	2012年	2013年
K6712	胆管切開結石摘出術（チューブ挿入を含む）胆嚢摘出を含まないもの	1	0	1
K671-21	胆嚢摘出術	1	0	0
K671-21	腹腔鏡下胆管切開結石摘出術　胆嚢摘出を含むもの	6	5	10
K672	胆嚢摘出術	37	35	40
K672-2	腹腔鏡下胆嚢摘出術	101	125	115
K6751	胆嚢悪性腫瘍手術　胆嚢に限局するもの（リンパ節郭清を含む）	0	0	1
K6752	胆嚢悪性腫瘍手術　肝切除（亜区域切除以上）を伴うもの	0	1	1
K677	胆管悪性腫瘍手術	1	0	2
K677-21	肝門部胆管悪性腫瘍手術　血行再建あり	0	1	0
K677-22	肝門部胆管悪性腫瘍手術　血行再建なし	0	1	0
K680	総胆管胃（腸）吻合術	4	1	2
K681	胆嚢外瘻造設術	1	0	0
K690	肝縫合術	0	1	0
K6951	肝切除術　部分切除	4	5	6
K6952	肝切除術　亜区域切除	0	0	1
K6952	肝切除術　区域切除・亜区域切除	6	0	0
K695-21	腹腔鏡下肝切除術　部分切除	0	0	1
K6953	肝切除術　外側区域切除	0	1	0
K6953	肝切除術　葉切除	4	1	0
K6954	肝切除術　１区域切除（外側区域切除を除く）	0	2	2
K6955	肝切除術　２区域切除	0	4	2
K696	肝内胆管（肝管）胃（腸）吻合術	0	0	1
K6981	急性膵炎手術　感染性壊死部切除を伴うもの	0	0	1
K7021イ	膵体尾部腫瘍切除術　膵尾部切除術（腫瘍摘出術を含む）の場合　脾同時切除の場合	1	3	1
K7022	膵体尾部腫瘍切除術　リンパ節・神経叢郭清等を伴う腫瘍切除術の場合	0	2	1
K7023	膵体尾部腫瘍切除術　周辺臓器（胃、結腸、腎、副腎等）の合併切除を伴う腫瘍切除術の場合	0	1	1
K7031	膵頭部腫瘍切除術　膵頭十二指腸切除術の場合	0	0	1
K7032	膵頭部腫瘍切除術　リンパ節・神経叢郭清等を伴う腫瘍切除術の場合又は十二指腸温存膵頭切除術の場合	5	3	3
K7033	膵頭部腫瘍切除術　周辺臓器（胃，結腸，腎，副腎等）の合併切除を伴う腫瘍切除術の場合	1	0	0
K705	膵嚢胞胃（腸）吻合術	0	0	1
K706	膵管空腸吻合術	0	0	1
K7072	膵嚢胞外瘻造設術　開腹によるもの	0	0	1
K711	脾摘出術	3	5	14
K714	腸管癒着症手術	6	5	10
K714-2	腹腔鏡下腸管癒着剥離術	3	3	4
K7152	腸重積症整復術　観血的なもの	0	1	0
K7161	小腸切除術　悪性腫瘍手術以外の切除術	18	8	11
K7162	小腸切除術　悪性腫瘍手術	0	0	2
K716-2	腹腔鏡下小腸切除術	1	0	0
K716-21	腹腔鏡下小腸切除術　悪性腫瘍手術以外の切除術	0	1	1
K717	小腸腫瘍、小腸憩室摘出術（メッケル憩室炎手術を含む。）	0	0	1
K7181	虫垂切除術　虫垂周囲膿瘍を伴わないもの	8	6	0
K7182	虫垂切除術　虫垂周囲膿瘍を伴うもの	5	1	1
K718-21	腹腔鏡下虫垂切除術　虫垂周囲膿瘍を伴わないもの	27	27	36
K718-22	腹腔鏡下虫垂切除術　虫垂周囲膿瘍を伴うもの	15	14	11

診療報酬区分番号	行為名称	2011年	2012年	2013年
K7191	結腸切除術　小範囲切除	3	6	2
K7192	結腸切除術　結腸半側切除	1	1	1
K719-21	腹腔鏡下結腸切除術　小範囲切除、結腸半側切除	0	1	6
K7193	結腸切除術　全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術	32	34	32
K719-3	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	13	29	24
K720	結腸腫瘍（回盲部腫瘍摘出術を含む。）、結腸憩室摘出術、結腸ポリープ切除術（開腹によるもの）	1	0	0
K724	腸吻合術	4	7	5
K725-2	腹腔鏡下腸瘻、虫垂瘻造設術	0	2	0
K726	人工肛門造設術	28	28	29
K7312	結腸瘻閉鎖術　腸管切除を伴うもの	0	0	1
K7321	人工肛門閉鎖術　腸管切除を伴わないもの	2	1	2
K7322	人工肛門閉鎖術　腸管切除を伴うもの	4	9	4
K734	腸回転異常症手術	1	0	0
K7362	人工肛門形成術　その他のもの	0	0	1
K7391	直腸腫瘍摘出術（ポリープ摘出を含む。）　経肛門	0	1	0
K7401	直腸切除・切断術　切除術	3	4	1
K7402	直腸切除・切断術　低位前方切除術	12	9	5
K740-22	腹腔鏡下直腸切除・切断術　低位前方切除術	6	3	12
K740-23	腹腔鏡下直腸切除・切断術　切断術	0	1	2
K7403	直腸切除・切断術　超低位前方切除術（経肛門的結腸嚢肛門吻合によるもの）	3	1	0
K7404	直腸切除・切断術　切断術	4	1	2
K7433	痔核手術（脱肛を含む。）　結紮術、焼灼術、血栓摘出術	0	0	1
K7434	痔核手術（脱肛を含む。）　根治手術	1	0	0
K7435	痔核手術（脱肛を含む。）　ＰＰＨ	1	0	3
K745	肛門周囲膿瘍切開術	2	2	1
K7462	痔瘻根治手術　複雑なもの	0	0	1
K747	肛門良性腫瘍、肛門ポリープ、肛門尖圭コンジローム切除術	0	1	0
K7481	肛門悪性腫瘍手術　切除	1	0	0
K753	毛巣嚢、毛巣瘻、毛巣洞手術	0	1	0
K756-2	腹腔鏡下副腎悪性腫瘍手術	0	0	1
K769	腎部分切除術	1	0	0
K770-2	腹腔鏡下腎嚢胞切除縮小術	1	0	0
K787	尿管尿管吻合術	0	1	0
K790	尿管皮膚瘻造設術	1	1	0
K791	尿管皮膚瘻閉鎖術	0	0	1
K799	膀胱壁切除術	0	0	1
K800	膀胱憩室切除術	0	0	1
K8031	膀胱悪性腫瘍手術　切除	1	0	0
K804	尿膜管摘出術	1	2	2
K8352	陰嚢水腫手術　その他	2	0	0
K836	停留精巣固定術	1	0	1
外科　合計		673	727	783

《産婦人科》

診療報酬区分番号	行為名称	2011年	2012年	2013年
K636-3	腹腔鏡下試験開腹術	0	1	0
K6372	限局性腹腔膿瘍手術　ダグラス窩膿瘍	1	2	0
K6374	限局性腹腔膿瘍手術　その他のもの	1	0	0
K641	大網切除術	0	1	0
K672-2	腹腔鏡下胆嚢摘出術	0	1	0
K795	膀胱破裂閉鎖術	0	1	0
K844	バルトリン腺膿瘍切開術	0	0	1
K848	バルトリン腺嚢胞腫瘍摘出術（造袋術を含む。）	0	3	2
K849	女子外性器腫瘍摘出術	1	0	0
K851-2	外陰･腟血腫除去術	4	3	1
K8531	腟閉鎖術　中央腟閉鎖術（子宮全脱）	0	0	1
K856	腟壁腫瘍摘出術	0	1	0
K856-4	腟壁尖圭コンジローム切除術	1	1	1
K860	腟壁形成手術	0	0	2
K860-2	腟断端挙上術（腟式･腹式）	0	0	1
K861	子宮内膜掻爬術	16	24	20
K8653	子宮脱手術　マンチェスター手術	0	0	1
K8654	子宮脱手術　腟壁形成手術及び子宮全摘術（腟式、腹式）	0	1	1
K866	子宮頸管ポリープ切除術	6	2	1
K867	子宮頸部（腟部）切除術	30	22	40
K871	子宮息肉様筋腫摘出術（腟式）	1	1	2
K8721	子宮筋腫摘出（核出）術　腹式	20	18	11
K8722	子宮筋腫摘出（核出）術　腟式	1	0	1
K877	子宮全摘術	62	55	59
K883	子宮頸管形成手術	0	1	0
K8861	子宮付属器癒着剥離術（両側）開腹によるもの	1	2	1
K8862	子宮付属器癒着剥離術（両側）腹腔鏡によるもの		3	1
K8871	卵巣部分切除術（腟式を含む。）　開腹によるもの	3	1	1
K887-21	卵管結紮術（腟式を含む。）（両側）腹腔鏡によるもの	6	7	3
K887-4	腹腔鏡下多嚢胞性卵巣焼灼術	0	0	1
K8881	子宮附属器腫瘍摘出術（両側）　開腹によるもの	94	83	94
K8882	子宮附属器腫瘍摘出術（両側）　腹腔鏡によるもの	5	4	11
K888-21	卵管全摘除術、卵管腫瘤全摘除術、子宮卵管留血腫手術（両側）　開腹によるもの	1	0	3
K888-22	卵管全摘除術、卵管腫瘤全摘除術、子宮卵管留血腫手術（両側）　腹腔鏡によるもの	0	1	0
K889	子宮付属器悪性腫瘍手術（両側）	1	0	0
K891	分娩時頸部切開術（縫合を含む。）	1	0	0
K893	吸引娩出術	22	36	30
K895	会陰（陰門）切開及び縫合術（分娩時）	71	83	74
K8961	会陰（腟壁）裂創縫合術（分娩時）　筋層に及ぶもの	138	177	177
K8962	会陰（腟壁）裂創縫合術（分娩時）　肛門に及ぶもの	3	9	1
K8963	会陰（腟壁）裂創縫合術（分娩時）　腟円蓋に及ぶもの	8	10	11
K897	頸管裂創縫合術（分娩時）	2	5	11
K8981	帝王切開術　緊急帝王切開	58	37	40
K8982	帝王切開術　選択帝王切開	85	98	71
K8983	帝王切開術　前置胎盤を合併する場合	1	0	0

診療報酬区分番号	行為名称	2011年	2012年	2013年
K901	子宮双手圧迫術（大動脈圧迫術を含む。）	5	1	0
K902	胎盤用手剥離術	7	9	18
K9062	子宮頸管縫縮術　シロッカー法又はラッシュ法	9	7	14
K9063	子宮頸管縫縮術　縫縮解除術（チューブ抜去術）	1	2	3
K9091	流産手術　妊娠１１週までの場合	134	93	106
K9092	流産手術　妊娠１１週を超え妊娠２１週までの場合	4	4	5
K909-2	子宮内容除去術（不全流産）	22	29	14
K911	胞状奇胎除去術	2	4	2
K9121	子宮外妊娠手術　開腹によるもの	2	6	3
K9122	子宮外妊娠手術　腹腔鏡によるもの	1	4	0
	産婦人科　合計	831	853	840

《泌尿器科》

K6072	血管結紮術　その他のもの	0	2	0
K607-3	上腕動脈表在化法	0	2	0
K608-3	内シャント血栓除去術	3	14	2
K610-3	内シャント又は外シャント設置術	17	18	20
K6145	血管移植術、バイパス移植術　その他の動脈	2	2	0
K6335	ヘルニア手術　鼠径ヘルニア	0	1	0
K636	試験開腹術	0	1	1
K769	腎部分切除術	1	0	0
K772	腎摘出術	1	0	0
K773	腎（尿管）悪性腫瘍手術	4	5	7
K790	尿管皮膚瘻造設術	2	0	0
K8012	膀胱単純摘除術　その他のもの	1	0	0
K8036	膀胱悪性腫瘍手術　経尿道的手術	22	6	0
K8036ｲ	膀胱悪性腫瘍手術　経尿道的手術　電解質溶液利用のもの	0	0	1
K8036ﾛ	膀胱悪性腫瘍手術　経尿道的手術　その他のもの	0	15	26
K8351	陰嚢水腫手術　交通性陰嚢水腫手術	0	1	0
K8352	陰嚢水腫手術　その他	5	7	6
K841	経尿道的前立腺手術	35	30	13
K843	前立腺悪性腫瘍手術	9	12	8
	泌尿器科　合計	102	116	84

《整形外科》

診療報酬区分番号	行為名称	2011年	2012年	2013年
K0102	瘢痕拘縮形成手術　その他	3	0	0
K0131	分層植皮術	1	0	0
K0134	分層植皮術	1	0	0
K015$	皮弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術	0	0	2
K025	股関節内転筋切離術	9	7	24
K026-2	股関節周囲筋腱解離術（変形性股関節症）	0	1	0
K0271	筋炎手術　腸腰筋、殿筋、大腿筋	0	1	0
K028	腱鞘切開術（関節鏡下によるものを含む。）	1	0	1
K029	筋肉内遺物摘出術	1	0	0
K0301	四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術　肩、上腕、前腕、大腿、下腿、躯幹	3	8	3
K0302	四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術　手、足	3	0	0
K034	腱切離・切除術（関節鏡下によるものを含む。）	0	1	1
K035	腱剥離術（関節鏡下によるものを含む。）	1	0	0
K037	腱縫合術	4	2	0
K037-2	アキレス腱断裂手術	3	2	2
K0401	腱移行術　指（手、足）	2	1	0
K0402	腱移行術　その他のもの	0	0	1
K043-32	骨髄炎手術（骨結核手術を含む。）　前腕、下腿	2	0	0
K043-33	骨髄炎手術（骨結核手術を含む。）　鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	0	1	0
K0441	骨折非観血的整復術　肩甲骨、上腕、大腿	0	2	0
K0442	骨折非観血的整復術　前腕、下腿	4	7	7
K0443	骨折非観血的整復術　鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	1	3	0
K0451	骨折経皮的鋼線刺入固定術　肩甲骨、上腕、大腿	4	1	0
K0452	骨折経皮的鋼線刺入固定術　前腕、下腿	6	7	8
K0453	骨折経皮的鋼線刺入固定術　鎖骨、膝蓋骨、手、足、指（手、足）その他	7	5	9
K0461	骨折観血的手術　肩甲骨、上腕、大腿	85	86	67
K0462	骨折観血的手術　前腕、下腿、手舟状骨	79	60	76
K046-21	観血的整復固定術（インプラント周囲骨折に対するもの）　肩甲骨、上腕、大腿	0	4	9
K0463	骨折観血的手術　鎖骨、膝蓋骨、手（舟状骨を除く）、足、指（手、足）その他	40	22	33
K0481	骨内異物（挿入物を含む）除去術　頭蓋、顔面、肩甲骨、上腕、大腿	8	2	
K0482	骨内異物（挿入物を含む）除去術　その他の頭蓋、顔面、肩甲骨、上腕、大腿	1	11	7
K0482	骨内異物（挿入物を含む）除去術　前腕、下腿	15	3	0
K0483	骨内異物（挿入物を含む）除去術　鎖骨、膝蓋骨、手、足、指（手、足）その他	20	7	0
K0483	骨内異物（挿入物を含む）除去術　前腕、下腿	0	24	24
K0484	骨内異物（挿入物を含む）除去術　鎖骨、膝蓋骨、手、足、指（手、足）その他	0	14	14
K0492	骨部分切除術　前腕、下腿	0	0	1

診療報酬区分番号	行為名称	2011年	2012年	2013年
K0521	骨主要切除術　肩甲骨、上腕、大腿	0	1	0
K0522	骨腫瘍切除術　前腕、下腿	0	2	2
K0523	骨腫瘍切除術　鎖骨、膝蓋骨、手、足、指（手、足）その他	0	0	1
K0531	骨悪性腫瘍手術　肩甲骨、上腕、大腿	0	0	1
K0533	骨悪性腫瘍手術　鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	0	1	0
K0541	骨切り術　肩甲骨、上腕、大腿	0	0	2
K0542	骨切り術　前腕、下腿	1	0	0
K055-3	大腿骨近位部（転子間を含む。）骨切り術	0	1	0
K0561	偽関節手術　肩甲骨、上腕、大腿	1	3	0
K0562	偽関節手術　前腕、下腿、手舟状骨	2	2	0
K0563	偽関節手術　鎖骨、膝蓋骨、手（舟状骨を除く。）、足、指（手、足）その他	2	2	1
K0571	変形治癒骨折矯正手術　肩甲骨，上腕，大腿	0	0	1
K0572	変形治癒骨折矯正手術　前腕、下腿	3	1	0
K0582	骨長調整手術　骨短縮術	0	0	1
K0591	骨移植術（軟骨移植術を含む。）　自家骨移植	174	196	276
K0592	骨移植術（軟骨移植術を含む。）　同種骨移植（生体）	2	2	2
K0593	骨移植術（軟骨移植術を含む。）　同種骨移植（非生体）	10	15	13
K0601	関節切開術　肩，股，膝	0	2	0
K060-31	化膿性又は結核性関節炎掻爬術　肩、股、膝	4	8	10
K060-32	化膿性又は結核性関節炎掻爬術　胸鎖、肘、手、足	0	3	0
K060-33	化膿性又は結核性関節炎掻爬術　肩鎖，指（手，足），小児肘内障	0	0	1
K0611	関節脱臼非観血的整復術　肩、股、膝	3	3	10
K0631	関節脱臼観血的整復術　肩，股，膝	1	1	0
K0632	関節脱臼観血的整復術　胸鎖、肘、手、足	1	1	0
K0633	関節脱臼観血的整復術　肩鎖、指（手、足）	2	3	4
K0651	関節内異物（挿入物を含む。）除去術　肩、股、膝	0	2	3
K0652	関節内異物（挿入物を含む。）除去術　胸鎖、肘、手、足	1	1	2
K0653	関節内異物（挿入物を含む。）除去術　肩鎖、指（手、足）	0	0	3
K0661	関節滑膜切除術　肩、股、膝	1	0	2
K0662	関節滑膜切除術　胸鎖、肘、手、足	0	2	0
K066-21	関節鏡下関節滑膜切除術　肩、股、膝	2	3	0
K066-5	膝蓋骨滑液嚢切除術	0	1	0
K0671	関節鼠摘出手術　肩、股、膝	1	0	0
K068	半月板切除術	0	0	1
K068-2	関節鏡下半月板切除術	2	6	8
K069-3	関節鏡下半月板縫合術	0	0	1
K0701	ガングリオン摘出術　手、足、指（手、足）	0	0	1
K0723	関節切除術　肩鎖、指（手、足）	1	2	0
K0731	関節内骨折観血的手術　肩、股、膝	3	5	7
K0732	関節内骨折観血的手術　胸鎖、肘、手、足	10	6	11
K073-21	関節鏡下関節内骨折観血的手術　肩、股、膝	0	0	1
K073-22	関節鏡下関節内骨折観血的手術　胸鎖、肘、手、足	0	1	0
K0733	関節内骨折観血的手術　肩鎖、指（手、足）	0	1	2
K0743	靱帯断裂縫合術　指（手、足）その他の靱帯	1	2	1
K0751	非観血的関節授動術　肩、股、膝	1	0	0
K0762	観血的関節授動術　胸鎖、肘、手、足	1	3	0
K0773	観血的関節制動術　肩鎖、指（手、足）	1	0	0
K0782	観血的関節固定術　胸鎖、肘、手、足	2	1	2
K0783	観血的関節固定術　肩鎖、指（手、足）	1	1	0
K0791	靱帯断裂形成手術　十字靱帯	1	1	0
K079-21	関節鏡下靱帯断裂形成手術　十字靱帯	1	0	0
K0793	靱帯断裂形成手術　指（手、足）その他の靱帯	2	1	1

診療報酬区分番号	行為名称	2011年	2012年	2013年
K0802	関節形成手術　胸鎖、肘、手、足	0	1	0
K080-2	内反足手術	1	0	0
K0803	関節形成手術　肩、股、膝	0	2	0
K080-3	肩腱板断裂手術	2	0	0
K080-31	肩腱板断裂手術　簡単なもの	0	1	0
K0811	人工骨頭挿入術　肩、股	45	29	31
K0821	人工関節置換術　肩、股、膝	212	242	326
K0822	人工関節置換術　胸鎖、肘、手、足	0	0	3
K082-21	人工関節抜去術　肩、股、膝	1	2	0
K082-31	人工関節再置換術　肩、股、膝	3	9	10
K083	鋼線等による直達牽引（初日。観血的に行った場合の手技料を含む。）（1局所につき）	1	1	0
K083	鋼線等による直達牽引（初日。観血的に行った場合の手技料を含む。）（2局所につき）	0	1	0
K0842	四肢切断術　上腕、前腕、手、大腿、下腿、足	3	9	11
K0843	四肢切断術　指（手、足）	5	3	5
K0871	断端形成術（骨形成を要するもの）　指（手、足）	2	0	0
K093	手根管開放手術	3	1	0
K093-2	関節鏡下手根管開放手術	2	1	1
K097	手掌、足底異物摘出術	1	0	0
K098	手掌屈筋腱縫合術	0	1	1
K099-22	デュプイトレン拘縮手術　２指から３指	1	1	0
K108	母指対立再建術	3	3	1
K110-2	第一足指外反症矯正手術	1	3	0
K112	腸骨窩膿瘍切開術	1	0	0
K113	腸骨窩膿瘍掻爬術	1	0	1
K117	脊椎脱臼非観血的整復術	0	1	0
K125	骨盤骨折観血的手術（腸骨翼骨折を除く。）	0	0	1
K1262	脊椎、骨盤骨（軟骨）組織採取術（試験切除によるもの）　その他のもの	0	0	1
K128	脊椎、骨盤内異物（挿入物）除去術	1	0	1
K131	椎弓切除術	15	1	0
K131-2	内視鏡下椎弓切除術	0	0	1
K132	椎弓形成手術	25	4	0
K133	黄色靱帯骨化症手術	0	0	1
K1341	椎間板摘出術　前方摘出術	0	0	1
K1342	椎間板摘出術　後方摘出術	8	8	13
K134-22	内視鏡下椎間板摘出（切除）術　後方摘出術	0	0	8
K1343	椎間板摘出術　側方摘出術	0	0	1
K1344	椎間板摘出術　経皮的髄核摘出術	1	0	0
K135	脊椎、骨盤腫瘍切除術	0	0	1
K136	脊椎、骨盤悪性腫瘍手術	0	1	2

診療報酬区分番号	行為名称	2011年	2012年	2013年
K140	骨盤骨切り術	0	0	2
K141-2	寛骨臼移動術	0	1	1
K1421	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（多椎間又は多椎弓の場合を含む。）前方椎体固定	0	0	1
K1422	脊椎固定術　後方又は後側方固定	2	0	0
K1422	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（多椎間又は多椎弓の場合を含む。）後方又は後側方固定	0	2	3
K1423	脊椎固定術　後方椎体固定	1	1	0
K1423	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（多椎間又は多椎弓の場合を含む。）後方椎体固定	0	4	6
K142-4	経皮的椎体形成術	0	0	4
K1425	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（多椎間又は多椎弓の場合を含む。）椎弓切除	0	16	17
K1426	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（多椎間又は多椎弓の場合を含む。）椎弓形成	0	8	9
K144	体外式脊椎固定術	1	1	0
K1821	神経縫合術　指（手、足）	1	0	0
K1822	神経縫合術　その他のもの	0	0	1
K188	神経剥離術	4	1	0
K1882	神経剥離術　その他のもの	0	2	1
K197	神経移行術	5	5	2
K198	神経移植術	0	0	1
K6072	血管結紮術　その他のもの	0	1	0
K6104	動脈形成術、吻合術　指（手、足）の動脈	0	0	1
	整形外科　合計	894	935	1130

《皮膚科》

K005$	皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部）	5	3	1
K006$	皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部以外）	10	8	12
K0072	皮膚悪性腫瘍切除術　単純切除	2	5	2
K0131	分層植皮術	0	3	0
K013-21	全層植皮術	0	2	0
K015$	皮弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術	0	1	1
	皮膚科　合計	17	22	16

《眼　　科》

K200	涙嚢切開術	0	1	0
K2193	眼瞼下垂症手術　その他のもの	0	1	0
K224	翼状片手術（弁の移植を要するもの）	0	1	0
K2761	網膜光凝固術　通常のもの（一連につき）	1	0	0
K2762	網膜光凝固術　その他特殊なもの（一連につき）	0	2	0
K2821	水晶体再建術　眼内レンズを挿入する場合	71	43	0
K2821ロ	水晶体再建術　眼内レンズを挿入する場合　その他のもの	0	165	228
K2822	水晶体再建術　眼内レンズを挿入しない場合	0	0	1
	眼科　合計	72	213	229

（7）退院患者の主な処置（手術室以外で実施した区分番号Ｋ○○に該当する行為）

※ 2013 年 1 月～ 12 月退院患者が入院期間中に施行されたもので輸血を除く

診療報酬区分番号	行為名称	2011年	2012年	2013年
K000$	創傷処理	15	18	21
K001$	皮膚切開術	29	35	23
K002$	デブリードマン	0	6	4
K005$	皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部）	1	3	0
K006$	皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部以外）	3	2	2
K047-2	難治性骨折超音波治療法（一連につき）	1	0	2
K047-3	骨折超音波治療法（一連につき）	1	10	39
K2861	外耳道異物除去術　単純なもの	1	0	0
K300	鼓膜切開術	1	0	1
K340	鼓膜切開術	0	1	0
K368	扁桃周囲膿瘍切開術	0	0	2
K3692	咽頭異物摘出術　複雑なもの	1	0	0
K386	気管切開術	13	19	22
K3901	喉頭異物摘出術　直達鏡によらないもの	1	0	0
K3902	喉頭異物摘出術　直達鏡によるもの	1	0	0
K474-3	乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術（一連につき）	0	0	1
K5091	気管支異物除去術　直達鏡によるもの	0	2	0
K5222	食道狭窄拡張術　食道ブジー法	0	0	2
K522-2	食道ステント留置術	2	4	6
K5223	食道狭窄拡張術　拡張用バルーンによるもの	5	7	3
K526-21	内視鏡的食道粘膜切除術　早期悪性腫瘍粘膜切除術	1	0	0
K526-22	内視鏡的食道粘膜切除術　早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術	7	6	2
K533	食道・胃静脈瘤硬化療法（内視鏡によるもの）（一連として）	3	6	2
K533-2	内視鏡的食道・胃静脈瘤結紮術	12	15	11
K546	経皮的冠動脈形成術	3	3	4
K549	経皮的冠動脈ステント留置術	57	48	25
K596	体外ペースメーキング	3	0	0
K596	体外ペースメーキング術	0	5	2
K5972	ペースメーカー移植術　経静脈電極の場合	23	25	25
K597-2	ペースメーカー交換術	10	7	10

診療報酬区分番号	行為名称	2011年	2012年	2013年
K6001	血管結紮術　開胸又は開腹を伴うもの	2	0	0
K6112	抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用埋込型カテーテル設置 四肢に設置した場合	2	2	0
K6113	抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用埋込型カテーテル設置 頭頸部その他に設置した場合	20	29	24
K615	血管塞栓術（頭部、胸腔、腹腔内血管）	62	11	
K6151	血管塞栓術（頭部、胸腔、腹腔内血管）　止血術	0	6	10
K6152	血管塞栓術（頭部、胸腔、腹腔内血管）　その他のもの	0	40	51
K616	四肢の血管拡張術・血栓除去術	10	5	8
K616-4	経皮的シャント拡張術・血栓除去術	0	11	24
K6182	中心静脈栄養用植込型カテーテル設置　頭頸部その他に設置した場合	2	2	2
K620	下大静脈フィルター留置術	1	1	2
K635	胸水・腹水濾過濃縮再静注法	8	2	0
K637-2	経皮的腹腔膿瘍ドレナージ術	3	3	4
K651	内視鏡的胃、十二指腸ステント留置術	2	3	2
K6531	内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術　早期悪性腫瘍粘膜切除術	6	6	11
K6532	内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術　早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術	6	13	20
K653-3	内視鏡的食道及び胃内異物摘出術	0	1	5
K6534	内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術　その他のポリープ・粘膜切除術	4	9	2
K653-4	内視鏡的表在性胃悪性腫瘍光線力学療法	2	0	1
K653-5	内視鏡的胃、十二指腸狭窄拡張術	0	3	2
K654	内視鏡的消化管止血術	64	69	65
K664	胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術を含む。）	60	68	53
K664-2	経皮経食道胃管挿入術（ＰＴＥＧ）	0	0	3
K678	体外衝撃波胆石破砕術（一連につき）	2	1	1
K681	胆嚢外瘻造設術	2	0	2
K6821	胆管外瘻造設術　開腹によるもの	1	0	0
K6822	胆管外瘻造設術　経皮経肝によるもの	0	0	2
K682-2	経皮的胆管ドレナージ術	24	13	30
K682-3	内視鏡的経鼻胆管ドレナージ術（ＥＮＢＤ）	0	28	29
K682-4	超音波内視鏡下瘻孔形成術（腹腔内膿瘍に対するもの）	0	0	1
K685	内視鏡的胆道結石除去術（胆道砕石術を伴うもの）	7	1	0
K6851	内視鏡的胆道結石除去術　胆道砕石術を伴うもの	0	5	2
K6852	内視鏡的胆道結石除去術　その他のもの	0	7	12
K686	内視鏡的胆道拡張術	5	1	1
K6871	内視鏡的乳頭切開術　乳頭括約筋切開のみのもの	29	44	40
K6872	内視鏡的乳頭切開術　胆道砕石術を伴うもの	18	10	6
K688	内視鏡的胆道ステント留置術	98	51	53
K689	経皮的経肝胆管ステント挿入術	1	0	2
K691-2	経皮的肝膿瘍ドレナージ術	6	2	3
K697-3	肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法（一連として）	4	1	0
K697-31	肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法（一連として）　２センチメートル以内のもの	0	1	4
K697-32	肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法（一連として）　２センチメートルを超えるもの	0	1	1

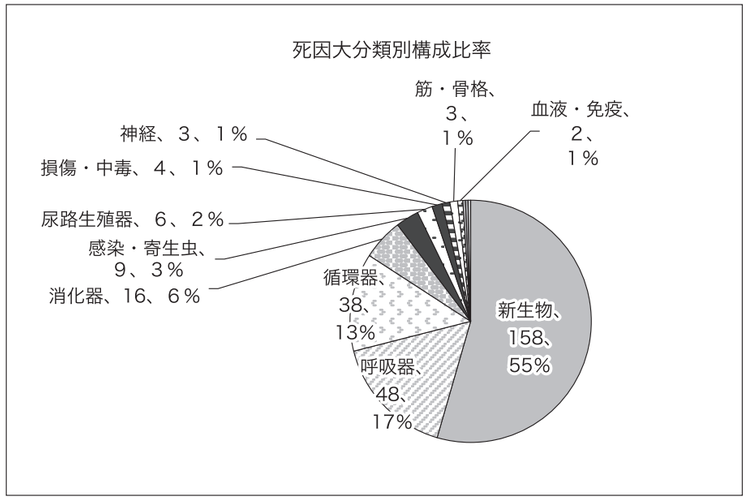
診療報酬区分番号	行為名称	2011年	2012年	2013年
K7071	膵嚢胞外瘻造設術　内視鏡によるもの	0	0	1
K708-3	内視鏡的膵管ステント留置術	0	9	10
K7151	腸重積症整復術　非観血的なもの	5	1	1
K7211	内視鏡的結腸ポリープ・粘膜切除術　長径２センチメートル未満	314	341	352
K7212	内視鏡的結腸ポリープ・粘膜切除術　長径２センチメートル以上	26	35	35
K721-21	内視鏡的大腸ポリープ切除術　長径２センチメートル未満	3	1	2
K721-3	内視鏡的結腸異物摘出術	1	0	0
K721-4	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	0	1	0
K722	小腸結腸内視鏡的止血術	9	8	6
K725	腸瘻、虫垂瘻造設術	1	5	8
K735-2	小腸・結腸狭窄部拡張術（内視鏡によるもの）	9	7	1
K768	体外衝撃波腎・尿管結石破砕術（一連につき）	81	83	100
K775	経皮的腎（腎盂）瘻造設術	2	1	0
K783-2	経尿道的尿管ステント留置術	6	15	15
K783-3	経尿道的尿管ステント抜去術	0	2	1
K7981	膀胱結石、異物摘出術　経尿道的手術	5	0	1
K7982	膀胱結石、異物摘出術　膀胱高位切開術	0	1	2
K800-2	経尿道的電気凝固術	1	2	1
K805	膀胱瘻造設術	3	2	2
K813	尿道周囲膿瘍切開術	0	0	1
K821	尿道狭窄内視鏡手術	0	1	2
K821-2	尿道狭窄拡張術（尿道バルーンカテーテル）	0	0	1
K9131	新生児仮死蘇生術　仮死第１度のもの	2	5	1
K9132	新生児仮死蘇生術　仮死第２度のもの	1	3	2
合計		1114	1195	1232

（8）死因統計

《大分類別件数》

大分類	分類名	死亡退院数			24時間以内死亡数			平均年齢*		
		2011年	2012年	2013年	2011年	2012年	2013年	2011年	2012年	2013年
A00-B99	感染・寄生虫	15	10	9		1	1	74.5	77.4	73.9
C00-D48	新生物	131	98	158	5	4	3	73.9	73.0	74.1
D50-D89	血液・免疫	3	3	2						
E00-E90	内分泌・代謝	2	4		1	2				
F00-F99	精神		1	1						
G00-G99	神経	3	3	3		1				
I00-I99	循環器	49	50	38	4	6	9	83.2	80.6	83.7
J00-J99	呼吸器	65	57	48	4	6	2	83.4	79.7	80.9
K00-K93	消化器	31	16	16	3	2	2	75.2	75.6	75.3
L00-L99	皮膚	1	3	1		1				
M00-M99	筋・骨格	2	2	3						
N00-N99	尿路生殖器	11	13	6	1	1		81.5	82.9	73.5
Q00-Q99	先天奇形染色体		1							
R00-R99	症状・異常検査	1	4	1		1	1			
S00-T98	損傷・中毒	3	9	4		3	1			
	総計	317	274	290	18	28	19	70.0	72.2	76.5

*５件以上のみ算出



《原死因ＩＣＤ別》

大分類名	原死因病名ＩＣＤ	疾病分類名称	死亡患者数		
			2011年	2012年	2013年
感染・寄生虫	A04.7	クロストリジウム　ディフィシレによる全腸炎		1	
	A41.1	その他の明示されたブドウ球菌による敗血症		1	
	A41.2	詳細不明のブドウ球菌による敗血症	2		
	A41.5	その他のグラム陰性菌による敗血症		1	1
	A41.9	敗血症	3	5	2
	A49.9	細菌感染症，詳細不明	1		
	B18.1	慢性Ｂ型ウイルス肝炎			1
	B18.2	慢性Ｃ型ウイルス肝炎	4		2
	B37.7	カンジダ性敗血症	1	1	
	B44.0	侵襲性肺アスペルギルス症	1		
	B44.1	その他の肺アスペルギルス症	1		3
	B59	ニューモシスチス症		1	
	B90	結核の続発・後遺症	1		
	B90.9	陳旧性肺結核	1		
	小計		15	10	9
新生物	C02.9	舌癌部位不明			3
	C06.9	口腔，部位不明			1
	C10.9	中咽頭，部位不明	2		
	C13.9	下咽頭，部位不明			1
	C15.0	頸部食道			1
	C15.1	胸部食道	1	2	2
	C15.3	上部食道		1	
	C15.4	中部食道		1	
	C15.5	下部食道	3		
	C15.9	食道癌			1
	C16.0	胃噴門部癌	1	2	3
	C16.1	胃底部		1	
	C16.2	胃体部	7	10	11
	C16.3	幽門前庭	3	4	4
	C16.4	幽門	4	3	2
	C16.5	胃小弯，部位不明	1		2
	C16.9	胃癌	2		2
	C17.1	空腸			1
	C18.2	上行結腸癌	3	3	2
	C18.4	横行結腸癌	2	1	2
	C18.5	左結腸曲〈脾弯曲〉			2
	C18.7	Ｓ状結腸癌	2	2	3
	C18.9	大腸癌			1
	C19	直腸Ｓ状結腸癌			1

大分類名	原死因病名ＩＣＤ	疾病分類名称	死亡患者数		
			2011年	2012年	2013年
新生物	C20	直腸癌	2	8	6
	C22.0	肝癌	14	2	8
	C22.1	肝内胆管癌	4	3	3
	C23	胆のう癌	2	2	1
	C24.0	肝外胆管癌	5	3	7
	C24.1	ファーテル〈Vater〉乳頭膨大部癌	1		1
	C25.0	膵頭部の癌	4	11	7
	C25.1	膵体部の癌	2		2
	C25.2	膵尾部の癌		1	1
	C25.4	内分泌膵			1
	C25.8	膵の境界部病巣			2
	C25.9	膵臓癌	2		
	C32.9	喉頭，部位不明		1	
	C34.0	主気管支の癌		1	5
	C34.1	上葉，気管支または肺	13	12	22
	C34.2	中葉，気管支または肺		1	1
	C34.3	下葉，気管支または肺	19	10	16
	C34.9	気管支・肺癌	1	2	
	C41.0	頭蓋骨および顔面骨の癌			1
	C45.0	胸膜中皮腫			2
	C45.1	腹膜中皮腫		1	
	C49.2	下肢の結合組織および軟部組織，股関節部を含む			1
	C49.3	胸部〈郭〉の結合組織および軟部組織	1		
	C50.2	乳房上内側４分の１	1		1
	C50.4	乳房上外側４分の１		1	2
	C50.9	乳癌		1	
	C53.0	子宮頸内膜〈endocervix〉	1		
	C53.9	子宮頸（部）癌			1
	C54.2	子宮筋層	2		
	C54.9	子宮体部癌			1
	C56	卵巣癌	1		2
	C61	前立腺癌	4	1	2
	C64	腎臓癌	1		
	C65	腎盂の悪性新生物	1		
	C66	尿管の悪性新生物	1		
	C67.2	膀胱側壁		1	
	C67.9	膀胱癌	1		
	C71.9	脳悪性新生物	1		
	C78.7	転移性肝癌	1		
	C80	部位の明示されない悪性新生物	3	3	4
	C83.3	大細胞型（びまん性）		1	3
	C85.1	Ｂ細胞リンパ腫，詳細不明	1	1	
	C85.9	悪性リンパ腫	3	1	3
	C90.0	多発性骨髄腫	2		2
	C92.0	急性骨髄性白血病	1		3
	D32.0	脳髄膜	1		
	D38.0	喉頭			1
	D46.3	白血病移行期にある芽球過剰性不応性貧血	1		
	D46.9	骨髄異形成症候群，詳細不明	3		1
	小計		131	98	158

大分類名	原死因病名ＩＣＤ	疾病分類名称	死亡患者数		
			2011年	2012年	2013年
血液・免疫	D59.1	自己免疫性溶血性貧血(寒冷凝集素症)	1		
	D65	播種性血管内凝固症候群［DIC］		3	1
	D69.0	アレルギー性血管性紫斑病	1		
	D75.8	血液および造血器のその他の明示された疾患	1		
	D76.0	ランゲルハンス〈Langerhans〉細胞組織球症，他に分類されないもの			1
	小計		3	3	2
内分泌・代謝	E11.2	〈ＮＩＤＤＭ〉腎合併症を伴うもの	1	2	0
	E11.9	〈ＮＩＤＤＭ〉合併症を伴わないもの		1	
	E86	脱水症	1	1	
	小計		2	4	
精神	F10.2	アルコール依存症		1	
	F50.1	非定型神経性無食欲症			1
	小計		0	1	1
神経	G12.1	その他の遺伝性脊髄性筋萎縮症	1		
	G12.2	運動ニューロン疾患		1	
	G20	パーキンソン<Parkinson病〉	1	1	
	G21.0	悪性症候群	1		
	G30.9	アルツハイマー〈Alzheimer〉病，詳細不明			2
	G71.0	筋ジストロフィー		1	
	G80.9	脳性麻痺，詳細不明			1
	小計		3	3	3

大分類名	原死因病名ＩＣＤ	疾病分類名称	死亡患者数		
			2011年	2012年	2013年
循環器	I 08.3	僧帽弁，大動脈弁および三尖弁の合併障害	1		
	I 21.0	前壁の急性貫壁性心筋梗塞	2	1	
	I 21.1	下壁の急性貫壁性心筋梗塞	1	3	2
	I 21.2	その他の部位の急性貫壁性心筋梗塞			1
	I 21.9	急性心筋梗塞	1	3	4
	I 24.8	その他の型の急性虚血性心疾患			1
	I 25.2	陳旧性心筋梗塞	1	1	2
	I 26.9	肺塞栓症		1	
	I 34.0	僧帽弁閉鎖不全（症）	1		
	I 35.0	大動脈弁狭窄（症）			1
	I 35.1	大動脈弁閉鎖不全（症）			1
	I 44.2	房室ブロック，完全	1		
	I 46.1	心臓性突然死〈急死〉	1		
	I 46.9	心停止，詳細不明	2		1
	I 48	心房細動及び粗動		1	5
	I 49.0	心室細動および粗動	1		
	I 50.0	うっ血性心不全	12	14	4
	I 50.9	心不全	11	4	3
	I 60.9	くも膜下出血，詳細不明		2	
	I 61.0	（大脳）半球の脳内出血，皮質下			1
	I 61.3	脳幹の脳内出血		1	
	I 61.5	脳内出血，脳室内		1	
	I 62.0	硬膜下出血（急性）（非外傷性）		1	1
	I 63.3	脳動脈の血栓症による脳梗塞	1	4	1
	I 63.4	脳動脈の塞栓症による脳梗塞	3	3	3
	I 63.5	脳動脈の詳細不明の閉塞または狭窄による脳梗塞	1	2	
	I 63.8	その他の脳梗塞	2	3	3
	I 63.9	脳梗塞	3	1	
	I 64	脳血管発作、脳出血または脳梗塞と明示されないもの			1
	I 69.3	脳梗塞の続発・後遺症	2		1
	I 70.2	（四）肢の動脈硬化（症）		1	1
	I 71.0	大動脈の解離［各部位］	1	1	
	I 71.3	腹部大動脈瘤，破裂性		1	
	I 71.6	胸腹部大動脈瘤，破裂の記載がないもの	1		
	I 72.8	その他の明示された動脈の動脈瘤		1	
	I 85.0	出血を伴う食道静脈瘤			1
	小計		49	50	38

大分類名	原死因病名ＩＣＤ	疾病分類名称	死亡患者数		
			2011年	2012年	2013年
呼吸器	Ｊ10.0	肺炎を伴うインフルエンザ，インフルエンザウイルスが分離されたもの			1
	Ｊ13	肺炎レンサ球菌による肺炎	5	6	
	Ｊ15.0	肺炎桿菌による肺炎	1	1	
	Ｊ15.1	緑膿菌による肺炎	3	1	1
	Ｊ15.2	ブドウ球菌による肺炎	2	2	1
	Ｊ15.5	大腸菌による肺炎		1	
	Ｊ15.6	その他の好気性グラム陰性菌による肺炎		1	
	Ｊ15.8	その他の細菌性肺炎		1	
	Ｊ15.9	.細菌性肺炎	2	3	7
	Ｊ18.0	気管支肺炎，詳細不明	2	4	1
	Ｊ18.1	大葉性肺炎，詳細不明		1	
	Ｊ18.9	肺炎	5	3	4
	Ｊ20.9	急性気管支炎			1
	Ｊ43.2	中心小葉性肺気腫		1	
	Ｊ43.9	肺気腫	1		2
	Ｊ44.1	急性増悪を伴う慢性閉塞性肺疾患，詳細不明			2
	Ｊ44.9	慢性閉塞性肺疾患，詳細不明	1		2
	Ｊ64	じん〈塵〉肺（症）	1		
	Ｊ69.0	誤嚥性肺臓炎	28	17	15
	Ｊ70.4	薬物誘発性間質性肺障害，詳細不明		1	
	Ｊ80	成人呼吸窮〈促〉迫症候群〈ＡＲＤＳ〉			1
	Ｊ81	肺水腫	1	1	
	Ｊ82	肺好酸球症，他に分類されないもの	1		
	Ｊ84.1	肺線維症を伴うその他の間質性肺疾患	8	8	8
	Ｊ84.9	間質性肺疾患，詳細不明	2		1
	Ｊ85.2	肺膿瘍	1		
	Ｊ86.9	瘻（孔）を伴わない膿胸（症）	1		1
	Ｊ90	胸水胸膜炎		1	
	Ｊ92.0	石綿〈アスベスト〉を含む胸膜斑〈プラク〉		2	
	Ｊ96.0	急性呼吸不全		1	
	Ｊ96.1	慢性呼吸不全		1	
	小計		65	57	48

大分類名	原死因病名ＩＣＤ	疾病分類名称	死亡患者数		
			2011年	2012年	2013年
消化器	Ｋ12.2	口腔の蜂巣炎〈蜂窩織炎〉および膿瘍	1		
	Ｋ22.3	食道穿孔		1	
	Ｋ25.0	急性出血性胃潰瘍			1
	Ｋ26.0	急性出血性十二指腸潰瘍	1		
	Ｋ40.3	一側性または患側不明のそけい〈鼠頸〉ヘルニア、閉塞を伴い，え〈壊〉疽を伴わないもの			1
	Ｋ55.0	腸の急性血行障害	1		
	Ｋ56.2	腸軸捻（転）			1
	Ｋ56.6	その他および詳細不明の腸閉塞	1	1	
	Ｋ56.7	イレウス	2		
	Ｋ59.9	腸の機能障害，詳細不明	1		
	Ｋ63.1	腸穿孔（非外傷性）	2		
	Ｋ65.0	急性腹膜炎(膿瘍)	1	2	2
	Ｋ70.3	アルコール性肝硬変	2	1	3
	Ｋ70.4	アルコール性肝不全			1
	Ｋ71.1	肝え〈壊〉死を伴う中毒性肝疾患	1		
	Ｋ72.0	急性および亜急性肝不全	1		3
	Ｋ72.9	肝不全	1		
	Ｋ74.6	肝硬変	9	5	3
	Ｋ80.2	胆のう結石症		1	
	Ｋ80.3	胆管炎を伴う胆管結石	1		
	Ｋ81.0	急性胆嚢炎	1		
	Ｋ83.1	胆管閉塞（閉鎖性黄疸）	1		
	Ｋ85	急性膵炎		2	
	Ｋ86.1	慢性膵炎		1	
	Ｋ91.3	術後腸閉塞	1	2	1
	Ｋ92.2	胃腸出血，詳細不明	3		
	小計		31	16	16

大分類名	原死因病名ＩＣＤ	疾病分類名称	死亡患者数		
			2011年	2012年	2013年
皮膚	L02.2	体幹の皮膚膿瘍		1	
	L03.0	手指および趾〈足ゆび〉の蜂巣炎		1	
	L03.1	（四）肢の蜂巣炎		1	
	L89	褥瘡性潰瘍			1
	L94.0	斑状強皮症［モルフェア］	1		
	小計		1	3	1
筋・骨格	M06.9	関節リウマチ、詳細不明			2
	M06.90	関節リウマチ、詳細不明		1	
	M30.0	結節性多発（性）動脈炎		1	
	M30.1	肺の併発症を伴う多発（性）動脈炎［チャウグ・シュトラウス〈Churg－Strauss〉症候群］	1		
	M47.12	ミエロパチ〈シ〉－〈脊髄障害〉を伴うその他の脊椎症（頚部）			1
	M87.05	骨の特発性無菌〈腐〉性え〈壊〉死、骨盤部および大腿	1		
	小計		2	2	3
尿路生殖器	N00.9	急性腎炎症候群、詳細不明	1		
	N04.9	ネフローゼ症候群	1		
	N13.2	腎結石性および尿管結石性閉塞を伴う水腎症			1
	N17.9	急性腎不全	2		
	N18.0	末期腎疾患	3	5	3
	N18.9	慢性腎不全	2	1	1
	N39.0	尿路感染症	2	7	1
	小計		11	13	6
先天奇形染色体	Q21.3	ファロー四徴（症）		1	
	Q45.3	膵および膵管のその他の先天奇形	1		
	小計		1	1	0
症状異常検査	R04.8	肺出血		1	
	R54	老衰		2	1
	R68.8	（M・O・F）その他の明示された全身症状および徴候		1	
	小計			4	1
損傷・中毒	S06.5	外傷性硬膜下出血			2
	S06.60	外傷性くも膜下出血		2	
	T17.2	咽頭内異物		1	
	T17.4	気管内異物	1		
	T17.9	気道内異物	2		
	T60.0	有機燐およびカルバメート殺虫剤中毒			1
	T71	窒息		1	
	T81.4	処置に続発する感染症		3	
	T82.7	その他の心臓および血管の人工器具，挿入物および移植片による感染症および炎症性反応		1	
	T88.6	適正投与薬剤の有害作用アナフィラキシーショック			1
	T91.3	脊髄損傷の続発・後遺症		1	
	小計		3	9	4

4．外来患者統計

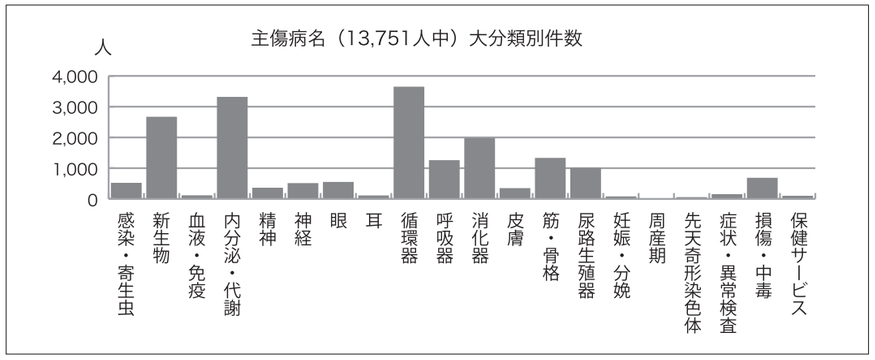
（1）傷病別患者数および平均年齢

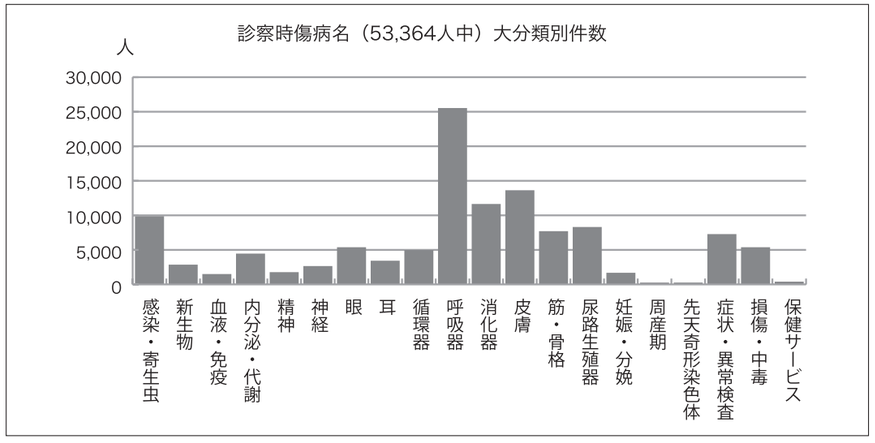
《主傷病名あり　13,751人の病名》　重複あり

分類名	件数	構成比	平均年齢
感染・寄生虫	523	2.6%	62.9
新生物	2,672	16.2%	67.4
血液・免疫	117	0.6%	61.1
内分泌・代謝	3,318	20.1%	65.2
精神	364	2.4%	56.5
神経	514	3.1%	55.9
眼	553	3.4%	74.0
耳	113	0.7%	66.4
循環器	3,650	22.1%	72.2
呼吸器	1,260	7.6%	54.8
消化器	1,981	12.0%	66.5
皮膚	351	2.1%	49.5
筋・骨格	1,334	8.1%	65.1
尿路生殖器	1,012	6.1%	60.8
妊娠・分娩	82	0.5%	32.2
周産期	12	0.1%	0.0
先天奇形染色体	58	0.4%	43.5
症状・異常検査	155	0.9%	51.2
損傷・中毒	687	4.2%	63.4
保健サービス	102	0.6%	72.5
計	18,858		65.4

《診察時傷病名（疑い除く）》　重複あり

分類名	件数	構成比	平均年齢
感染・寄生虫	9,877	18.5%	38.6
新生物	2,860	5.4%	56.4
血液・免疫	1,503	2.8%	55.1
内分泌・代謝	4,462	8.4%	58.4
精神	1,777	3.3%	55.1
神経	2,658	5.0%	59.0
眼	5,382	10.1%	60.1
耳	3,430	6.4%	52.3
循環器	4,972	9.3%	65.7
呼吸器	25,532	47.8%	36.2
消化器	11,644	21.8%	57.6
皮膚	13,633	25.5%	45.7
筋・骨格	7,708	14.4%	61.2
尿路生殖器	8,312	15.6%	53.7
妊娠・分娩	1,684	3.2%	32.5
周産期	265	0.5%	0.0
先天奇形染色体	266	0.5%	42.4
症状・異常検査	7,284	13.6%	53.3
損傷・中毒	5,382	10.1%	49.2
保健サービス	397	0.7%	73.2
計	119,028		48.7





（2）死因中間分類別件数（外来死亡、在宅死亡）および死亡時年齢

大分類名	死因ICDｺｰﾄﾞ	ICDCD中分類表示	外来			在宅		
			2011年	2012年	2013年	2011年	2012年	2013年
感染･寄生虫	A30-A49	その他の細菌性疾患			1	1		1
	B15-B19	ウイルス肝炎				1		
新生物	C00-C14	口唇，口腔および咽頭	1	1		1		
	C15-C26	消化器	1	1		11	12	21
	C30-C39	呼吸器および胸腔内臓器	3	4	1	3	4	3
	C45-C49	中皮および軟部組織				1		
	C50	乳房				2	2	2
	C51-C58	女性生殖器					1	1
	C60-C63	男性生殖器				3		1
	C64-C68	尿路			1	2	2	1
	C69-C72	眼、脳および中枢神経						
	C76-C80	部位不明確，続発部位および部位不明の悪性新生物		1			3	
	C81-C96	原発と記載された、または推定されたリンパ組織、造血組織および関連組織の悪性新生物				1	1	
	D37-D48	性状不詳または不明の新生物				1		1
血液・免疫	D65-D69	凝固障害，紫斑病およびその他の出血性病変				1		
内分泌・代謝	E10-E14	糖尿病				1	1	
	E20-E35	その他の内分泌腺障害				1		
精神	F00-F09	症状性を含む器質性精神障害						1
神経	G20-G26	錐体外路障害および異常運動		1			1	1
循環器	I20-I25	虚血性心疾患	21	16	17		1	
	I26-I28	肺性心疾患および肺循環疾患	1		1	3		2
	I30-I52	その他の型の心疾患	2	6	2		1	3
	I60-I69	脳血管疾患	3	2				
	I70-I79	動脈，細動脈および毛細血管の疾患	2	1	5	1	1	1
呼吸器	J10-J18	インフルエンザおよび肺炎	1	4	2		1	1
	J40-J47	慢性下気道疾患		1	1	1	2	5
	J60-J70	外的因子による肺疾患	2	3	3		1	
	J80-J84	主として間質を障害するその他の呼吸器疾患		1				
	J90-J94	胸膜のその他の疾患	1				1	
	J95-J99	呼吸器系のその他の疾患						
消化器	K20-K31	食道，胃および十二指腸の疾患			1			
	K55-K63	腸のその他の疾患	1			1		
	K70-K77	肝疾患	2	1				
	K90-K93	消化器系のその他の疾患	1		2			
尿路生殖器	N17-N19	腎不全			2	1	1	2
	N80-N98	女性性器の非炎症性障害				9	8	3
症状・異常検査	R50-R69	全身症状および徴候	3		1			
	R95-R99	診断名不明確および原因不明の死亡						
損傷・中毒	T15-T19	自然開口部からの異物侵入の作用	4					
	T66-T78	外因のその他および詳細不明の作用	1					
傷病・死亡外因	X60-X84	故意の自傷および自殺		2	2			
合計			50	45	42	46	44	50
死亡時年齢			77.9	78.1	79.4	80.7	78.9	80.0

5．紹介患者統計

（1）診療科別紹介件数

診療科		外来件数	入院件数	計
内科		1,132	442	1,574
夜間・休日外来		135	181	316
救急		45	177	222
内科専門外来	循環器	153	11	164
	糖尿病	94	12	106
	呼吸器	94	21	115
	消化器	57	66	123
	甲状腺	30	0	30
	腎	5	0	5
外科		183	94	277
小児科		353	79	432
婦人科		288	28	316
整形外科		488	162	650
皮膚科		296	4	300
泌尿器科		291	29	320
精神神経科		133	5	138
眼科		130	2	132
耳鼻咽喉科		111	3	114
脳神経外科		51	1	52
リハビリ科		10	122	132
緩和ケア内科		14	15	29
健診後外来		126	9	135
栄養相談		11	0	11
在宅医療科		4	0	4
透析		4	0	4
合計		4,238	1,463	5,701

（2）法人内事業所からの紹介数

紹介元事業所名	外来件数	入院件数	計
さいわい診療所	245	108	353
浦和民主診療所	126	102	228
老健みぬま	116	47	163
川口診療所	77	56	133
生協歯科診療所	28	0	28
埼玉西協同病院	18	55	73
かすかべ診療所	14	4	18
大井協同診療所	13	4	17
熊谷生協病院	1	4	5
おおみや診療所	1	3	4
あさか虹の歯科	1	0	1
所沢診療所	1	0	1
合計	641	383	1,024

（3）紹介来院目的

	病院	診療所	施設
精密検査	435	3384	375
継続加療	682	124	49
患者の選択	3	0	0
転居のための転医	16	23	0
セカンドオピニオン	1	1	0
症状問い合わせ	163	223	9
合計	1300	3755	433

（4）当院からの転医目的

	病院	診療所	施設
精密検査	1413	142	0
継続加療	572	1219	1898
患者の選択	34	4	0
転居のための転医	20	2	0
セカンドオピニオン	26	0	0
症状問い合わせ	20	10	1
合計	2085	1377	1899

（5）紹介元医療機関別紹介患者数

紹介元医療機関名	件数
病院	
自治医科大学附属さいたま医療センター	128
川口市立医療センター	126
東川口病院	94
埼玉県済生会川口総合病院	94
獨協医科大学越谷病院	64
さいたま市立病院	46
帝京大学医学部附属病院	38
東京大学医学部附属病院	34
川口工業総合病院	29
益子病院	27
さいたま赤十字病院	26
戸田中央総合病院	21
三愛病院	19
埼玉社会保険病院	19
武南病院	19
東和病院	18
川口病院	15
浦和神経サナトリウム	14
蕨市立病院	14
みさと協立病院	12
寿康会病院	12
わかくさ病院	12
河合病院	11
慶應義塾大学病院	11
戸田病院	11
はとがや病院	10
草加市立病院	10
秋葉病院	9
戸田中央総合健康管理センター	9
齋藤記念病院	9
安東病院	9
博仁会共済病院	8
日本大学医学部附属板橋病院	8
東京医科歯科大学医学部附属病院	8
がん・感染症センター都立駒込病院	7
東京女子医科大学病院	7
独立行政法人国立病院機構東埼玉病院	7
日本医科大学付属病院	7
野口整形外科クリニック	6
川久保病院	6
順天堂大学医学部附属順天堂医院	6
埼玉医科大学国際医療センター	6
千葉外科内科病院	6
他病院91機関	178

紹介元医療機関名	件数
診療所・クリニック	
鹿島診療所	152
平井こどもクリニック	120
しみずクリニックふさ	108
たしろ歯科医院	107
舟田クリニック	88
埼友川口クリニック	87
粂川内科医院	73
渋川産婦人科医院	68
植村内科クリニック	67
石井クリニック	62
今野医院（さいたま市）	53
青木中央クリニック	50
添田医院	48
土佐クリニック	47
田山医院	46
しみず整形外科クリニック	41
白川クリニック	37
東浦和眼科クリニック	35
菅原整形外科	35
芝西医院	32
しもむら内科クリニック	32
ままだ皮フ科	31
ほしあい眼科	31
かねこ内科リウマチ科クリニック	30
石井医院	30
健クリニック	30
厚川医院	29
武南病院附属ｸﾘﾆｯｸ	29
若林小児科内科医院	27
沢近医院	26
東浦和内科外科クリニック	26
東川口クリニック整形外科内科	24
悠翔会在宅クリニック川口	24
あきもと皮フ科クリニック	23
だてクリニック	23
目時クリニック	22
堀クリニック	22
芝中央医院	22
根岸台診療所	21
さいたま往診クリニック	20
上青木整形外科	20
ひろクリニック	20
周東医院	17
はとレディースクリニック	16

紹介元医療機関名	件数
かねこウィメンズクリニック	16
平愛クリニック	16
とりごえクリニック	16
柳崎眼科クリニック	14
すずき整形外科	14
さいたま在宅医療クリニック	14
ふじクリニック	14
かわぐち在宅診療所	14
慈孝内科外科クリニック	13
鳩ケ谷第一クリニック	13
うえだ内科胃腸科	13
井本医院	13
春野クリニック	12
宮村医院	12
川口ハートクリニック内科	12
南浦和高崎医院	11
須田医院	10
さの小児科クリニック	10
氷室医院	10
糸魚川整形外科医院	10
ふたばクリニック（さいたま市）	10
越智整形外科	10
フクダ クリニック	10
セントウィメンズクリニック	10
田中医院　（さいたま市）	9
安部歯科医院	9
丸山クリニック	9
小谷野医院	9
ゆうレディースクリニック	9
加藤レディスクリニック	9
上青木中央醫院	9
川田胃腸科外科	8
大関会クリニック	8
森医院	8
青木医院	8
川口ファミリークリニック	8
里村クリニック	8
ういずクリニック	8
ラムザ歯科クリニック	8
他診療所248機関	613

（6）転院先医療機関別当院からの紹介患者数

転院先医療機関名	件数
病院	
川口市立医療センター	308
自治医科大学附属さいたま医療センター	235
埼玉県済生会川口総合病院	184
獨協医科大学越谷病院	138
帝京大学医学部附属病院	135
東京大学医学部附属病院	104
さいたま市立病院	86
埼玉県立小児医療センター	58
さいたま赤十字病院	47
東川口病院	43
戸田中央総合病院	35
慶應義塾大学病院	32
戸田病院	30
川口工業総合病院	30
がん・感染症センター都立駒込病院	28
埼玉医科大学総合医療センター	24
東京女子医科大学病院	24
埼玉社会保険病院	22
安東病院	21
はとがや病院	18
順天堂大学医学部附属順天堂医院	18
東京医科歯科大学医学部附属病院	15
伊藤病院	15
河合病院	14
日本大学医学部附属板橋病院	14
東和病院	14
川口病院	14
益子病院	13
国立がんセンター東病院	13
寿康会病院	12
越谷市立病院	11
齋藤記念病院	11
日本医科大学付属病院	9
わかくさ病院	9
みさと協立病院	8
武南病院	8
秋葉病院	7
川口誠和病院	6
丸山記念総合病院	6
川口さくら病院	6
北辰病院	6
南埼玉病院	6
東京女子医科大学東医療センター	6
他病院82機関	174

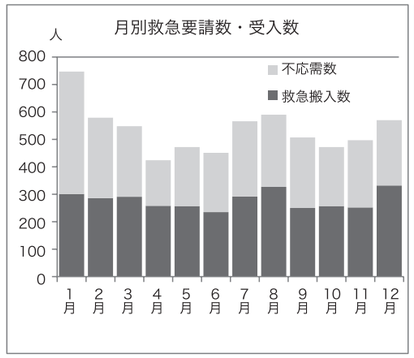
転院先医療機関名	件数
診療所・クリニック	
しみずクリニックふさ	70
埼宅クリニック	32
ほしあい眼科	31
今野医院（さいたま市）	30
植村内科クリニック	27
青木中央クリニック	26
添田医院	24
さいたまセントラルクリニック	24
埼友川口クリニック	23
東浦和眼科クリニック	23
芝西医院	22
東浦和内科外科クリニック	18
柳崎眼科クリニック	17
田山医院	16
小谷野医院	15
慈孝内科外科クリニック	14
菅原整形外科	14
川口ハートクリニック内科	14
鹿島診療所	14
高橋内科クリニック	14
土佐クリニック	13
かねこ内科リウマチ科クリニック	13
武南病院附属クリニック	11
根岸台診療所	11
須田医院	11
ときとうクリニック	11
とりごえクリニック	11
沢近医院	10
東川口クリニック整形外科内科	10
悠翔会在宅クリニック川口	10
石井クリニック	9
しみず整形外科クリニック	9
川口市立医療センター附属安行診療所	9
川嶋医院	8
舟田クリニック	8
宮村医院	8
目時クリニック	8
上青木中央醫院	8
さいたま在宅医療クリニック	8
石井医院	7
春野クリニック	7
糸魚川整形外科医院	7
しもむら内科クリニック	7
かわぐち在宅診療所	7

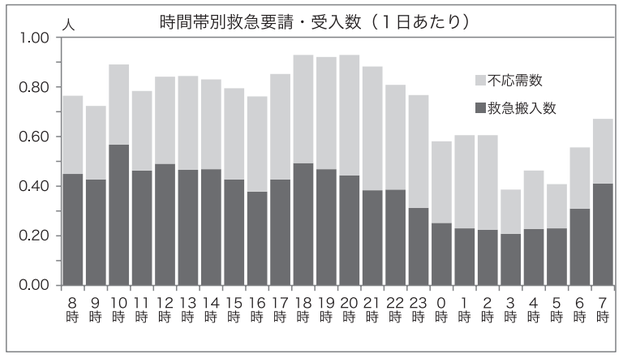
転院先医療機関名	件数
かいわ内科	7
ういずクリニック	6
健クリニック	6
目時医院	6
周東医院	6
だてクリニック	6
安行メディカルクリニック	5
東川口いずみクリニック	5
浦和みどりクリニック	5
里村クリニック	5
若林小児科内科医院	5
平愛クリニック	5
丸山クリニック	5
杉浦医院	5
ハーモニークリニック	5
さとう眼科医院	5
本町クリニック	5
堀クリニック	5
益子整形外科	5
武井眼科医院	4
けやきクリニック	4
よこで耳鼻咽喉科	4
長澤内科医院	4
いしい内科クリニック	4
清水眼科	4
南浦和高崎医院	4
竹内整形外科	4
わらびメンタルクリニック	4
梅津医院	4
池田医院	4
セントウィメンズクリニック	4
粂川内科医院	4
田中医院　（さいたま市）	4
鳩ケ谷第一クリニック	4
小原クリニック	3
深川眼科	3
望星クリニック	3
平田クリニック	3
さいたまホームクリニック	3
やまぐち内科クリニック	3
桐山内科クリニック	3
芝中央医院	3
他診療所184機関	262

6．救急患者統計

《月別救急要請件数と搬入数》

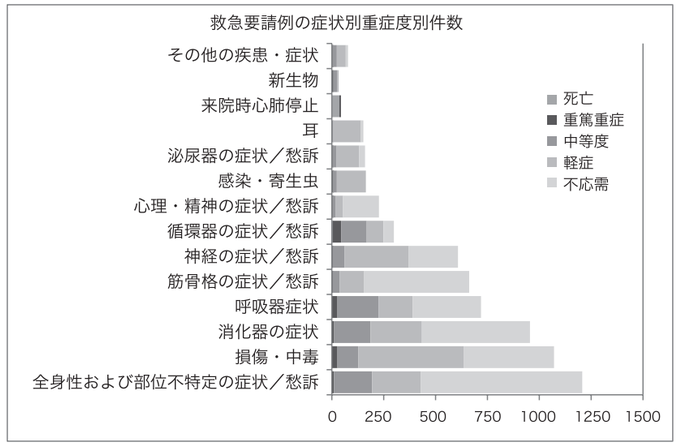
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
救急搬入数	301	286	291	258	257	235	292	327	250	257	252	332	3,338
不応需数	446	293	257	166	215	216	274	263	257	215	245	238	3,085
要請総数	747	579	548	424	472	451	566	590	507	472	497	570	6,423

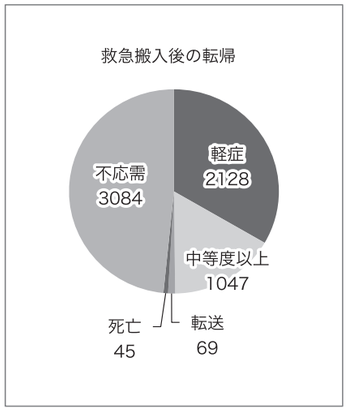


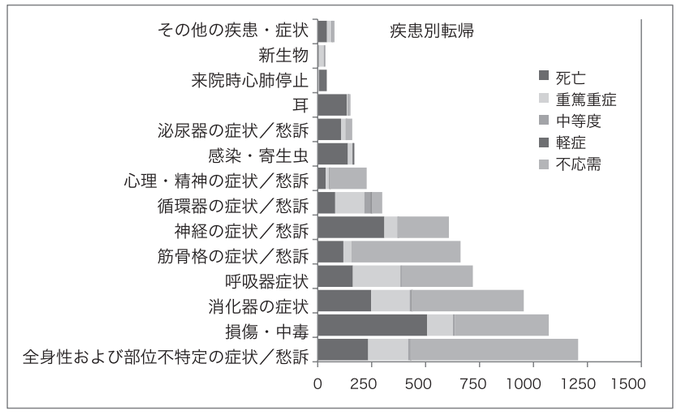


《救急隊別搬入数》

救急隊	件数
川口	2,299
さいたま	927
蕨	63
戸田	21
越谷	14
春日部	6
その他	8
合計	3,338







7．がん登録統計

（1）患者構成（性別・年代別・居住地別）

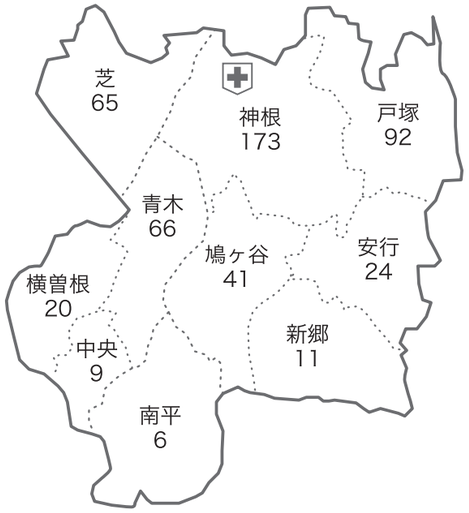
性別	件数	平均年齢
男性	414	71.7
女性	350	64.5
合計	764	68.4

年代	男性	女性
40歳未満	1	30
40代	10	45
50代	18	49
60代	117	69
70代	198	95
80代	67	42
90代	3	20
合計	414	350

登録時居住地	
川口市	507
さいたま市	174
所沢市	21
草加市	13
越谷市	11
県内その他	35
他都県	8

地域別件数
図１参照

図１　川口市　地域別件数



（2）部位別登録数（10件以上）

部位	件数	部位	件数
大腸	173	膵臓	23
胃	121	胆道	16
乳房	86	皮膚	16
前立腺	63	食道	15
肺	61	リンパ腫	12
子宮頚部	49	子宮体部	11
膀胱	29	腎	10
肝	25	その他	54

（3）進行度別　来院・発見経緯

進行度	自ら受診	紹介受診	健診・がん検診	偶発発見	解剖にて	合計
0	28	21	67	36		152
Ⅰ	67	37	67	66		237
Ⅱ	41	22	19	20		102
Ⅲ	37	29	9	13		88
Ⅳ	68	56	3	15	1	143
不明	5	1	1	1		8
NA	1		1	2		4
分類なし						30

（4）治療方針・フォローアップ先

方針	件数
当院で治療	496
当院で経過観察	109
他施設へ紹介	151
来院中断	8

主な紹介先　★：がん診療連携拠点病院

県内	件数
★埼玉県立がんセンター	31
★獨協医科大学越谷病院	15
★川口市立医療センター	12
★埼玉県済生会川口総合病院	3
★さいたま赤十字病院	3
自治医科大学附属さいたま医療センター	6
県外	件数
★公財）がん研究会　有明病院	14
★がん･感染症センター　都立駒込病院	12
★国立がん研究センター中央病院	8
★帝京大学医学部附属病院	6
★国立がん研究センター東病院	5
★東京大学医学部附属病院	5
★順天堂大学医学部附属順天堂医院	4

（5）当院での治療

治療方針	件数
外科手術	269
内視鏡手術	106
化学療法*1	121

*1：化学療法・TAE／TACE塞栓術・
ラジオ波による治療術前・
術後補助療法は除く

部位別　手術件数（５件以上）

部位	件数
大腸	144
胃	84
乳房	38
子宮頸部	36
膀胱	17
皮膚	11
胆道	7
腎盂	6
前立腺	5
肺	5
胆嚢	5
肝臓	5

（6）死亡患者　診断後生存期間

部位	患者数	最短日数	最長日数	中央値（日数）
肺	28	5	303	61
胃	20	4	322	88
膵臓	12	3	218	64
肝	6	19	349	322
その他*2	51	0	251	61
計	117	0	349	62

*2：解剖にて判明した症例を含む

8．病理年報

法人内院所別統計

院所名	2013年	
	検体数	主な病変
浦和民主診療所	上部消化管生検　134	食道扁平上皮癌-3, 胃生検group5-9, group3-2, group2-2 十二指腸癌-1, 十二指腸腺腫-1
川口診療所	上部消化管生検　326	食道扁平上皮癌-1, 胃悪性リンパ腫-1 胃生検group5-3, group4-4, group3-8, group2-1
さいわい診療所	上部消化管生検　128	食道扁平上皮癌-1, 胃生検group5-5, group4-2, group3-2
埼玉協同病院	5423	p.130参照
大井協同診療所	上部消化管生検　298	食道扁平上皮癌-1 胃生検group5-6, group4-1, group3-6, group2-2, 十二指腸 group3-3
埼玉西協同病院	上部消化管生検　282 下部消化管生検　106 下部消化管EMR　41 皮膚生検　5 眼科　1 計　435	食道扁平上皮癌-3, 胃生検group5-13, group4-1 ,group3-9, 胃カルチノイド-1, 胃アニサキス-1 大腸生検 group5-13, group4-1, group3-49, 潰瘍性大腸炎-7 大腸EMR(sm癌-1, m癌-4, 腺腫-32, 過誤腫ポリープ-2)
所沢診療所	上部消化管生検　66	食道扁平上皮癌-1, 胃生検group5-1, group-4-2, group3-1, group2-1
行田協立診療所	上部消化管生検　57	胃生検group5-2, group3-1
熊谷生協病院	上部消化管生検　142	胃生検group5-6, group4-1, group3-2
秩父生協病院	上部消化管生検　15	胃生検group5-1, group3-2
おおみや生協診療所	上部消化管生検　3	胃生検group5-2
かすかべ生協診療所	上部消化管生検　90	胃生検group5-3, group3-3
計	7138	

解剖例

	臨床診断	病理診断	ＣＰＣ実施日
2013－１	原発不明癌疑い 後腹膜線維症疑い	１、悪性リンパ腫（びまん性大細胞性B細胞型） ２、胆管カテーテル挿入状態 ３、両側腎盂尿管カテーテル挿入状態	2013.11.1
2013－２	非結核性抗酸菌症	１、非結核性抗酸菌症 ２、肺気腫+塵肺+急性気管支肺炎	
2013－３	腹腔内腫瘍	１、腹腔内の低分化神経内分泌細胞癌	
2013－４	慢性Ｃ型肝炎+肝硬変	１、慢性Ｃ型肝炎+肝硬変	
2013－５	肺炎+呼吸不全	１、早期胃癌 ２、肺気腫+器質化肺炎 ３、陳旧性心筋梗塞	
2013－６	肺ランゲルハンス組織球症	１、肺ランゲルハンス組織球症 ２、慢性呼吸不全+右心肥大	
2013－７	前立腺癌骨転移、ＤＩＣ	１、前立腺癌（肺転移、骨転移） ２、大動脈弁置換術後	
2013－８	肺炎、腎不全	１、肺炎 ２、慢性糸球体腎炎+腎動脈硬化症	

埼玉協同病院生検手術検体統計

科・種類	2013年（5423件）	
	件数	主な病変
上部消化管 EMR+ESD	34	食道上皮内癌-2, 胃癌-31, 過形成polyp-1
上部消化管生検	1929	食道扁平上皮癌-12, 食道異型上皮-3, 胃group5-105, gr4-20, gr3-74, gr2-17, gr1-1577 胃GIST-1, アニサキス-5, 胃アミロイド-1, 胃リンパ腫-4, 十二指腸リンパ腫-1, 腹腔内の神経内分泌癌-1
下部消化管 EMR	380	sm癌-7, m癌-54, カルチノイド-2, 腺腫-318
下部消化管生検	849	Group5-103, gr4-3, gr3-443, gr-2-4, gr1-237, カルチノイド -1, リンパ腫-1, クローン病-1,潰瘍性大腸炎-42, アメーバ腸炎-1, コラーゲン大腸炎-1, アミロイド疑い-1
肝・胆道生検	14	自己免疫性肝炎-1, 転移-1, 膿瘍-1, B型慢性肝炎-1、原因不明の肝炎-1 胆道（悪性-3, 良性-5）, 膵FNA（腺癌-1）
肺・胸膜生検	88	肺生検（癌-18, 結核-3, 非結核性抗酸菌-1, 塵肺-1, 間質性肺炎-4, サルコイドーシス-1, IgG4関連疑い-1）, 胸膜生検（中皮腫-2, 転移-1）
リンパ節	9	悪性リンパ腫-2, 転移-3, キャッスルマン病疑い-1, 反応性および良性-2,
骨髄生検	30	リンパ増殖性疾患（疑い含め）-4, MDS-1, CML1, AML-1, 骨髄腫-3, ITP-1, 巨赤芽球性貧血-1, 再生不良性貧血-2, 腺癌転移-1, 骨髄線維症-1, 本態性血小板血症-2
婦人科生検	600	Mole疑い含め-4, 流産-109, 頸管polyp-169, 頸部腺癌-2, 頸部腺異形成-1，頸部扁平上皮癌-2, CIS-6, 異形成（軽度-41, 中等度-42, 高度-33），内膜生検（内膜増殖症-69，異型増殖症-10, 内膜癌-10）, 胎盤-1
婦人科手術	185	円錐切除（CIS-13, 高度異形成-22, 中等度異形成-1, 腺癌-1, AIS-1, 腺異形成-1），子宮切除（異型増殖症-1, 単純増殖症-1, 子宮筋腫および腺筋症-43, 扁平上皮癌-1, CIS-3, Severe dysplasia-1), 筋腫核出術-16, 子宮外妊娠卵管切除-3， 卵巣悪性（漿液性腺癌-1）, 卵巣粘液性境界悪性（粘液性-2）,卵巣良性（単純嚢胞-9, デルモイド-26, 黄体嚢胞-2, 内膜症-16, 粘液性-4, 漿液性-5, 線維腫-1, ブレンナー腫瘍-1, 単純嚢胞-1, 卵巣甲状腺腫-1）, 両側卵管炎-1
外科手術	454	乳癌(乳房切除-27, 温存術-12), 針およびマンモトーム生検（癌-80,良性-165）,乳腺生検（癌-8,境界病変-1（葉状腫瘍）、良性-12）, 食道癌-1, 早期胃癌-17, 進行胃癌-25, 胃GIST-5, 十二指腸GIST-1 小腸切除（絞扼/ﾍﾙﾆｱなどの壊死-8, 穿孔-2）， 早期大腸癌-15, 進行大腸癌-57, EMR後追加切除-3, 大腸憩室炎-4, 絞扼癒着などの結腸壊死-7, S状結腸過長症-1, 大腸CMSEP疑い-1, 虫垂；Catarrhal-11,phlegmonous-21, gangrenous-10, 慢性虫垂炎-6, 虫垂胚細胞カルチノイド-1, 虫垂粘液性嚢胞腺腫-1, 胆石胆嚢炎および良性ポリープ-120, 胆嚢癌-5, 胆嚢腺腫-1, 胆管癌-4 迅速播種-10, 迅速リンパ節転移-3, 膵癌-3, 膵壊死-1，甲状腺乳頭癌-1, HCC-3, 肝内胆管癌-1, 肝転移-5, 肺（ブラ切除-3,過誤腫-2, 肺癌-4, 転移-2），胸腺2（扁平上皮癌-1、胸腺腫-1），腹膜偽粘液腫-1, 胃癌鼠径部転移-1, 肺癌副腎転移-1, 副脾-1, 尿膜管遺残-2, Nuck管嚢胞-2
皮膚科	307	粉瘤-70, 母斑-35, 脂漏性角化症-12, 神経線維腫-3, 基底細胞癌-12, ボーエン病-4, 皮膚線維腫-10, 脂肪腫-16, 扁平上皮癌-4, 軟性線維腫-4, 皮膚悪性リンパ腫-1, 皮膚転移-1, メルケル細胞癌-1, 悪性黒色腫-1, 日光角化症-7, 前腕部myxofibrosarcoma-1
整形外科	42	良性38, 悪性4（癌の転移-3, 多発性骨髄腫-1）
耳鼻科	16	咽頭扁平上皮癌-1
眼科	5	脂腺癌-1
泌尿器科	202	腎癌-5, 腎盂癌-2, 精巣-2（陰嚢水腫-1, 精巣上体炎-1), 前立腺癌(ope)-8, 前立腺TUR（良性-13, 癌-2）， 前立腺針生検（癌-66, 良性-80）, 膀胱癌（TUR14, 生検7）

9．2013 年細菌薬剤感受性検査統計・分離菌検出状況

埼玉協同病院　細菌検査室

集計期間　　2013 年 1 月～ 12 月

外来入院別に、同一患者、同一検査材料、同一菌種の場合、1 回として集計。

S. aureus と MRSA は分けて表示した。

CNS で菌量が少なく優位菌と思われないものについては検査していない。

集計項目

1．薬剤感受性統計リスト外来・入院別（グラム陽性球菌、グラム陰性桿菌）

2．材料別分離菌検出状況外来・入院別（呼吸器、消化器、泌尿生殖器、血液・穿刺液、その他）

3．抗酸菌分離状況

薬剤について

2007 年 11 月 1 日より自動分析装置マイクロスキャン WalkAway96SI にて検査を実施。

これにより感受性検査法はディスク法から同定感受性一体型パネルにて微量液体希釈法に変更。

菌種ごとの同定・薬剤パネルは固定。

判定基準は、CLSI2009 年版 M100-S19 を採用。

10 年途中よりグラム陽性球菌と非発酵性グラム陰性桿菌のパネルの変更を実施。

12 年途中より Haemophilus 属の感受性薬剤の一部変更を実施。

菌種および検査材料により、MIC 値で S、I、R の判定がでないものもある。

グラム陽性球菌（外来）の CNS で 1 件、グラム陽性球菌（入院）の E. faecalis で 1 件、外注先にて検査実施分含む。

（1）薬剤感受性統計リスト

グラム陽性球菌（外来）　　S%感受性率　検査件数S+I+R

	S. aureus		*MRSA*		*CNS*		*E. faecalis*		*E. faecium*		*A群溶連菌*		*肺炎球菌*	
	S%	件数	S%	件数	S%	件数	S%	件数	S%	件数	S%	件数	S%	件数
ペニシリン系														
PCG	45%	444	0%	159	26%	198	100%	139	24%	21	100%	138	68%	457
ABPC	45%	444	0%	159	26%	198	100%	139	24%	21	100%	138		
MPIPC	100%	444	0%	159	50%	197								
セフェム系														
CEZ	100%	444	0%	159	51%	198								
CTM	100%	444	0%	159	51%	198							75%	457
CFDN	100%	444	0%	159	100%	99								
CTX											100%	137	99%	457
CTRX											100%	138	99%	457
CFPM											100%	138	98%	457
CFIX													19%	457
CDTR-PI													95%	457
FMOX	100%	444	0%	159	51%	198								
カルバペネム系														
IPM/CS	100%	444	0%	159	51%	198	100%	139						
MEPM													88%	457
βラクタマーゼ阻害剤														
CVA/AMPC													98%	457
SBT/ABPC	100%	444	0%	159	51%	198					100%	137	70%	457
アミノグリコシド系														
GM	80%	444	56%	159	98%	198								
ABK	98%	444	95%	159	100%	1								
マクロライド系														
EM	75%	421	14%	147	51%	138	8%	24	25%	4	60%	136	11%	457
CAM											60%	136	15%	457
リンコマイシン系														
CLDM	76%	421	27%	147	64%	137					86%	136	38%	457
テトラサイクリン系														
MINO	100%	444	72%	159	98%	198	28%	139	29%	21				
TC											82%	138	14%	457
フェニコール系														
CP											100%	136	86%	457
キノロン系														
LVFX	95%	444	35%	159	69%	198	88%	139	19%	21	100%	138	100%	457
グリコペプチド系														
VCM	100%	444	100%	159	100%	198	98%	139	100%	21	100%	138	100%	457
TEIC	100%	444	100%	159	99%	197	100%	139	100%	21				
その他														
ST	100%	444	100%	159	95%	198							76%	457
FOM	98%	444	67%	159	46%	198								
RFP	100%	444	99%	159	97%	197	60%	139	19%	21			100%	457
LZD	100%	444	100%	159	100%	197	100%	139	100%	21				

グラム陽性球菌（入院）　　S%感受性率　検査件数S+I+R

	S. aureus		*MRSA*		*CNS*		*E. faecalis*		*E. faecium*		*A群溶連菌*		*肺炎球菌*	
	S%	件数	S%	件数	S%	件数	S%	件数	S%	件数	S%	件数	S%	件数
ペニシリン系														
PCG	40%	133	0%	105	16%	126	100%	148	12%	41	100%	4	49%	35
ABPC	40%	133	0%	105	16%	126	100%	149	12%	41	100%	4		
MPIPC	100%	133	0%	105	27%	126								
セフェム系														
CEZ	100%	133	0%	105	27%	126								
CTM	100%	133	0%	105	27%	126							51%	35
CFDN	100%	133	0%	105	100%	34								
CTX											100%	4	97%	35
CTRX											100%	4	97%	35
CFPM											100%	4	97%	35
CFIX													11%	35
CDTR-PI													94%	35
FMOX	100%	133	0%	105	27%	126								
カルバペネム系														
IPM/CS	100%	133	0%	105	27%	126	100%	149						
MEPM													74%	35
βラクタマーゼ阻害剤														
CVA/AMPC													97%	35
SBT/ABPC	100%	133	0%	105	27%	126					100%	4	49%	35
アミノグリコシド系														
GM	74%	133	65%	105	45%	126								
ABK	98%	133	98%	105										
マクロライド系														
EM	71%	128	11%	100	39%	112	22%	92	14%	21	75%	4	14%	35
CAM											75%	4	17%	35
リンコマイシン系														
CLDM	75%	128	15%	100	61%	112					75%	4	26%	35
テトラサイクリン系														
MINO	98%	133	60%	105	94%	126	30%	149	22%	41				
TC											75%	4	23%	35
フェニコール系														
CP											100%	4	83%	35
キノロン系														
LVFX	92%	133	12%	105	46%	126	89%	149	10%	41	100%	4	100%	35
グリコペプチド系														
VCM	100%	133	100%	105	100%	126	97%	149	100%	41	100%	4	100%	35
TEIC	100%	133	100%	105	97%	126	100%	148	100%	41				
その他														
ST	100%	133	99%	105	87%	126							83%	35
FOM	95%	133	54%	105	52%	126								
RFP	99%	133	95%	105	92%	126	52%	148	15%	41			100%	35
LZD	100%	133	100%	105	100%	126	100%	148	98%	41				

グラム陰性桿菌（外来）　　S％感受性率　検査件数S＋I＋R

	大腸菌		肺炎桿菌		セラチア		E.cloacae		P.mirabilis		緑膿菌		A.baumannii		H.inflienzae	
	S%	件数	S%	件数	S%	件数	S%	件数	S%	件数	S%	件数	S%	件数	S%	件数
ペニシリン系																
ABPC	61%	535	0%	203	11%	27	14%	29	85%	40					77%	446
PIPC	64%	535	44%	203	56%	27	97%	29	85%	40	98%	186	59%	22		
セフェム系																
CEZ	84%	535	95%	203	4%	27	3%	29	90%	40						
CTM	88%	535	96%	203	4%	27	4%	29	90%	40						
CTX	90%	535	96%	203	59%	27	93%	29	90%	40					91%	446
CAZ	90%	535	96%	203	78%	27	93%	29	90%	40	96%	186	100%	22		
CPR	91%	535	96%	203	89%	27	97%	29	90%	40						
CCL	83%	535	95%	203	4%	27	0%	29	90%	40						
CFPN-PI	87%	535	93%	203	33%	27	83%	29	90%	40						
CPDX-PR															64%	446
CZOP											97%	186	95%	22		
CFS											84%	186				
CFPM											96%	186	95%	22		
CMZ	99%	535	100%	203	81%	27	14%	29	100%	40						
FMOX	98%	535	100%	203	59%	27	17%	29	100%	40						
カルバペネム系																
IPM/CS	100%	535	100%	203	100%	27	100%	29	100%	40	97%	186	100%	22		
MEPM											98%	186	100%	22		
モノバクタム系																
AZT	90%	535	96%	203	89%	27	97%	29	85%	40	89%	186				
βラクタマーゼ阻害剤																
CVA/AMPC	85%	535	97%	203	7%	27	3%	29	100%	40						
SBT/ABPC															94%	446
SBT/CPZ	96%	535	99%	203	89%	27	93%	29	100%	40	92%	186	100%	22		
TAZ/PIPC											99%	186				
アミノグリコシド系																
GM	87%	535	97%	203	96%	27	100%	29	98%	40	83%	186	100%	22		
AMK	100%	535	100%	203	96%	27	100%	29	95%	40	96%	186	100%	22		
TOB											98%	186	100%	22		
テトラサイクリン系																
MINO	94%	535	92%	203	93%	27	97%	29	8%	40			100%	22		
TC															63%	446
マクロライド系																
CAM															80%	446
キノロン系																
LVFX	77%	535	99%	203	93%	27	100%	29	100%	40	92%	186	95%	22		
CPFX											92%	186	95%	22		
その他																
ST	84%	535	94%	203	96%	27	93%	29	88%	40			100%	22		
FOM	89%	535	41%	203	30%	27	24%	29	70%	40	9%	186				

グラム陰性桿菌（入院）　　S％感受性率　検査件数S＋I＋R

	大腸菌		肺炎桿菌		セラチア		E.cloacae		P.mirabilis		緑膿菌		A.baumannii		H.inflienzae	
	S%	件数	S%	件数	S%	件数	S%	件数	S%	件数	S%	件数	S%	件数	S%	件数
ペニシリン系																
ABPC	52%	260	0%	132	11%	19	5%	66	69%	29					73%	41
PIPC	55%	260	39%	132	42%	19	74%	66	69%	29	96%	158	54%	13		
セフェム系																
CEZ	75%	260	92%	132	0%	19	0%	66	76%	29						
CTM	79%	260	95%	132	0%	19	8%	66	76%	29						
CTX	81%	260	96%	132	47%	19	76%	66	76%	29					90%	41
CAZ	82%	260	96%	132	42%	19	79%	66	76%	29	93%	158	69%	13		
CPR	76%	260	96%	132	84%	19	85%	66	76%	29						
CCL	78%	260	95%	132	0%	19	0%	66	76%	29						
CFPN-PI	76%	260	88%	132	11%	19	58%	66	76%	29						
CPDX-PR															56%	41
CZOP											96%	158	92%	13		
CFS											80%	158				
CFPM											91%	158	69%	13		
CMZ	98%	260	99%	132	89%	19	11%	66	100%	29						
FMOX	97%	260	99%	132	53%	19	9%	66	100%	29						
カルバペネム系																
IPM/CS	100%	260	100%	132	100%	19	100%	66	100%	29	91%	158	92%	13		
MEPM											94%	158	92%	13		
モノバクタム系																
AZT	81%	260	96%	132	68%	19	77%	66	76%	29	87%	158				
βラクタマーゼ阻害剤																
CVA/AMPC	78%	260	96%	132	0%	19	5%	66	100%	29						
SBT/ABPC															95%	41
SBT/CPZ	90%	260	95%	132	89%	19	82%	66	100%	29	88%	158	69%	13		
TAZ/PIPC											99%	158				
アミノグリコシド系																
GM	86%	260	100%	132	89%	19	100%	66	97%	29	87%	158	69%	13		
AMK	100%	260	100%	132	100%	19	100%	66	100%	29	97%	158	100%	13		
TOB											98%	158	100%	13		
テトラサイクリン系																
MINO	95%	260	89%	132	95%	19	95%	66	7%	29			92%	13		
TC															73%	41
マクロライド系																
CAM															80%	41
キノロン系																
LVFX	70%	260	98%	132	95%	19	94%	66	90%	29	94%	158	69%	13		
CPFX											96%	158	69%	13		
その他																
ST	77%	260	92%	132	95%	19	91%	66	86%	29			62%	13		
FOM	86%	260	40%	132	32%	19	11%	66	59%	29	5%	158				

（2）材料別分離菌検出状況

呼吸器系（外来）

細菌名	総菌数	%	喀痰	咽頭粘液	後鼻腔	鼻汁	鼻腔分泌物	その他
Haemophilus influenzae	472	17.5%	72	41	180	150	9	20
Moraxella catarrhalis	371	13.8%	32	6	165	147	21	0
Streptococcus pneumoniae	319	11.8%	69	7	119	111	7	6
Staphylococcus aureus	301	11.2%	82	34	65	22	78	20
Candida albicans	214	7.9%	212	0	0	0	0	2
Streptococcus pyogenes	126	4.7%	11	52	8	9	1	45
S. pneumoniae PISP	114	4.2%	31	1	32	45	5	0
Staphylococcus aureus MRSA	107	4.0%	69	6	12	3	15	2
Klebsiella pneumoniae	105	3.9%	98	1	1	0	2	3
Pseudomonas aeruginosa	102	3.8%	92	0	2	0	5	3
Group G Streptococcus	55	2.0%	20	12	1	0	0	22
Candida glabrata	45	1.7%	45	0	0	0	0	0
S. pneumoniae PRSP	34	1.3%	7	0	15	12	0	0
Streptococcus agalactiae	33	1.2%	21	4	1	0	2	5
Klebsiella oxytoca	31	1.1%	28	0	0	0	2	1
Escherichia coli	29	1.1%	28	0	1	0	0	0
Enterobacter aerogenes	18	0.7%	14	0	2	0	2	0
Enterobacter cloacae	17	0.6%	16	1	0	0	0	0
Candida tropicalis	16	0.6%	16	0	0	0	0	0
Serratia marcescens	14	0.5%	12	0	0	0	2	0
Acinetobacter lwoffii	14	0.5%	14	0	0	0	0	0
Acinetobacter baumannii	11	0.4%	11	0	0	0	0	0
Proteus mirabilis	9	0.3%	6	0	1	0	2	0
Escherichia coli ESBL	7	0.3%	7	0	0	0	0	0
Staphylococcus epidermidis MRS	7	0.3%	2	1	0	0	4	0
Citrobacter koseri	6	0.2%	2	0	2	0	2	0
MRCNS	5	0.2%	4	0	0	0	1	0
P.aeruginosa（多剤耐性）	1	0.0%	1	0	0	0	0	0
Haemophilus ｓｐ	51	1.9%	24	13	0	4	0	10
Moraxella sp	6	0.2%	3	1	1	1	0	0
Candida sp	12	0.4%	12	0	0	0	0	0
その他	46	1.7%	34	1	0	0	3	8
総　計	2698	100.0%	1095	181	608	504	163	147

呼吸器系（入院）

細菌名	総菌数	%	喀痰	咽頭粘液	後鼻腔	鼻汁	鼻腔分泌物	その他
Candida albicans	170	16.6%	158	3	0	0	0	9
Staphylococcus aureus	95	9.3%	48	2	33	0	8	4
Staphylococcus aureus MRSA	83	8.1%	59	2	18	0	1	3
Pseudomonas aeruginosa	75	7.3%	62	0	10	0	1	2
Klebsiella pneumoniae	71	6.9%	68	1	1	0	0	1
Escherichia coli	69	6.7%	19	45	3	0	1	1
Candida glabrata	44	4.3%	39	0	0	0	0	5
Haemophilus influenzae	43	4.2%	21	1	13	5	0	3
Moraxella catarrhalis	37	3.6%	11	0	19	6	1	0
Streptococcus agalactiae	27	2.6%	23	3	1	0	0	0
Enterobacter cloacae	23	2.2%	21	1	0	0	0	1
Klebsiella oxytoca	21	2.0%	19	0	1	0	0	1
Stenotrophomonas maltophilia	20	1.9%	19	0	0	0	0	1
Streptococcus pneumoniae	19	1.9%	8	0	8	3	0	0
Enterococcus faecalis	17	1.7%	13	3	0	0	0	1
S. pneumoniae PISP	16	1.6%	9	0	2	1	0	4
Candida tropicalis	13	1.3%	12	1	0	0	0	0
Enterobacter aerogenes	13	1.3%	8	0	3	0	0	2
Escherichia coli ESBL	11	1.1%	9	2	0	0	0	0
Serratia marcescens	10	1.0%	8	0	1	0	0	1
Aspergillus fumigatus	9	0.9%	7	0	0	0	0	2
Group G Streptococcus	9	0.9%	7	0	1	0	0	1
Acinetobacter baumannii	8	0.8%	8	0	0	0	0	0
MRCNS	8	0.8%	6	0	1	0	1	0
Corynebacterium sp	8	0.8%	7	0	0	0	0	1
Prevotella (B.) melaninogenica	8	0.8%	4	0	0	0	0	4
Staphylococcus epidermidis	7	0.7%	1	5	1	0	0	0
P.aeruginosa（多剤耐性）	3	0.3%	3	0	0	0	0	0
Enterococcus faecalis VRE	1	0.1%	1	0	0	0	0	0
Haemophilus ｓｐ	11	1.1%	10	0	0	0	0	1
Candida sp	12	1.2%	12	0	0	0	0	0
その他	65	6.3%	39	13	6	0	1	6
総　計	1026	100.0%	739	82	122	15	14	54

消化器系（外来）（便含む）

細菌名	総菌数	%	胆汁（総胆管）	PTCD	胃液	便	肛門周囲	膿（消化器）	胃粘膜
Helicobacter pylori	192	65.1%	0	0	0	0	0	0	192
Campylobacter jejuni	77	26.1%	0	0	0	77	0	0	0
Klebsiella oxytoca	6	2.0%	0	0	0	6	0	0	0
Salmonella O-8group	4	1.4%	0	0	0	4	0	0	0
Enterococcus faecalis VRE	2	0.7%	0	0	0	2	0	0	0
Vibrio parahaemolyticus	2	0.7%	0	0	0	2	0	0	0
Salmonella O-7 group	1	0.3%	0	0	0	1	0	0	0
Salmonella O-9 group	1	0.3%	0	0	0	1	0	0	0
Vibrio cholerae non O1	1	0.3%	0	0	0	1	0	0	0
Yersinia enterocolitica group	1	0.3%	0	0	0	1	0	0	0
Candida albicans	1	0.3%	0	0	1	0	0	0	0
Enterobacter aerogenes	1	0.3%	0	0	0	0	1	0	0
Enterococcus faecium	1	0.3%	0	0	0	0	1	0	0
Escherichia coli ESBL	1	0.3%	0	0	0	0	1	0	0
Peptostreptococcus magnus	1	0.3%	0	0	0	0	1	0	0
その他	3	1.0%	0	0	0	3	0	0	0
総　計	295	100.0%	0	0	1	98	4	0	192

消化器系（入院）（便含む）

細菌名	総菌数	%	胆汁	胆汁（総胆管）	胆汁（胆嚢内）	PTCD	胃液	便	肛門周囲	膿（消化器）	胃粘膜
Escherichia coli	25	15.1%	0	0	22	1	0	0	1	1	0
Enterococcus faecalis	23	13.9%	5	3	12	0	0	0	1	2	0
Klebsiella oxytoca	16	9.6%	1	0	12	0	0	3	0	0	0
Enterobacter cloacae	14	8.4%	1	0	10	2	0	0	1	0	0
Pseudomonas aeruginosa	12	7.2%	2	1	3	0	0	6	0	0	0
Klebsiella pneumoniae	12	7.2%	0	0	12	0	0	0	0	0	0
Citrobacter freundii	9	5.4%	1	0	8	0	0	0	0	0	0
Enterococcus faecium	7	4.2%	1	1	3	0	0	0	1	1	0
Enterococcus casseliflavus	3	1.8%	0	0	3	0	0	0	0	0	0
Enterococcus faecalis VRE	3	1.8%	0	0	0	0	0	3	0	0	0
Enterococcus raffinosus	3	1.8%	0	0	1	1	0	0	0	1	0
Helicobacter pylori	3	1.8%	0	0	0	0	0	0	0	0	3
Stenotrophomonas maltophilia	3	1.8%	0	0	2	1	0	0	0	0	0
Bacteroides fragilis	2	1.2%	0	0	1	0	0	0	1	0	0
Corynebacterium sp	2	1.2%	0	0	0	0	0	0	1	1	0
Enterococcus avium	2	1.2%	0	0	1	0	0	0	0	1	0
Aeromonas hydrophila group	1	0.6%	0	0	1	0	0	0	0	0	0
Campylobacter jejuni	1	0.6%	0	0	0	0	0	1	0	0	0
Clostridium difficile	1	0.6%	0	0	0	0	0	1	0	0	0
Clostridium perfringens	1	0.6%	0	0	1	0	0	0	0	0	0
その他	23	13.9%	2	1	16	1	0	0	2	1	0
総　計	166	100.0%	13	6	108	6	0	14	8	8	3

泌尿生殖器系（外来）

細菌名	総菌数	%	尿	カテーテル尿	尿道分泌物	外陰部分泌物	膣分泌物	帯下	膿（尿道生殖器）
Escherichia coli	441	27.1%	344	52	1	1	29	9	5
Candida albicans	188	11.5%	3	2	0	0	132	51	0
Streptococcus agalactiae	184	11.3%	58	8	0	0	88	25	5
Enterococcus faecalis	128	7.9%	80	34	0	0	13	1	0
Klebsiella pneumoniae	80	4.9%	48	16	0	0	13	2	1
Pseudomonas aeruginosa	60	3.7%	35	20	0	0	3	2	0
Staphylococcus aureus	44	2.7%	20	3	0	0	11	9	1
Corynebacterium sp	36	2.2%	26	5	0	0	2	1	2
Escherichia coli ESBL	33	2.0%	24	7	0	0	0	1	1
Candida glabrata	31	1.9%	4	2	0	0	17	8	0
α-Streptococcus	27	1.7%	14	4	0	0	5	4	0
Staphylococcus aureus MRSA	19	1.2%	8	4	0	0	5	1	1
Proteus mirabilis	19	1.2%	13	5	0	1	0	0	0
Streptococcus pyogenes	19	1.2%	2	0	0	0	13	4	0
Enterococcus faecium	18	1.1%	9	8	0	0	1	0	0
Group G Streptococcus	18	1.1%	9	3	0	0	5	1	0
Staphylococcus epidermidis	18	1.1%	15	1	0	0	1	0	1
Citrobacter koseri	17	1.0%	13	3	0	0	0	1	0
MRCNS	17	1.0%	15	2	0	0	0	0	0
Morganella morganii	17	1.0%	11	3	0	0	2	0	1
Klebsiella oxytoca	16	1.0%	10	4	1	0	1	0	0
CNS	15	0.9%	12	0	0	0	2	1	0
Candida tropicalis	13	0.8%	0	1	0	0	8	4	0
Enterobacter aerogenes	11	0.7%	8	1	0	0	2	0	0
Citrobacter freundii	9	0.6%	6	2	0	0	0	0	1
Staphylococcus saprophyticus (CNS) MRS	9	0.6%	9	0	0	0	0	0	0
Serratia marcescens	8	0.5%	3	5	0	0	0	0	0
Candida parapsilosis	8	0.5%	2	0	1	0	2	3	0
Enterobacter cloacae	8	0.5%	6	1	0	0	1	0	0
Bacteroides fragilis	7	0.4%	2	0	0	0	0	0	5
Enterococcus faecalis VRE	1	0.1%	1	0	0	0	0	0	0
Candida sp	7	0.4%	0	0	0	0	4	3	0
その他	104	6.4%	63	16	0	0	10	4	11
総　計	1630	100.0%	873	212	3	2	370	135	35

泌尿生殖器系（入院）

細菌名	総菌数	%	尿	カテーテル尿	尿道分泌物	外陰部分泌物	膣分泌物	帯下	膿（尿道生殖器）
Escherichia coli	117	21.6%	66	37	0	0	11	2	1
Enterococcus faecalis	61	11.3%	35	21	0	0	5	0	0
Candida albicans	45	8.3%	8	11	0	1	23	2	0
Klebsiella pneumoniae	31	5.7%	16	13	0	0	2	0	0
Pseudomonas aeruginosa	29	5.4%	15	12	0	0	2	0	0
Streptococcus agalactiae	29	5.4%	6	4	0	0	15	3	1
Escherichia coli ESBL	25	4.6%	20	5	0	0	0	0	0
Candida glabrata	23	4.3%	9	6	0	1	7	0	0
Enterococcus faecium	22	4.1%	14	6	0	1	1	0	0
Corynebacterium sp	17	3.1%	8	8	0	0	1	0	0
Proteus mirabilis	12	2.2%	6	5	0	0	1	0	0
Staphylococcus aureus	10	1.8%	3	2	0	0	5	0	0
Enterobacter aerogenes	9	1.7%	5	4	0	0	0	0	0
Klebsiella oxytoca	9	1.7%	4	4	0	0	1	0	0
Morganella morganii	8	1.5%	6	2	0	0	0	0	0
Enterobacter cloacae	7	1.3%	4	3	0	0	0	0	0
Group G Streptococcus	7	1.3%	4	3	0	0	0	0	0
α-Streptococcus	7	1.3%	4	1	0	0	2	0	0
Serratia marcescens	5	0.9%	0	5	0	0	0	0	0
Staphylococcus aureus MRSA	5	0.9%	3	2	0	0	0	0	0
CNS	5	0.9%	2	2	0	0	1	0	0
MRCNS	5	0.9%	4	1	0	0	0	0	0
Bacteroides fragilis	4	0.7%	1	2	0	0	0	0	1
Enterococcus raffinosus	4	0.7%	3	1	0	0	0	0	0
Staphylococcus epidermidis MRS	4	0.7%	3	1	0	0	0	0	0
Klebsiella pneumoniae ESBL	3	0.6%	2	1	0	0	0	0	0
Peptostreptococcus asaccharolyticus	3	0.6%	2	1	0	0	0	0	0
Enterococcus faecalis VRE	1	0.2%	1	0	0	0	0	0	0
Enterococcus faecium VIE	1	0.2%	1	0	0	0	0	0	0
Candida sp	4	0.7%	0	0	0	0	4	0	0
その他	29	5.4%	14	10	0	0	5	0	0
総　計	541	100.0%	269	173	0	3	86	7	3

血液・穿刺液系（外来）

細菌名	総菌数	%	胸水	腹水	髄液	関節液	動脈血	静脈血	穿刺液
Escherichia coli	38	20.0%	0	0	0	0	3	35	0
Staphylococcus aureus	19	10.0%	1	0	0	0	4	11	3
Klebsiella pneumoniae	16	8.4%	1	0	0	0	0	15	0
CNS	12	6.3%	0	0	0	0	6	6	0
Staphylococcus epidermidis MRS	11	5.8%	1	0	0	0	1	9	0
Group G Streptococcus	8	4.2%	0	0	0	0	2	6	0
MRCNS	7	3.7%	0	0	0	0	2	5	0
Streptococcus pneumoniae	6	3.2%	0	0	0	0	0	6	0
Staphylococcus epidermidis	5	2.6%	0	0	0	0	0	5	0
Bacillus sp	4	2.1%	0	0	0	0	0	4	0
Enterococcus faecalis	4	2.1%	0	0	0	0	2	2	0
Klebsiella oxytoca	4	2.1%	0	0	0	0	2	2	0
Pseudomonas aeruginosa	4	2.1%	0	0	0	0	0	3	1
Streptococcus agalactiae	4	2.1%	0	0	0	0	0	4	0
Acinetobacter baumannii	3	1.6%	0	0	0	0	1	2	0
Corynebacterium sp	3	1.6%	0	0	0	1	0	2	0
Enterococcus faecium	3	1.6%	0	0	0	0	1	2	0
Escherichia coli ESBL	3	1.6%	0	0	0	0	1	2	0
Eubacterium lentum	3	1.6%	0	0	0	0	0	3	0
Clostridium perfringens	2	1.1%	0	0	0	0	0	2	0
Fusobacterium spp	2	1.1%	1	0	0	0	0	1	0
Streptococcus bovis	2	1.1%	0	0	0	0	1	1	0
Streptococcus constellatus/milleri	2	1.1%	0	0	0	0	0	2	0
Streptococcus pyogenes	2	1.1%	0	0	0	0	0	2	0
Aeromonas hydrophila group	1	0.5%	0	0	0	0	0	1	0
Bacteroides fragilis	1	0.5%	0	0	0	0	0	1	0
Bacteroides sp	1	0.5%	0	0	0	0	0	1	0
Bacteroides thetaiotaomicron	1	0.5%	0	0	0	0	1	0	0
Clostridium sp	1	0.5%	0	0	0	0	0	1	0
Enterobacter aerogenes	1	0.5%	0	0	0	0	0	1	0
Enterobacter cloacae	1	0.5%	0	0	0	0	0	1	0
Enterococcus casseliflavus	1	0.5%	0	0	0	0	0	1	0
Escherichia fergusonii	1	0.5%	0	0	0	0	0	1	0
Haemophilus influenzae	1	0.5%	0	0	0	0	0	1	0
Haemophilus parainfluenzae	1	0.5%	0	0	0	0	0	1	0
Klebsiella pneumoniae ESBL	1	0.5%	0	0	0	0	0	1	0
Morganella morganii	1	0.5%	0	0	0	0	0	1	0
Peptostreptococcus prevotii	1	0.5%	0	0	0	0	0	1	0
Prevotella　sp	1	0.5%	0	0	0	0	0	1	0
Serratia marcescens	1	0.5%	0	0	0	0	0	1	0
Shewanella putrefaciens	1	0.5%	0	0	0	0	0	1	0
Staphylococcus aureus MRSA	1	0.5%	0	0	0	1	0	0	0
Staphylococcus lugdunensis (CNS) MRS	1	0.5%	0	0	0	0	1	0	0
Streptococcus anginosus/milleri	1	0.5%	0	0	0	0	0	1	0
Streptococcus mitis	1	0.5%	0	0	0	0	0	1	0
Streptococcus mitis group	1	0.5%	0	0	0	0	0	1	0
α-Streptococcus	1	0.5%	0	0	0	0	0	1	0
総　計	190	100.0%	4	0	0	2	28	152	4

血液・穿刺液系（入院）

細菌名	総菌数	%	胸水	腹水	髄液	関節液	動脈血	静脈血	穿刺液	その他
Escherichia coli	19	11.2%	0	6	0	0	5	8	0	0
Staphylococcus epidermidis MRS	19	11.2%	2	2	0	0	5	8	1	1
Enterococcus faecalis	14	8.2%	0	4	0	1	2	5	2	0
Staphylococcus aureus	10	5.9%	3	0	0	0	0	6	1	0
Klebsiella pneumoniae	8	4.7%	0	1	0	0	1	5	1	0
Staphylococcus aureus MRSA	7	4.1%	1	0	0	1	2	2	1	0
MRCNS	7	4.1%	0	1	0	0	3	3	0	0
Pseudomonas aeruginosa	6	3.5%	0	3	0	0	0	0	2	1
CNS	6	3.5%	0	0	0	0	3	3	0	0
Bacteroides fragilis	5	2.9%	0	3	0	0	1	1	0	0
Candida albicans	5	2.9%	0	1	0	0	2	2	0	0
Clostridium perfringens	5	2.9%	0	0	0	0	1	4	0	0
Enterobacter cloacae	5	2.9%	0	2	0	0	1	2	0	0
Escherichia coli ESBL	4	2.4%	0	0	0	0	0	4	0	0
Streptococcus agalactiae	4	2.4%	0	0	1	0	0	3	0	0
Candida glabrata	3	1.8%	0	1	0	0	0	2	0	0
Enterococcus faecium	3	1.8%	0	1	0	0	0	2	0	0
Klebsiella oxytoca	3	1.8%	0	1	0	0	1	1	0	0
Staphylococcus epidermidis	3	1.8%	1	0	0	0	2	0	0	0
Candida parapsilosis	2	1.2%	0	0	0	0	0	0	1	1
Citrobacter freundii	2	1.2%	0	2	0	0	0	0	0	0
Corynebacterium sp	2	1.2%	0	1	0	0	0	1	0	0
Eubacterium lentum	2	1.2%	0	0	0	0	0	2	0	0
Fusobacterium spp	2	1.2%	2	0	0	0	0	0	0	0
Peptostreptococcus micros	2	1.2%	2	0	0	0	0	0	0	0
Prevotella　sp	2	1.2%	0	2	0	0	0	0	0	0
Proteus mirabilis	2	1.2%	1	0	0	0	0	0	1	0
α-Streptococcus	2	1.2%	1	0	0	0	0	0	1	0
Streptococcus pneumoniae	1	0.6%	0	0	0	0	1	0	0	0
Acinetobacter baumannii	1	0.6%	0	0	0	0	1	0	0	0
Aeromonas hydrophila group	1	0.6%	0	0	0	0	1	0	0	0
Bacillus sp	1	0.6%	0	0	0	0	0	1	0	0
Bacteroides thetaiotaomicron	1	0.6%	0	0	0	0	0	1	0	0
Corynebacterium jeikeium	1	0.6%	1	0	0	0	0	0	0	0
Enterobacter gergoviae	1	0.6%	0	0	0	0	0	1	0	0
Enterococcus avium	1	0.6%	0	1	0	0	0	0	0	0
Eubacterium sp.	1	0.6%	0	1	0	0	0	0	0	0
Kluyvera ascorbata	1	0.6%	0	1	0	0	0	0	0	0
Prevotella (B.) intermedia	1	0.6%	0	1	0	0	0	0	0	0
Prevotella oralis group	1	0.6%	1	0	0	0	0	0	0	0
Staphylococcus lugdunensis (CNS) MRS	1	0.6%	0	0	0	0	0	1	0	0
Streptococcus mutans	1	0.6%	0	0	0	0	0	1	0	0
Streptococcus pyogenes	1	0.6%	0	0	0	0	0	1	0	0
Streptococcus species	1	0.6%	0	0	0	0	0	0	0	1
総　計	170	100.0%	15	35	1	2	32	70	11	4

その他（外来）

細菌名	総菌数	%	眼脂	耳漏	皮膚	膿	爪	CVカテーテル	チューブ類	創部浸出液	乳汁	その他の材料
Staphylococcus aureus	93	19.1%	1	16	3	29	0	1	0	43	0	0
Corynebacterium sp	36	7.4%	1	13	0	16	0	0	0	5	0	1
Staphylococcus aureus MRSA	32	6.6%	0	6	4	7	0	0	0	14	0	1
CNS	27	5.5%	0	8	0	8	0	0	0	9	0	2
Staphylococcus epidermidis MRS	23	4.7%	0	3	0	5	0	0	1	9	5	0
Escherichia coli	22	4.5%	0	2	1	14	0	0	0	2	1	2
Pseudomonas aeruginosa	21	4.3%	0	8	0	7	0	0	0	5	0	1
Enterococcus faecalis	17	3.5%	0	1	1	11	0	0	0	4	0	0
Staphylococcus epidermidis	17	3.5%	0	3	2	4	0	0	0	6	2	0
MRCNS	14	2.9%	1	2	1	5	0	0	0	5	0	0
Group G Streptococcus	12	2.5%	0	3	0	7	0	0	0	2	0	0
Prevotella sp	11	2.3%	0	0	0	7	0	0	0	1	0	3
Klebsiella pneumoniae	10	2.0%	0	2	0	4	0	0	0	3	1	0
Streptococcus agalactiae	9	1.8%	0	0	0	5	0	0	0	3	1	0
Streptococcus pyogenes	9	1.8%	0	0	1	2	0	0	0	6	0	0
Proteus mirabilis	8	1.6%	0	0	0	4	0	0	0	4	0	0
Peptostreptococcus sp	6	1.2%	0	0	0	4	0	0	0	2	0	0
Streptococcus pneumoniae	5	1.0%	0	3	1	0	0	0	0	1	0	0
Bacteroides fragilis	5	1.0%	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0
Haemophilus influenzae	5	1.0%	0	3	0	1	0	0	0	1	0	0
Peptostreptococcus asaccharolyticus	5	1.0%	0	0	0	3	0	0	0	1	0	1
Staphylococcus lugdunensis (CNS)	5	1.0%	0	0	1	3	0	0	0	1	0	0
Serratia marcescens	4	0.8%	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0
Aspergillus niger	4	0.8%	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0
Aspergillus terreus	4	0.8%	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0
Candida albicans	4	0.8%	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2
Enterobacter cloacae	4	0.8%	0	1	0	2	0	0	0	1	0	0
Enterococcus raffinosus	4	0.8%	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0
Porphylomonas sp	4	0.8%	0	0	0	2	0	0	0	1	0	1
α-Streptococcus	4	0.8%	0	0	0	1	0	0	0	1	2	0
Candida sp	5	1.0%	0	3	1	0	0	0	0	1	0	0
その他	59	12.1%	0	7	1	34	0	0	0	10	1	6
総　計	488	100.0%	3	92	18	194	0	1	1	146	13	20

その他（入院）

細菌名	総菌数	%	眼脂	耳漏	皮膚	膿	CVカテーテル	チューブ類	ドレーン	創部浸出液	乳汁	その他の材料
Enterococcus faecalis	37	10.9%	0	0	0	14	1	4	13	5	0	0
Pseudomonas aeruginosa	36	10.7%	0	0	0	9	0	3	12	11	0	1
Staphylococcus epidermidis MRS	25	7.4%	0	0	1	5	7	0	5	3	2	2
Staphylococcus aureus	20	5.9%	1	2	0	7	1	0	1	6	0	2
Enterobacter cloacae	19	5.6%	0	0	0	8	0	0	7	4	0	0
Corynebacterium sp	18	5.3%	1	1	0	7	1	0	2	5	0	1
MRCNS	17	5.0%	0	0	1	4	6	1	1	3	0	1
Bacteroides fragilis	15	4.4%	0	0	0	10	0	0	1	4	0	0
Candida albicans	15	4.4%	0	0	0	3	3	1	2	4	0	2
Escherichia coli	13	3.8%	0	0	0	5	0	0	7	1	0	0
Klebsiella pneumoniae	11	3.3%	0	0	0	3	2	0	4	0	0	2
Staphylococcus aureus MRSA	10	3.0%	0	1	0	6	0	0	0	3	0	0
Enterococcus faecium	10	3.0%	0	0	0	4	0	0	4	2	0	0
Enterobacter aerogenes	8	2.4%	0	0	0	4	1	1	2	0	0	0
CNS	7	2.1%	0	1	0	1	2	0	2	0	0	1
Escherichia coli ESBL	6	1.8%	0	0	0	2	0	2	1	1	0	0
Staphylococcus epidermidis	6	1.8%	1	1	0	1	2	0	1	0	0	0
Enterococcus raffinosus	4	1.2%	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0
Morganella morganii	4	1.2%	0	0	0	2	0	1	0	1	0	0
Stenotrophomonas maltophilia	4	1.2%	0	0	0	2	0	0	1	0	0	1
Serratia marcescens	3	0.9%	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0
Candida glabrata	3	0.9%	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1
Klebsiella oxytoca ESBL	3	0.9%	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0
Prevotella (B.) bivia	3	0.9%	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1
Prevotella sp	3	0.9%	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0
Proteus mirabilis	3	0.9%	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0
α-Streptococcus	3	0.9%	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0
Candida sp	2	0.6%	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0
その他	30	8.9%	0	1	0	18	1	0	4	3	0	3
総　計	338	100.0%	3	7	2	131	27	13	75	60	2	18

（3）抗酸菌分離状況

年間抗酸菌陽性者	111		
検体別		菌種別	
喀痰	104	*M.tuberuculosis*（PCRのみ陽性を含む）	14
胃液	0	*MAC*　（PCRのみ陽性を含む）	86
胸水	1	*M.kansasii*	1
気管支洗浄液	3	*M.gordonae*	5
気管支擦過	1	*M.szulgai*	0
その他	2	*M.abscessus*	1
		M.chelonae	0
		M.fortuitum	2
		M.peregrinum	0
		同定不能	2
		同定せず（死亡や他院での同定ありのため同定希望なし）	0

10. 薬剤科・副作用報告

報告書No.	性別	年齢	被疑薬名（成分名）	経路／剤型（用量）期間	発現期間	処置	併用薬	副作用名（重症度／症状分類）	治療転帰回復期間	添付文書	評価	被疑薬使用疾患（その他原疾患）	経過
No.2013 0001	男性	50代	オムニパーク300注シリンジ125ml（イオヘキソールキット）	静注／デポ（125ml*1）2013.3.～1回	①6日②6日	終了	なし	①薬疹（過敏2/01皮膚）②かゆみ（過敏1/01皮膚）	①有／軽快（10日）②有／軽快（10日）	①有②有	①可能性あり②可能性あり	腹部・骨盤CT施行（なし）	【経過のポイント】 検査３週間前：食思不振、体重減少で外来を受診。 血液検査施行したがとくに異常はみられず。 感冒と診断され帰宅。腹部CTと上部内視鏡の予約をとる。 検査当日：　腹部CT施行。特に異常なく終了。 検査６日後：　昼から背部に皮疹出現。 内科を受診。 ポララミン注施行。アレグラ錠を処方され帰宅。 検査７日後：　かゆみ増強で内科を再受診。
No.2013 0002	女性	60代	ランサップ400（ランソプラゾール・アモキシシリン・クラリスロマイシンシート）	経口／Cap（1シート）2013.03.～7日	9日	終了	なし	薬疹（過敏1/01皮膚）	有／軽快（17日）	有	可能性あり	ヘリコバクターピロリ感染（慢性胃炎、過敏性腸症候群）	【経過のポイント】 開始5週間前：S:食事とったあともたれる。 AP：慢性胃炎疑いでｶﾞﾓﾌｧ-20mg寝る前開始 開始2週間前：採血結果ピロリ菌陽性内服開始 １日目：朝食後ピロリ菌陽性にてランサップ内服開始 ７日目：飲み切り終了 ９日目：ふとももから湿疹ができ始めた。 自覚症状ないため気づかなかったが、その後背中に広がった。 かゆみはなし。 10日目：受診。O:下肢中心に米米粒から小豆大までの浮腫性紅斑数カ所。 軀幹はなし（医師記録）AP：ランサッ
No.2013 0003	男性	50代	オムニパーク300注シリンジ125ml（イオヘキソールキット）	静注／デポ（1キット）2013.5.～1回	①1日②2日	終了	アロプリノール、ガモファー、ディオバン	①薬疹（過敏2/13過敏症）②痒み（過敏1/13過敏症）	①有／軽快（16日）②有／軽快（16日）	①有②有	①可能性あり②可能性あり	造影CT（高血圧、高尿酸血症）	【経過のポイント】 検査８日前：左背中～腰にかけて痛み出現 検査当日　：痛みが続くため受診。 尿管結石の疑いで造影CT行い、造影剤オムニパーク125mg投与。 検査１日後：朝からまぶたが腫れ、顔全体が熱くなり他院受診。 アレルギーの一種と言われ帰宅した。 その後夕方より皮疹あり。 検査２日後：そう痒感あり。 検査５日後：皮膚科受診。 顔面は落屑、軀幹四肢にびまん性の紅斑、前腕は丘疹多数
No.2013 0004（2）	男性	60代	エルプラット点滴静注液100mg（オキサリプラチン注射液）	静注／バイアル（150mg）2013.1.～2クール	32日	減量	グラニセトロン、カルチコール、硫酸マグネシウム補正液、レボポリナート、ポグリボース、アトルバスタチン、メトグルコ、アクトス、グリミクロン、センノサイド、ロキソマリン、セルベックス、生食、５％ブドウ糖液	好中球減少（血液3/10血液）	有／回復　（8日）	有	可能性あり	直腸癌Ⅲb　（2型糖尿病　高脂血症）	【経過のポイント】 開始2ヶ月前：直腸癌切除術施行 開始1日目　：術後補助化学療法としてmFOLFOX6　1クール目施行。 （WBC:5210　好中球:3037.43） 開始15日目：２クール目施行。 （WBC:3690 好中球:1601.46） 開始32日目：好中球減少のためクール目延期。 （中止1日目）（WBC:2800 好中球:722.4） 中止5日目　：好中球改善なし、グラン施行。 （WBC:3160 好中球:900.6） 中止8日目　：
			（A）５－ＦＵ注250協和（フルオロウラシル注射液）（B）５－ＦＵ注1000mg（フルオロウラシル注射液）	（A）静注／アンプル（710mg）2013.1.～2クール（B）静注／バイアル（4200mg/48時間）2013.1.～2クール	32日	（A）中止（B）継続		好中球減少（血液3/10血液）	有／回復　（8日）	有	可能性あり	直腸癌Ⅲb　（2型糖尿病　高脂血症）	
No.2013 0005	男性	70代	パセトシンカプセル250（アモキシシリンカプセル）	経口／Cap（500mg*2）2013.05.～7日	7日	終了	アルファロール（0.25）、ロサルタンK（25）、アタラックスP（25）、レグパラ（25）	薬疹（過敏1/01皮膚）	有／軽快（8日）	有	可能性あり	萎縮性胃炎、H. pylori感染症（慢性腎不全（血液透析）、高血圧、2次性副甲状腺機能亢進症）	【経過のポイント】 前日　：消化器内科受診。 慢性萎縮性胃炎、H.　pylori陽性にて ｸﾗﾘｽﾛｲｼﾝ（200）2錠、ﾗﾝｻﾞﾌﾟﾛｰﾄﾝ40OD錠（30）2錠、 ﾊﾟｾﾄｼﾝ（250）4C分2　7日分処方 7日目：発熱38℃、上半身を中心とした薬疹発現、掻痒感あり。 服用終了。 終了翌日　　：他院透析時「体幹、発赤疹」　当院皮膚科受診 （終了2日目）：ﾌﾞﾚﾄﾞﾆｿﾞﾛﾝ30mg、アレグラ2錠分2、ｾﾙﾍﾞｯｸｽ3C分3　3日分 終了4日目　：皮疹
No.2013 0006	女性	70代	ゾシン静注用4．5（タゾバクタムナトリウム・ピペラシリンナトリウム静注用）	静注／バイアル（4.5g*2）2013.6.～10日	10日	中止	トラムセット、ノバミン、ツムラ100大建中湯、マグミット、センノサイド、ガモファー、ダイビタミックス、ソルデム３Ａ、生理食塩水	肝障害（肝臓2/07肝・胆）	無／回復　（8日）	有	可能性あり	複雑尿路感染（萎縮性膀胱　子宮癌術後　尿管ステント留置　便秘症　腰部脊柱管狭窄症）	【経過のポイント】 開始３日前：下腹部痛で受診、 尿路感染疑いで入院となりセフマゾン６ｇ３×開始となる 開始１日目：膀胱カテーテル長期留置であり、 複雑性尿路感染としゾシン９ｇ２×開始となる。 開始10日目：AST、ALT上昇。腹部エコー・胸腹部CT施行。 （中止日）　身体所見、画像所見から原因となるものは指摘できないため、 薬剤性肝障害を疑いゾシン中止となる。 （AST:3
No.2013 0007	女性	60代	アレビアチン錠100mg（フェニトイン錠）	経口／錠（100mg*1）2013.5.～7日	5日	中止	ワソラン、マグラックス、ワーファリン、ランソプラゾール、フロセミド、スピロノラクトン、ボグリボース、ジャヌビア、イコサペント酸エチル	肝機能障害（肝臓2/07肝・胆）	無／回復（37日）	有	可能性あり	症候性てんかん（糖尿病　高脂血症　心原性脳梗塞　心房細動便秘症　難治性逆流性食道炎）	【経過のポイント】 開始２日前　：けいれん発作にて入院。AST：19、ALT:22 開始日　　：アレビアチン錠100mg投与開始 開始５日目　：AST：59、ALT:114 開始７日目　：AST：76、ALT:186　フェニトイン血中濃度も十分でなく、 （中止１日目）肝酵素上昇しているためアレビアチン中止。 デグレトール開始となる。 中止３日目　：AST：51、ALT:145 中止８日目　：AST：29、ALT:103 中止３７日目：AST：19、ALT:32　肝機能

報告書No.	性別	年齢	被疑薬名（成分名）	経路／剤型（用量）期間	発現期間	処置	併用薬	副作用名（重症度／症状分類）	治療転機 回復期間	添付文書	評価	被疑薬使用疾患（その他原疾患）	経過
No.2013 0009	男性	50代	テグレトール錠 100mg（カルバマゼピン錠）	経口／錠（100mg*2）2013.5～36日（間13日中止含む）	34日	中止	ｼﾝｸﾞﾗﾋﾞｰ5OD錠30mg、ﾎﾞﾊﾞﾍﾟﾝ錠200mg、ｳﾙﾌﾞｽﾄ錠100mg、ｳﾙﾌ68ﾔ薬甘草湯、ｿﾞﾙﾀｼﾞ錠500μg、ﾃﾞｨｱﾎﾞｱ錠80mg、ﾛｷｿﾏﾘﾝ錠60mg、ﾚﾎﾞﾐﾋﾟﾄﾞ錠100mg	薬剤性過敏性症候群（過敏2/01皮膚）	有／軽快（27日）	可能性あり	筋間神経痛（C型慢性肝炎、難治性逆流性食道炎、高血圧症、末梢神経障害、肝細胞癌）	【経過のポイント】 開始60日前：原発性肝細胞癌ラジオ波治療 開始8日目　：テグレトール効果なく、一旦中止となる。 ロキソマリン、ガバペン増量となる。 開始22日目：痛み継続のため、テグレトール200mgで再開となる。 開始34日目：39.4度の発熱あり。 開始36日目：当院受診。体温は40度。 （中止１日目）テグレトール飲み始めてからふらつきがある。 テグレトール中止となる。 白血球：3960、好酸球：170.28 中止8日目　：顔に皮疹出現。 中止
No.2013 0010	女性	70代	パクトラミン配合錠（スルファメトキサゾール・トリメトプリム錠）	経口／錠（2錠*2）2013.6～13日	8日	中止	バイアスピリン、ロキソマリン、レバミピド、ガモファー（２０）、ﾘｽﾀﾞﾛｽﾄﾙﾌｧﾃﾞｶｽ（5）	中毒疹（過敏2/01皮膚）	有／軽快（12日）	有	可能性あり	変形性膝関節症手術後炎症抑制（鎮痛薬）（動脈硬化症、萎縮性胃炎、変形性膝関節症、腰部脊柱管狭窄症）	【経過のポイント】 開始２ヶ月前：両変形性膝関節症手術（TKA） 開始日　　：整形外来　CRP2.19 パクトラミン４錠、ﾘｽﾀﾞﾛｽﾄﾙﾌｧﾃﾞｶｽ３錠／日開始　夕から服用。 開始８日目　：S:上腕と首に小さい発赤が数個出現。かゆみなし。 開始13日目：S:朝まで服用し、外来受診待ちの時間に紅斑拡がった。 （中止１日目）胸、足にかけて全体に拡がった。 P:内科医師パクトラミンのみ服用中止を指示。 中止２日目　：S:皮疹やや軽減 中止３
No.2013 0011	男性	50代	セラピナ配合顆粒（非ピリン系感冒剤（４）顆粒）	経口／顆粒（1g*3）2013.07～2日	1日	中止	レナジェル、バイアスピリン、ランソプラゾールOD、アムロジピン、レグパラ、ピオスリー、大建中湯、セルベックス当院薬のみ	薬疹（過敏1/01皮膚）	無／回復（2週間）	有	ほぼ確実	感冒（DM、糖尿病、心筋梗塞、HD、腎臓病、二次性副甲状腺亢進症、他緩性便秘）	【経過のポイント】 208日前：感冒により、セラピナ処方 150日前：セラピナ服用し、胸や腎に水ぶくれや皮がめくれてきた。 服用後１日目：昼からセラピナ服用。 服用後２日目：再度、腕や腎に水ぶくれや皮がめくれてきた。 服用後３日目：昼までセラピナ服用。夕からは服用中止。 （中止１日目） 服用中止14日目：薬疹ほぼ改善。
No.2013 0012	女性	50代	ゲムシタビン点滴静注用１ｇ「ヤクルト」（塩酸ゲムシタビン注射用）	静注／バイアル（1200mg*1）2013.6～3クール	78日	継続	ｸﾞﾗﾆｾﾄﾛﾝ、生理食塩液、ｿﾙﾃﾞﾑ３A、ﾌﾛﾍﾟﾐﾄﾞ（20mg）、ﾊﾟﾊﾞｼﾝ（5mg）、ｾﾉﾊﾞｲﾄﾞ（12mg）、ｼﾞﾌﾞﾛﾓｲﾄﾞ（5mg）、ﾎﾓｼﾝｺﾝｶﾝ（10mg）、ﾋﾞﾀﾞｰﾓ、ﾎﾓﾉｰﾙ散（5mg）、ﾋﾞｽﾙﾌｧｰﾄﾞﾅﾄﾘｳﾑ	好中球減少（血液3/10血液）	有／回復（7日）	有	可能性あり	膵癌（多発肝転移、便秘症、癌性疼痛、統合失調症、化学療法に伴う嘔気、胸水）	【経過のポイント】 膵癌によりGEM療法。 多発肝転移により肝機能低下・黄疸を認め、80%Dose（1200mg）で開始となる。 開始１日目　：１クール目１回目開始（WBC:12570 Plt:20.2 ） 開始８日目　：血小板減少により１クール目２回目投与中止 （WBC:15720 好中球:10076 Plt:6.9） 開始１５日目：血小板改善したため、１クール目２回目施行する。 （WBC:16340 好中球:16340 Plt
No.2013 0013	女性	50代	ゲムシタビン点滴静注用１ｇ「ヤクルト」（塩酸ゲムシタビン注射用）	静注／バイアル（1200mg*1）2013.6～1回	8日	継続	ｸﾞﾗﾆｾﾄﾛﾝ、生理食塩液、ｿﾙﾃﾞﾑ３A、ﾌﾛﾍﾟﾐﾄﾞ（20mg）、ﾊﾟﾊﾞｼﾝ（5mg）、ｾﾉﾊﾞｲﾄﾞ（12mg）、ｼﾞﾌﾞﾛﾓｲﾄﾞ（5mg）、ﾎﾓｼﾝｺﾝｶﾝ（10mg）、ﾋﾞﾀﾞｰﾓ、ﾎﾓﾉｰﾙ散（5mg）、ﾋﾞｽﾙﾌｧｰﾄﾞﾅﾄﾘｳﾑ	血小板減少（血液2/10血液）	無／回復（6日）	有	可能性あり	膵癌（多発肝転移、便秘症、癌性疼痛、統合失調症、化学療法に伴う嘔気、胸水）	【経過のポイント】 膵癌によりGEM療法。 多発肝転移により肝機能低下・黄疸を認め、80%Dose（1200mg）で開始となる。 開始１日目：１クール目１回目投与 （WBC:12570 Plt:20.2 AST:134 ALT:144 総Bill:2.2） 開始８日目：血小板減少により１クール目２回目投与中止。 （中止１日目）（WBC:15720 Plt:6.9 AST:98 ALT:123 総Bill:3.9） 中止６日目：血小板改善。
No.2013 0014	男性	10代	パナセファン錠 100mg（セフポドキシムプロキセチル錠）	経口／錠（100mg*2）2013.9～2日	3日	中止	ゲンタシン軟膏0.1%	中毒疹（過敏1/01皮膚）	有／回復（21日）	有	可能性あり	母趾化膿性周囲炎（特になし）	【経過のポイント】 開始日　　：母趾化膿性周囲炎でパナセファン開始。 開始３日目　：腕と足に発赤が数個出現。かゆみあり。服用中止。 中止４日目　：当院外来受診。 医師より、パナセファンにある中毒疹の可能性ありと判断。 パナセファン中止しアレグラ開始 中止６－７日目：ほぼ改善。 中止21日目　：あとも残らず改善。
No.2013 0015（2）	女性	50代	リンタシン注射液600mg（リン酸クリンダマイシン注射液）	静注／アンプル（600mg*3）2013.9～10日	①10日 ②10日	中止	カロナール錠（200mg）、ロキソマリン錠（60mg）、セルベックスカプセル（50mg）、ランソプラゾールＯＤ錠（15mg）、生理食塩水　カロナール錠（200mg）、ロキソマリン錠（60mg）、セルベックスカプセル（50mg）、ランソプラゾールＯＤ錠（15mg）、生理食塩水	①薬疹（過敏2/01皮膚） ②そう痒（過敏1/01皮膚）	①有／回復（14日） ②有／回復（11日）	①有 ②有	①可能性あり ②可能性あり	溶連菌感染溶連菌感染（腰痛）	【経過のポイント】 開始日　　：溶連菌感染疑いにて入院。 ピクシリン８ｇ４ヘ、リンタシン１８００ｍｇ３ヘ投与開始 もともと広域ペニシリンでアレルギー症状でたことあったが、 溶連菌感染の重症化しないよう、上記２剤を投与となった。 10日目　　：背部皮疹出現あり。 （中止１日目）ピクシリン・リンタシンは中止へ 中止２日目　：掻痒感強い。 中止3日目　：全身に皮疹広がっている。 皮膚科対診あり。
			ピクシリン注射用２ｇ（アンピシリンナトリウム注射用）	静注／バイアル（2g*4）2013/9～10日	①10日 ②10日	中止		①薬疹（過敏2/01皮膚） ②そう痒（過敏1/01皮膚）	①有／回復（14日） ②有／回復（11日）	①有 ②無	①可能性あり ②可能性あり	溶連菌感染溶連菌感染（腰痛）	
No.2013 0016（2）	女性	70代	レバミピド錠 100mg「ＮＰ」（レバミピド錠）	経口／錠（100mg*2）2013.9～14日	①14日 ②14日	中止	ｾﾌﾏﾀﾞｯ点滴静注用、生食、ﾘﾝﾛﾅﾄ（15mg）、ﾌﾞﾚｶｰﾙ（100mg）、ﾌﾟﾛﾄﾞﾚｽ（8mg）、ｾﾚｶｰﾙ（200mg）、ｶﾞｽﾀｰ（10mg）、ｶﾘｰｴﾆ点眼　ｾﾌﾏﾀﾞｯ点滴静注用、生食、ﾘﾝﾛﾅﾄ（15mg）、ﾌﾞﾚｶｰﾙ（100mg）、ﾌﾟﾛﾄﾞﾚｽ（8mg）、ｾﾚｶｰﾙ（200mg）、ｶﾞｽﾀｰ（10mg）、ｶﾘｰｴﾆ点眼	①薬疹（過敏1/01皮膚） ②かゆみ（過敏1/01皮膚）	①有／回復（5日） ②有／回復（5日）	①有 ②有	①可能性あり ②可能性あり	NSAIDs内服の胃炎予防（甲状腺機能低下症、高血圧、白内障、慢性動脈閉塞症に基づく潰瘍、疼痛及び冷感等の虚血性循症状の改善）	【経過のポイント】 開始１日前：人工股関節全置換術施行。 セフマゾン点４日間投与した。 開始１日目：術後疼痛に対してレバベン・レバミピド、リクシアナ内服開始。 リクシアナは７日間飲みきり終了。 開始14日目：夜間に首の痒みがあり。 （中止１日目）大腿部内側にもわずか。そう痒軽度あり。粘膜疹なし。 ｴﾋﾞｽﾃｨ（5）２錠２× 体・四肢にジフラールクリーム、顔にロコイド軟膏処方あり。 中止２日目：赤みはなくなってきたが、首の痒みはまだあり。 中止
			ハイベン錠 200mg（エトドラク錠）	経口／錠（200mg*2）2013.9～14日	①14日 ②14日	中止		①薬疹（過敏1/01皮膚） ②かゆみ（過敏1/01皮膚）	①有／回復（5日） ②有／回復（5日）	①有 ②有	①可能性あり ②可能性あり	手術後疼痛（甲状腺機能低下症、高血圧、白内障、慢性動脈閉塞症に基づく潰瘍、疼痛及び冷感等の虚血性循症状の改善）	
No.2013 0017	女性	70代	ゲムシタビン点滴静注用１ｇ「ヤクルト」（塩酸ゲムシタビン注射用）	静注／バイアル（1000mg*1）2013,10～1回	①8日 ②8日	減量	ランタス注、ナパ、ミカルディス（40）、バイアスピリン、ボラコン（0.5）、センノサイド、レスタミンコーワクリーム、ノボラピッド30ミックス注、グラニセトロン、生理食塩水	①好中球減少（血液3/10血液） ②肝機能障害（血液2/07肝・胆）	①無／回復（8日） ②無／未回復	①有 ②有	①可能性あり ②可能性あり	膵癌（糖尿病、高血圧、脊椎転位、便秘、脳梗塞予防、肝臓転移）	【経過のポイント】 膵癌によりGEM療法、80%Doseの1000mgで開始となる。 開始１日目：１クール目１回目開始 （WBC：4880、好中球：2801、AST：132、ALT：127、LDH：277、ALｰP：1658） 開始8日目　：好中球減少により１クール目２回目投与中止 （中止１日目）（WBC：2210、好中球：789、AST:161、ALT：170、LDH：286、ALｰP：2582） 中止8日

報告書No.	性別	年齢	被疑薬名（成分名）	経路／剤型（用量）期間	発現期間	処置	併用薬	副作用名（重症度／症状分類）	治療転機 回復期間	添付文書	評価	被疑薬使用疾患（その他原疾患）	経過
No.2013 0018	女性	40代	ランサップ400（ランソプラゾール・アモキシシリン・クラリスロマイシンシート）	経口／Cap（1シート）2013.9～7日	11日	終了	なし	薬疹（過敏1/01皮膚）	有／軽快（4日）	有	可能性あり	ヘリコバクター・ピロリ感染症（特になし）	【経過のポイント】 開始１日目：ヘリコバクター・ピロリ感染症の除菌として、ランサップ400内服開始。 開始６日目：37.2度の発熱、咳嗽、鼻水あった。下痢なし。 開始７日目：ランサップ７日間飲みきり終了。 （終了日） 終了４日　：発熱に対する治療のため来院。 感冒症状は改善。 診察待ちの間に、お腹、背中、足に発疹出現。かゆみあり。 ﾌﾞﾚﾄﾞﾆｿﾞﾛﾝ２０mg２×、ｽﾋﾟｽﾀﾝ10mg２×、ｶﾞﾓﾌｧｰ２０mg２×処方。 終了後７日：再来院。かゆみはおさま
No.2013 0019（2）	女性	20代	アスベリン錠20（ヒベンズ酸チペピジン錠）	経口／錠（20mg*3）2013.1～3日	①3日 ②3日	中止	トラネキサム酸錠（250mg）、ムコトロン錠（250mg） トラネキサム酸錠（250mg）、ムコトロン錠（250mg）	①皮疹（過敏2/01皮膚） ②痙攣（過敏1/01皮膚）	①有／回復（4日） ②有／回復（4日）	①有 ②有	①ほぼ確実 ②ほぼ確実	気管支炎（特になし）	【経過のポイント】 １年半前、急性上気道炎にて当院よりカロナール、アスベリン処方あり、服用後発疹出現している。 投与１日目：インフルエンザ検査陽性。 対症療法としてカロナール錠、アスベリン錠、 トラネキサム酸錠、ムコトロン錠処方となる。 投与３日目：皮疹出現。当院皮膚科受診。 （中止１日目）四肢に点状紅斑多発。そう痒あり、体幹は軽微。 カロナール・アスベリンは以前にも皮疹出ているので中止。 エパスチン錠（5mg）２T２×、ネオファ
			カロナール錠200（アセトアミノフェン錠）	経口／錠（400mg*3）2013.1～3日	①3日 ②3日	中止		①皮疹（過敏2/01皮膚） ②痙攣（過敏1/01皮膚）	①有／回復（4日） ②有／回復（4日）	①有 ②有	①ほぼ確実 ②ほぼ確実	気管支炎（特になし）	
No.2013 0020	女性	50代	クラビット錠 500mg（レボフロキサシン水和物錠）	経口／錠（500mg*1）2013.1～3日	３日	終了	キプレス錠（10mg）、エパスチン錠（10mg）、メチスタ錠（250mg）、ピオスリー散、メチルホエドリン数、メトキシフェナミン塩酸塩錠（100mg）、コデインリン酸塩散、アテネントイン顆粒、ガモファー錠（10mg）	中毒疹（過敏1/01皮膚）	有／回復（7日）	有	可能性あり	急性気管支炎（胃潰瘍、アレルギー性咳嗽、急性気管支炎、慢性咳嗽）	【経過のポイント】 開始１日目：肺炎疑いにて他院よりクラビット錠（500mg）３日分処方あり。 開始３日目：クラビット飲みきり終了。皮疹出現。 終了５日目：当院内科受診。急性気管支炎とし、 抗生剤はクラリスロマシン錠（200mg）２錠２×へ変更。 当院皮膚科受診。肘窩膝裏の関節部に紅色丘疹集簇した局面。 エパスチン錠（５mg）２錠２×、ジフラール軟膏処方あり。 終了８日目：症
No.2013 0021	男性	50代	クラビット点滴静注バッグ500mg／100ml（レボフロキサシン水和物キット）	静注／ボトル（500mg*1）2013.10～2日	①4時間 ②1日	中止	ビオスリー錠、クラリスロマイシン錠（200mg）、ソルデム３A、ソルラクトS、ビーフリード、ネオファーゲン注	①中毒疹（過敏2/01皮膚） ②痙攣（過敏1/01皮膚）	①有／回復（4日） ②有／回復（4日）	有	可能性あり	レジオネラ肺炎（特になし）	【経過のポイント】 開始１日目：クラビット注500mg点滴。 クラビット静注後に発疹あり。 痙攣感もなく全身状態の悪化はないため、経過観察。 クラビットによる薬疹の疑い強いが、 他の治療へ変更は難しいため、継続することとなった。 開始２日目：クラビット注500mg点滴。 静脈の走行部位に一致して発赤出現。 両側の下腹部、臀部外側、体幹外側に発赤と 痙攣感を伴う膨疹あり。
No.2013 0022（3）	女性	60代	アービタックス注射液100mg（セツキシマブ（遺伝子組換え）注射液）	静注／バイアル（300mg）2013.4～7クール	57日	継続	ｸﾞﾗﾆｾﾄﾛﾝ（3mg）、ﾃﾞｷｻｰﾄ注射（6.6mg）、ﾎﾞﾗﾗｼﾝ（5mg）、生理食塩液、5%ﾌﾞﾄﾞｳ糖注射液、ｶﾙﾎｺｰﾙ注射液、硫酸Mg補正液、ｵｷｻﾛｿﾝ錠（5mg）、ﾋﾞﾄﾞｷｻｰﾙ錠（20mg）、ﾋﾞﾌﾞﾗｲｼﾝ錠（100mg）、ﾚﾎﾞﾄﾞｲﾄﾞﾌﾄﾞ　ﾃﾞﾆﾍﾟﾄﾛﾝ（3mg）、ﾃﾞｷｻｰﾄ注射（6.6mg）、ﾎﾞﾗﾗｼﾝ（5mg）、生理食塩液、5%ﾌﾞﾄﾞｳ糖注射液、ｶﾙﾎｺｰﾙ注射液、硫酸Mg補正液、ｵｷｻﾛｿﾝ錠（5mg）、ﾋﾞﾄﾞｷｻｰﾙ錠（20mg）、ﾋﾞﾌﾞﾗｲｼﾝ錠	好中球減少（血液3/10血液）	無／軽快（8日）	有	可能性あり	直腸がん、転移性肺癌（がん性疼痛、化学療法に伴う嘔気） 直腸がん、転移性肺癌（がん性疼痛、化学療法に伴う嘔気） 直腸がん、転移性肺癌（がん性疼痛、化学療法に伴う嘔気）	【経過のポイント】 開始１日目：術後補助化学療法としてmFOLFOX6＋Cmab １クール目Day1施行（WBC:7370　好中球:4687） 開始８日目：１クール目Day8施行（WBC:3800　好中球:1919） 開始15日目：本人の予定ありで２クール目施行延期。 開始22日目：２クール目Day1施行（WBC:4640　好中球:1688） 開始29日目：２クール目Day8施行（WBC:4570　好中球:1663） 開始36日目：３クー
			エルプラット注射用100mg（オキサリプラチン注射用）	静注／バイアル（100mg）2013.4～7クール	57日	減量		好中球減少（血液3/10血液）	無／軽快（8日）	有	可能性あり	直腸がん、転移性肺癌（がん性疼痛、化学療法に伴う嘔気） 直腸がん、転移性肺癌（がん性疼痛、化学療法に伴う嘔気） 直腸がん、転移性肺癌（がん性疼痛、化学療法に伴う嘔気）	
			（A）５－ＦＵ注1000mg（フルオロウラシル注射液） （B）５－ＦＵ注250協和（フルオロウラシル注射液）	（A）静注／バイアル（3200mg）2013.4～5クール （B）静注／バイアル（500mg）2013.4～5クール	57日	（A）継続 （B）中止		好中球減少（血液3/10血液）	無／軽快（8日）	有	可能性あり	直腸がん、転移性肺癌（がん性疼痛、化学療法に伴う嘔気） 直腸がん、転移性肺癌（がん性疼痛、化学療法に伴う嘔気） 直腸がん、転移性肺癌（がん性疼痛、化学療法に伴う嘔気）	
No.2013 0023	女性	60代	フェジン静注４０mg（含糖酸化鉄注射液）	静注／アンプル（40mg*1）2013.9～1回	①5分	中止	ハイベン、レバミピド、５％ブドウ糖注、リクシアナ、セフマゾン点滴用１ｇ、フェンタニル注、アナペイン注	①口渇（その他１/06胃腸）	①無／回復（95分）	無	可能性あり	鉄欠乏性貧血（変形性股関節症）	【経過のポイント】 開始39日前：自己血400ml採血 開始24日前：自己血200ml採血 開始18日前：自己血300ml採血 投与3日前：両変形性股関節症にて、人工股関節全置換術骨移植施行 開始日　　HB6.7フェジン1A+5%ブドウ糖20ml静脈注射開始投与 開始5分後：口渇、気分不快訴えあり、注射を中断する。 悪心あるも嘔吐なし。医師報告し、フェジンの中止。 経過観察 中止１時間35分後：「気分不快は、なくなりました。」と話される。 中止9日後：HB:8.1
					②5分			②悪心（消化器１/06胃腸）	②無／回（95分）	有	可能性あり	鉄欠乏性貧血（変形性股関節症）	
No.2013 0024	男性	30代	アザルフィジンＥＮ錠500mg（サラゾスルファピリジン腸溶錠）	経口／錠（500mg*2）2013.10～14日間	12日	中止	プレドニゾロン錠2.5mg/日	スティーブンジョンソン症候群（過敏３/01皮膚）	有／軽快（19日）	有	可能性あり	関節リウマチ（特に無し）	【経過のポイント】 開始1日　：関節リウマチにてｰﾎﾟｰ錠より ｱｻﾞﾙﾌｨｼﾞﾝEN500mg×2+ﾌﾞﾚﾄﾞﾆｿﾞﾛﾝ2.5mgへ変更 開始12日：首の側面に発赤、腫脹。 開始13日：（内科受診）S発赤、腫脹が上半身に拡がる。 首の周りがチクチクする感じあり。触ってみると首の周りが腫れていた。 リウマチの痛みはよくなってきた。 ○両側頸部軽度腫脹伴うリンパ節腫大あり。 開始13日夜：夜から頭のチクチク感が拡がり、全身の

報告書No.	性別	年齢	被疑薬名(成分名)	経路／剤型(用量)期間	発現期間	処置	併用薬	副作用名(重症度／症状分類)	治療転機回復期間	添付文書	評価	被疑薬使用疾患(その他原疾患)	経過
No.20130025(3)	女性	60代	ノバミン錠５mg（マレイン酸プロクロルペラジン錠）	経口／錠（5mg*3）2013.11～14日	14日	中止	コニール、ゼチーア、フェンタニル注、アナペイン注0.2%、セフマゾン点滴用 コニール、ゼチーア、フェンタニル注、アナペイン注0.2%、セフマゾン点滴用 コニール、ゼチーア、フェンタニル注、アナペイン注0.2%、セフマゾン点滴用	ＡＳＴ、ＡＬＴ上昇（肝臓１/07肝・胆）	無／回復（7日）	有	可能性あり	変形性膝関節症（高血圧、脂質異常症）	前日　　：変形性膝関節症手術 開始日　：リクシアナ、トラマール、ノバミン開始　AST24、ALT15 開始3日　：AST17、ALT10 開始7日　：AST35、ALT34　リクシアナ投与終了 開始14日：AST80、ALT75 （中止１日目）夕食後よりトラマール、ノバミンを中止し、ロキソマリン、レバミピドへ変更 中止8日　：AST21、ALT36
			リクシアナ錠１５mg（トシル酸エドキサバン水和物錠）	経口／錠（15mg*1）2013.11～7日	14日	終了		ＡＳＴ、ＡＬＴ上昇（肝臓１/07肝・胆）	無／回復（7日）	有	可能性あり	変形性膝関節症（高血圧、脂質異常症）	
			トラマールカプセル２５mg（塩酸トラマドールカプセル）	経口／Cap（25mg*3）2013.11～14日	14日	中止		ＡＳＴ、ＡＬＴ上昇（肝臓１/07肝・胆）	無／回復（7日）	有	可能性あり	変形性膝関節症（高血圧、脂質異常症）	
No.20130026	女性	10代	プリンペラン錠５（メトクロプラミド錠）	経口／錠（10mg*3）2013.10～1日	1日	中止	アンプロキソール、フラベリック、アレロック、ナゾネックス点鼻薬、ジスロマック	ジストニア（錐体外路障害）（精神３/03精神・神経）	有／回復（1日）	有	可能性あり	感冒（逆流性食道炎）	【経過のポイント】 開始４日前：発熱・鼻汁・咳認め、他院耳鼻科受診。 感冒薬（バセトシン・アンプロキソール・フラベリック・アレロック・ナゾネックス点鼻）処方 開始１日前：37.5度の発熱続くため、再受診し抗菌薬（ジスロマック）処方された。 開始１日目：解熱したが、吐き気認め内科受診。 プリンペラン、ガスモチン処方された。 夜より腹部痛、右胸痛、吐き気、ふらつきあり。 開始２日目：当院整形外科・小児科受診。精査目的で入院となった。 （中止１
No.20130027	男性	60代	セラピナ配合顆粒（非ピリン系感冒剤（４）顆粒）	経口／顆粒（1g*3）2013.11～5日	①3日 ②3日	終了	ウルソデオキシコール酸100mg、メルカゾール錠5mg、ヒダントールF錠	①薬疹（過敏１/01皮膚） ②痛み（その他１/01皮膚）	①有／回復（16日） ②有／回復（16日）	①有 ②無	①可能性あり ②可能性あり	感冒（C型肝炎、肝硬変、Basedow病、クモ膜下出血後遺症性痲痺）	【経過のポイント】 開始１日目：鼠径ヘルニア術前検査で受診、風邪気味でセラピナ5日分処方 開始3日目：外尿道口、陰茎亀頭部に母指頭大浮腫性紅斑とびらん出現。 痛み有り。痒み無し。 開始5日目：飲み薬り終了 終了1日目：皮膚科受診、びらん状の皮疹、痛みは落ち着いてきている。 痒み無し。 P:外用薬（テラコートリル）、内服頓服薬（ソランタール）処方。 終了16日目：鼠径ヘルニア術にて入院時は改善している。
No.20130028(3)	女性	50代	タケプロンカプセル３０	経口／Cap（30mg*2）2013.12～7日	①7日 ②7日 ③7日	終了	なし	①薬疹（過敏２/01皮膚） ②掻痒（過敏１/01皮膚） ③発熱（過敏１/13過敏症）	①有／回復（13日） ②有／軽快（13日） ③無／回復（1日）	①有 ②有 ③有	①可能性あり ②可能性あり ③可能性あり	H.pyloriの除菌（特に無し）	【経過のポイント】 開始1日目　：H. pyloriの除菌のため内服開始 開始5日目　：胃痛あり 開始7日目　：首の周りに痒み、胸に発赤、発熱（38.5℃） （終了） 終了1日目　：皮膚科受診。首や顔の腫脹、胸の苦しみ、全身発赤、痒み P：点滴（ネオファーゲン、ポララミン、サクシゾン） 内服（プレドニゾロン30mg、セルベックス、 エバスチン20mg、ファモチジン）開始 点滴終了後解熱
			クラリス錠200（クラリスロマイシン錠）	経口／錠（200mg*2）2013.11～7日	①7日 ②7日 ③7日	終了		①薬疹（過敏２/01皮膚） ②掻痒（過敏１/01皮膚） ③発熱（過敏１/13過敏症）	①有／回復（13日） ②有／軽快（13日） ③無／回復（1日）	①有 ②有 ③有	①可能性あり ②可能性あり ③可能性あり	H.pyloriの除菌（特に無し）	
			サワシリンカプセル250（アモキシシリンカプセル）	経口／Cap（750mg*2）2013.11～7日	①7日 ②7日 ③7日	終了		①薬疹（過敏２/01皮膚） ②掻痒（過敏１/01皮膚） ③発熱（過敏１/13過敏症）	①有／回復（13日） ②有／軽快（13日） ③無／回復（1日）	①有 ②有 ③有	①可能性あり ②可能性あり ③可能性あり	H.pyloriの除菌（特に無し）	
No.20130029	女性	60代	ビリスコピン点滴静注50（イオトロクス酸メグルミン注射液）	静注／バイアル（100ml*1）2012.12～1回	①数時間 ②数時間	終了	レザルタスLD、ラベプラゾールNa錠、クレストール、ベロリック、マックターゼ	①ふるえ（悪寒）（過敏１/13過敏症） ②発赤（過敏２/01皮膚）	①有／回復（数時間） ②有／回復（数時間）	①有 ②有	①可能性あり ②可能性あり	胆石、胆のう胆管造影（高血圧、脂質異常症、慢性胃炎）	【経過のポイント】 開始日　　：DIC（胆嚢胆管造影検査）を行うため、ビリスコピン100ml投与。 開始５分後　　：異常無しを看護師確認 開始１５分後　：異常無しを看護師確認 開始約１時間後：異常無しを看護師確認 投与時の血管痛:なし　投与後の悪心・嘔吐:なし 投与後の血管外漏出:なし 終了約１時間後：ビリスコピン投与後CT検査待っていたところ、悪寒（＋）。 CT後ふるえとまらず、 全身に発赤疹（＋）、喉
No.20130030	男性	10代	（A）オーグメンチン配合錠125ＳＳ（アモキシシリン・クラブラン酸カリウム錠） （B）オーグメンチン配合錠250ＲＳ（アモキシシリン・クラブラン酸カリウム錠）	（A）経口／錠（125mg*1）2013.12～9日 （B）経口／錠（250mg*1）2013.12～9日	①9日 ②8日 ③8日	（A）中止 （B）中止	ビオフェルミン錠	①中毒疹（過敏２/01皮膚） ②悪心（消化器１/06胃腸） ③嘔吐（消化器１/06胃腸）	①有／軽快（6日） ②無／不明 ③無／不明	①有 ②有 ③有	①可能性あり ②可能性あり ③可能性あり	溶連菌感染症疑い（特に無し）	【経過のポイント】 開始１日目：他院にて溶連菌感染症疑いでオーグメンチンの処方あり、服用開始。 開始８日目：朝から気持ちが悪く、起きられない。食欲無し。嘔吐あり。 開始９日目：朝から湿疹が出現。体全体に症状あり。特に顔で湿疹が顕著。 （中止１日目）近所の小児科病院へ行き、 オーグメンチンによる薬疹疑いと診断される。 セレスタミン配合錠２Ｔ２×、アレグラ（３０）２Ｔ２×が処方される。 オーグメンチン中止。 中止２日目：当院皮膚科受診。体調は変わらず。軽快見られ
No.20130031(2)	男性	20代	ダラシンカプセル150mg（塩酸クリンダマイシンカプセル）	経口／Cap（150mg*4）2013.7～2日	1日	中止	なし	皮疹（過敏２/01皮膚）	有／軽快（5日）		可能性あり	扁桃炎（特に無し）	【経過のポイント】 扁桃炎にて入院。 入院中ユナスビン注、リンタシン注投与。 退院時、ユナシン錠、ダラシンCap処方となる。 内服１日目：前腕と手掌に紅斑と痒み出現。 内服２日目：顔と躯幹に紅斑出現。 中止１日目：皮膚科へ受診し、抗生剤での中毒疹の可能性ありとなる。 アレグラ（60mg）２T2×、ロコイドクリーム、ジフラールクリーム処方。 中止２日目：再度受診し、特に症状として昨日と比べ変化はない。 アレグラ（60mg）２T2×、PSL３０mg、ガモファー（10）４日間
			ユナシン錠３７５mg（トシル酸スルタミシリン錠）	経口／錠（375mg*3）2013.7～2日	1日	中止		皮疹（過敏２/01皮膚）	有／軽快（5日）	有	可能性あり	扁桃炎（特に無し）	

報告書No.	性別	年齢	被疑薬名(成分名)	経路／剤型(用量)期間	発現期間	処置	併用薬	副作用名(重症度／症状分類)	治療転機回復期間	添付文書	評価	被疑薬使用疾患(その他原疾患)	経過
No.20130032(3)	男性	50代	（A）ペグイントロン皮下注用100μｇ／0.5ml用（ペグインターフェロンアルファー２ｂ（遺伝子組換え）注射用） （B）ペグイントロン皮下注用100μｇ／0.5ml用（ペグインターフェロンアルファー２ｂ（遺伝子組換え）注射用）	（A）皮下注／バイアル（100μｇ（週１回））2013.6～22日 （B）皮下注／バイアル（80μｇ（週１回））2013.7～25日	①22日 ②3日 ③8日	（A）減量 （B）継続	ランソプラゾールOD（30mg）、ロンフルマン（0.25mg）、カロナール（200mg）、プロクトセティル軟膏	①尿酸値上昇（その他１/11腎・泌尿器） ②皮疹・かゆみ（過敏３/01皮膚） ③腎機能障害（腎臓１/11腎・泌尿器）	①有／回復（8日） ②有／軽快（15日） ③有／回復（3日）	①有 ②有 ③有	①可能性あり ②可能性あり ③可能性あり	C型慢性肝炎（胃潰瘍、不眠症、痔）	開始１日目：ジェノタイプ１型、高ウイルス量にてC型肝炎の治療開始 （CRE:0.94、UA：7.9） テラビック2250mg3×、レベトール800mg、ペグイントロン100μｇ 開始３日目：膝、足関節周囲に紅斑と痒みあり。 開始８日目：外来受診。腎機能悪化あり、１日５食となるストレスもあり テラビック1500mg２×へ減量（CRE:1.26　UA：7.3） 開始15日目：皮疹あるが、それほどではない。（CRE:1.2　UA：8
			レベトールカプセル200mg（リバビリンカプセル）	経口／Cap（400mg*2）2013.6～47日	①22日 ②3日 ③8日	継続		①尿酸値上昇（その他１/11腎・泌尿器） ②皮疹・かゆみ（過敏３/01皮膚） ③腎機能障害（腎臓１/11腎・泌尿器）	①有／回復（8日） ②有／軽快（15日） ③有／回復（3日）	①有 ②有 ③有	①可能性あり ②可能性あり ③可能性あり	C型慢性肝炎（胃潰瘍、不眠症、痔）	
			（A）テラビック錠250mg （B）テラビック錠250mg	（A）経口／錠（750mg*3）2013.6～8日 （B）経口／錠（750mg*2）2013.6～39日	①22日 ②3日 ③8日	（A）減量 （B）中止		①尿酸値上昇（その他１/11腎・泌尿器） ②皮疹・かゆみ（過敏３/01皮膚） ③腎機能障害（腎臓１/11腎・泌尿器）	①有／回復（8日） ②有／軽快（15日） ③有／回復（3日）	①有 ②有 ③有	①可能性あり ②可能性あり ③可能性あり	C型慢性肝炎（胃潰瘍、不眠症、痔）	